

# 施工パッケージ型積算基準の見方・留意点

土地改良事業等適用施工パッケージ型積算方式の試行  
(平成 29 年 9 月 25 日付け事調第 598 号農政部長通知) の一部改正

## 1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 6 年 12 月 19 日以降	令和 7 年 2 月 20 日以降



改 正	現 行	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																														
<p><b>土地改良事業等適用施工パッケージ型積算基準の見方・留意点について</b></p> <p>土地改良事業等工事積算基準の標準歩掛では、工種毎に「標準歩掛」を用いる場合と「施工パッケージ型積算基準」を用いる場合を混在して掲載してある。</p> <p>施工パッケージ型積算基準の見方・留意点については以下のとおり。</p> <p>1 適用範囲</p> <p>【省略】</p> <p>4 施工パッケージ型積算方式標準単価表</p> <p>(1) 標準単価表</p> <p>国土交通省国土技術政策総合研究所社会資本システム研究室HPで公表している施工パッケージ型積算方式標準単価表を採用している。</p> <p>なお、北海道農政部においては施工パッケージ型積算方式標準単価表を下記のとおり読み替える。</p> <p>① 適用日</p> <table border="1"> <tr> <td>適用</td> <td>標準単価表表紙</td> </tr> <tr> <td>国土交通省</td> <td>令和6年 4月 1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用</td> </tr> <tr> <td>農政部</td> <td>令和6年12月19日以降の積算基準日の工事から適用</td> </tr> </table> <p>【省略】</p> <p>5 施工パッケージ型積算に使用する単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">積算基準日 単価等分類</th> <th>令和5年</th> <th colspan="11">令和7年</th> </tr> <tr> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>標準単価表</td> <td colspan="12">標準単価表（令和6.4適用）</td> </tr> <tr> <td>東京機械単価</td> <td colspan="12">令和5年度基準（機械経費）</td> </tr> <tr> <td>東京労務単価</td> <td colspan="12">令和5年度労務単価</td> </tr> <tr> <td>東京材料単価</td> <td colspan="12">建設物価・積算資料（令和5年4月号）</td> </tr> <tr> <td>農政部機械単価</td> <td colspan="12">通常の積算に用いる単価と同様（建設機械等損料表北海道補正版令和5年度）</td> </tr> <tr> <td>農政部労務単価</td> <td colspan="12">通常の積算に用いる単価と同様（道単価）</td> </tr> <tr> <td>農政部材料単価</td> <td colspan="12">通常の積算に用いる単価と同様（道単価）</td> </tr> <tr> <td>積算基準※</td> <td colspan="12">令和6年度土地改良事業等工事積算基準</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 上表に無い改正・改定を行う場合があるため、最新の内容を確認すること。</p>	適用	標準単価表表紙	国土交通省	令和6年 4月 1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用	農政部	令和6年12月19日以降の積算基準日の工事から適用	積算基準日 単価等分類	令和5年	令和7年											12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	標準単価表	標準単価表（令和6.4適用）												東京機械単価	令和5年度基準（機械経費）												東京労務単価	令和5年度労務単価												東京材料単価	建設物価・積算資料（令和5年4月号）												農政部機械単価	通常の積算に用いる単価と同様（建設機械等損料表北海道補正版令和5年度）												農政部労務単価	通常の積算に用いる単価と同様（道単価）												農政部材料単価	通常の積算に用いる単価と同様（道単価）												積算基準※	令和6年度土地改良事業等工事積算基準												<p><b>土地改良事業等適用施工パッケージ型積算基準の見方・留意点について</b></p> <p>土地改良事業等工事積算基準の標準歩掛では、工種毎に「標準歩掛」を用いる場合と「施工パッケージ型積算基準」を用いる場合を混在して掲載してある。</p> <p>施工パッケージ型積算基準の見方・留意点については以下のとおり。</p> <p>1 適用範囲</p> <p>【省略】</p> <p>4 施工パッケージ型積算方式標準単価表</p> <p>(1) 標準単価表</p> <p>国土交通省国土技術政策総合研究所社会資本システム研究室HPで公表している施工パッケージ型積算方式標準単価表を採用している。</p> <p>なお、北海道農政部においては施工パッケージ型積算方式標準単価表を下記のとおり読み替える。</p> <p>① 適用日</p> <table border="1"> <tr> <td>適用</td> <td>標準単価表表紙</td> </tr> <tr> <td>国土交通省</td> <td>令和5年 4月 1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用</td> </tr> <tr> <td>農政部</td> <td>令和5年12月19日以降の積算基準日の工事から適用</td> </tr> </table> <p>【省略】</p> <p>5 施工パッケージ型積算に使用する単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">積算基準日 単価等分類</th> <th>令和4年</th> <th colspan="11">令和6年</th> </tr> <tr> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>標準単価表</td> <td colspan="12">標準単価表（令和5.4適用）</td> </tr> <tr> <td>東京機械単価</td> <td colspan="12">令和4年度基準（機械経費）</td> </tr> <tr> <td>東京労務単価</td> <td colspan="12">令和4年度労務単価</td> </tr> <tr> <td>東京材料単価</td> <td colspan="12">建設物価・積算資料（令和4年4月号）</td> </tr> <tr> <td>農政部機械単価</td> <td colspan="12">通常の積算に用いる単価と同様（建設機械等損料表北海道補正版令和4年度）</td> </tr> <tr> <td>農政部労務単価</td> <td colspan="12">通常の積算に用いる単価と同様（道単価）</td> </tr> <tr> <td>農政部材料単価</td> <td colspan="12">通常の積算に用いる単価と同様（道単価）</td> </tr> <tr> <td>積算基準※</td> <td colspan="12">令和5年度土地改良事業等工事積算基準</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 上表に無い改正・改定を行う場合があるため、最新の内容を確認すること。</p>	適用	標準単価表表紙	国土交通省	令和5年 4月 1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用	農政部	令和5年12月19日以降の積算基準日の工事から適用	積算基準日 単価等分類	令和4年	令和6年											12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	標準単価表	標準単価表（令和5.4適用）												東京機械単価	令和4年度基準（機械経費）												東京労務単価	令和4年度労務単価												東京材料単価	建設物価・積算資料（令和4年4月号）												農政部機械単価	通常の積算に用いる単価と同様（建設機械等損料表北海道補正版令和4年度）												農政部労務単価	通常の積算に用いる単価と同様（道単価）												農政部材料単価	通常の積算に用いる単価と同様（道単価）												積算基準※	令和5年度土地改良事業等工事積算基準												<p>表内、字句の改正</p> <p>表内、字句の改正</p>
適用	標準単価表表紙																																																																																																																																																																																																																																																																															
国土交通省	令和6年 4月 1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用																																																																																																																																																																																																																																																																															
農政部	令和6年12月19日以降の積算基準日の工事から適用																																																																																																																																																																																																																																																																															
積算基準日 単価等分類	令和5年	令和7年																																																																																																																																																																																																																																																																														
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月																																																																																																																																																																																																																																																																				
標準単価表	標準単価表（令和6.4適用）																																																																																																																																																																																																																																																																															
東京機械単価	令和5年度基準（機械経費）																																																																																																																																																																																																																																																																															
東京労務単価	令和5年度労務単価																																																																																																																																																																																																																																																																															
東京材料単価	建設物価・積算資料（令和5年4月号）																																																																																																																																																																																																																																																																															
農政部機械単価	通常の積算に用いる単価と同様（建設機械等損料表北海道補正版令和5年度）																																																																																																																																																																																																																																																																															
農政部労務単価	通常の積算に用いる単価と同様（道単価）																																																																																																																																																																																																																																																																															
農政部材料単価	通常の積算に用いる単価と同様（道単価）																																																																																																																																																																																																																																																																															
積算基準※	令和6年度土地改良事業等工事積算基準																																																																																																																																																																																																																																																																															
適用	標準単価表表紙																																																																																																																																																																																																																																																																															
国土交通省	令和5年 4月 1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用																																																																																																																																																																																																																																																																															
農政部	令和5年12月19日以降の積算基準日の工事から適用																																																																																																																																																																																																																																																																															
積算基準日 単価等分類	令和4年	令和6年																																																																																																																																																																																																																																																																														
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月																																																																																																																																																																																																																																																																				
標準単価表	標準単価表（令和5.4適用）																																																																																																																																																																																																																																																																															
東京機械単価	令和4年度基準（機械経費）																																																																																																																																																																																																																																																																															
東京労務単価	令和4年度労務単価																																																																																																																																																																																																																																																																															
東京材料単価	建設物価・積算資料（令和4年4月号）																																																																																																																																																																																																																																																																															
農政部機械単価	通常の積算に用いる単価と同様（建設機械等損料表北海道補正版令和4年度）																																																																																																																																																																																																																																																																															
農政部労務単価	通常の積算に用いる単価と同様（道単価）																																																																																																																																																																																																																																																																															
農政部材料単価	通常の積算に用いる単価と同様（道単価）																																																																																																																																																																																																																																																																															
積算基準※	令和5年度土地改良事業等工事積算基準																																																																																																																																																																																																																																																																															

# B 土工

土地改良事業等適用施工パッケージ型積算方式の試行  
(平成 29 年 9 月 25 日付け事調第 598 号農政部長通知) の一部改正

## 1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 6 年 12 月 19 日以降	令和 7 年 2 月 20 日以降



改 正	現 行	備 考																																				
B 土 工	B 土 工																																					
<p>B～0810 土 工</p> <p>1 適用範囲 本資料は、施工パッケージによる土工に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲 【省略】</p> <p>3 施工パッケージ</p> <p>3-1 掘 削 【省略】</p> <p>3-4 路体（築堤）盛土 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-22 路体（築堤）盛土 積算条件区分一覧 (積算単位：m<sup>3</sup>)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">施工幅員</th> <th style="width: 33%;">施工数量</th> <th style="width: 33%;">障害の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.5m未満</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>2.5m以上 4.0m未満</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">4.0m以上</td> <td style="text-align: center;">20,000 m<sup>3</sup>未満</td> <td style="text-align: center;">無し</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">20,000 m<sup>3</sup>以上</td> <td style="text-align: center;">有り</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">20,000 m<sup>3</sup>未満</td> <td style="text-align: center;">無し</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">20,000 m<sup>3</sup>以上</td> <td style="text-align: center;">有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	施工幅員	施工数量	障害の有無	2.5m未満	—	—	2.5m以上 4.0m未満	—	—	4.0m以上	20,000 m <sup>3</sup> 未満	無し	20,000 m <sup>3</sup> 以上	有り	20,000 m <sup>3</sup> 未満	無し	20,000 m <sup>3</sup> 以上	有り	<p>B～0810 土 工</p> <p>1 適用範囲 本資料は、施工パッケージによる土工に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲 【省略】</p> <p>3 施工パッケージ</p> <p>3-1 掘 削 【省略】</p> <p>3-4 路体（築堤）盛土 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-22 路体（築堤）盛土 積算条件区分一覧 (積算単位：m<sup>3</sup>)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">施工幅員</th> <th style="width: 33%;">施工数量</th> <th style="width: 33%;">障害の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.5m未満</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>2.5m以上 4.0m未満</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">4.0m以上</td> <td style="text-align: center;">10,000 m<sup>3</sup>未満</td> <td style="text-align: center;">無し</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10,000 m<sup>3</sup>以上</td> <td style="text-align: center;">有り</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10,000 m<sup>3</sup>未満</td> <td style="text-align: center;">無し</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10,000 m<sup>3</sup>以上</td> <td style="text-align: center;">有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	施工幅員	施工数量	障害の有無	2.5m未満	—	—	2.5m以上 4.0m未満	—	—	4.0m以上	10,000 m <sup>3</sup> 未満	無し	10,000 m <sup>3</sup> 以上	有り	10,000 m <sup>3</sup> 未満	無し	10,000 m <sup>3</sup> 以上	有り	<p>表内、数値の改正</p>
施工幅員	施工数量	障害の有無																																				
2.5m未満	—	—																																				
2.5m以上 4.0m未満	—	—																																				
4.0m以上	20,000 m <sup>3</sup> 未満	無し																																				
	20,000 m <sup>3</sup> 以上	有り																																				
	20,000 m <sup>3</sup> 未満	無し																																				
	20,000 m <sup>3</sup> 以上	有り																																				
施工幅員	施工数量	障害の有無																																				
2.5m未満	—	—																																				
2.5m以上 4.0m未満	—	—																																				
4.0m以上	10,000 m <sup>3</sup> 未満	無し																																				
	10,000 m <sup>3</sup> 以上	有り																																				
	10,000 m <sup>3</sup> 未満	無し																																				
	10,000 m <sup>3</sup> 以上	有り																																				

新 旧 対 照 表

改 正				現 行				備 考																																																										
(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表 3-23 路体（築堤）盛土 代表機労材規格一覧				(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表 3-23 路体（築堤）盛土 代表機労材規格一覧				表内、字句・数値の 追加、改正																																																										
2.5m以上 4.0m未満	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1 振動ローラ（舗装用）〔搭乘・コンバインド式・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 運転質量3～4t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・<u>低騒音型</u>・排出ガス対策型（<u>2014年規制</u>）〕 山積0.28㎡（平積0.2㎡）</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1 運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1 軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機労材規格	備考	機 械	K1 振動ローラ（舗装用）〔搭乘・コンバインド式・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 運転質量3～4t		賃料	K2 バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・ <u>低騒音型</u> ・排出ガス対策型（ <u>2014年規制</u> ）〕 山積0.28㎡（平積0.2㎡）	賃料	K3 —		労 務	R1 運転手（特殊）		R2 普通作業員		R3 —		R4 —		材 料	Z1 軽油 バトロール給油		Z2 —		Z3 —		Z4 —		市場単価	S		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1 振動ローラ（舗装用）〔搭乘・コンバインド式・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 運転質量3～4t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・<u>排出ガス対策型（第2次基準値）</u>〕 山積0.28㎡（平積0.2㎡）</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1 運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1 軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機労材規格	備考	機 械	K1 振動ローラ（舗装用）〔搭乘・コンバインド式・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 運転質量3～4t	賃料	K2 バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・ <u>排出ガス対策型（第2次基準値）</u> 〕 山積0.28㎡（平積0.2㎡）	賃料	K3 —		労 務	R1 運転手（特殊）		R2 普通作業員		R3 —		R4 —		材 料	Z1 軽油 バトロール給油		Z2 —		Z3 —		Z4 —		市場単価	S	
項目	代表機労材規格	備考																																																																
機 械	K1 振動ローラ（舗装用）〔搭乘・コンバインド式・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 運転質量3～4t	賃料																																																																
	K2 バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・ <u>低騒音型</u> ・排出ガス対策型（ <u>2014年規制</u> ）〕 山積0.28㎡（平積0.2㎡）	賃料																																																																
	K3 —																																																																	
労 務	R1 運転手（特殊）																																																																	
	R2 普通作業員																																																																	
	R3 —																																																																	
	R4 —																																																																	
材 料	Z1 軽油 バトロール給油																																																																	
	Z2 —																																																																	
	Z3 —																																																																	
	Z4 —																																																																	
市場単価	S																																																																	
項目	代表機労材規格	備考																																																																
機 械	K1 振動ローラ（舗装用）〔搭乘・コンバインド式・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 運転質量3～4t	賃料																																																																
	K2 バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・ <u>排出ガス対策型（第2次基準値）</u> 〕 山積0.28㎡（平積0.2㎡）	賃料																																																																
	K3 —																																																																	
労 務	R1 運転手（特殊）																																																																	
	R2 普通作業員																																																																	
	R3 —																																																																	
	R4 —																																																																	
材 料	Z1 軽油 バトロール給油																																																																	
	Z2 —																																																																	
	Z3 —																																																																	
	Z4 —																																																																	
市場単価	S																																																																	
4.0m以上	20,000 m <sup>3</sup> 未満	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1 ブルドーザ〔湿地・排出ガス対策型（<u>2011年規制</u>）〕 7t級</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 振動ローラ（土工用）〔フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型（<u>2011年規制</u>）〕 運転質量11～12t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1 運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1 軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機労材規格	備考	機 械	K1 ブルドーザ〔湿地・排出ガス対策型（ <u>2011年規制</u> ）〕 7t級	賃料	K2 振動ローラ（土工用）〔フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型（ <u>2011年規制</u> ）〕 運転質量11～12t	賃料	K3 —		労 務	R1 運転手（特殊）		R2 普通作業員		R3 —		R4 —		材 料	Z1 軽油 バトロール給油		Z2 —		Z3 —		Z4 —		市場単価	S		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1 ブルドーザ〔湿地・排出ガス対策型（<u>第3次基準値</u>）〕 7t級</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 振動ローラ（土工用）〔フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型（<u>第3次基準値</u>）〕 運転質量11～12t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1 運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1 軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機労材規格	備考	機 械	K1 ブルドーザ〔湿地・排出ガス対策型（ <u>第3次基準値</u> ）〕 7t級	賃料	K2 振動ローラ（土工用）〔フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型（ <u>第3次基準値</u> ）〕 運転質量11～12t	賃料	K3 —		労 務	R1 運転手（特殊）		R2 普通作業員		R3 —		R4 —		材 料	Z1 軽油 バトロール給油		Z2 —		Z3 —		Z4 —		市場単価	S		
項目	代表機労材規格	備考																																																																
機 械	K1 ブルドーザ〔湿地・排出ガス対策型（ <u>2011年規制</u> ）〕 7t級	賃料																																																																
	K2 振動ローラ（土工用）〔フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型（ <u>2011年規制</u> ）〕 運転質量11～12t	賃料																																																																
	K3 —																																																																	
労 務	R1 運転手（特殊）																																																																	
	R2 普通作業員																																																																	
	R3 —																																																																	
	R4 —																																																																	
材 料	Z1 軽油 バトロール給油																																																																	
	Z2 —																																																																	
	Z3 —																																																																	
	Z4 —																																																																	
市場単価	S																																																																	
項目	代表機労材規格	備考																																																																
機 械	K1 ブルドーザ〔湿地・排出ガス対策型（ <u>第3次基準値</u> ）〕 7t級	賃料																																																																
	K2 振動ローラ（土工用）〔フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型（ <u>第3次基準値</u> ）〕 運転質量11～12t	賃料																																																																
	K3 —																																																																	
労 務	R1 運転手（特殊）																																																																	
	R2 普通作業員																																																																	
	R3 —																																																																	
	R4 —																																																																	
材 料	Z1 軽油 バトロール給油																																																																	
	Z2 —																																																																	
	Z3 —																																																																	
	Z4 —																																																																	
市場単価	S																																																																	
4.0m以上	20,000 m <sup>3</sup> 以上	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1 ブルドーザ〔湿地・排出ガス対策型（<u>2011年規制</u>）〕 16t級</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 振動ローラ（土工用）〔フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型（<u>2011年規制</u>）〕 運転質量11～12t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1 運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1 軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機労材規格	備考	機 械	K1 ブルドーザ〔湿地・排出ガス対策型（ <u>2011年規制</u> ）〕 16t級	賃料	K2 振動ローラ（土工用）〔フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型（ <u>2011年規制</u> ）〕 運転質量11～12t	賃料	K3 —		労 務	R1 運転手（特殊）		R2 普通作業員		R3 —		R4 —		材 料	Z1 軽油 バトロール給油		Z2 —		Z3 —		Z4 —		市場単価	S		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1 ブルドーザ〔湿地・排出ガス対策型（<u>第3次基準値</u>）〕 16t級</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 振動ローラ（土工用）〔フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型（<u>第3次基準値</u>）〕 運転質量11～12t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1 運転手（特殊）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1 軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機労材規格	備考	機 械	K1 ブルドーザ〔湿地・排出ガス対策型（ <u>第3次基準値</u> ）〕 16t級	賃料	K2 振動ローラ（土工用）〔フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型（ <u>第3次基準値</u> ）〕 運転質量11～12t	賃料	K3 —		労 務	R1 運転手（特殊）		R2 普通作業員		R3 —		R4 —		材 料	Z1 軽油 バトロール給油		Z2 —		Z3 —		Z4 —		市場単価	S		
項目	代表機労材規格	備考																																																																
機 械	K1 ブルドーザ〔湿地・排出ガス対策型（ <u>2011年規制</u> ）〕 16t級	賃料																																																																
	K2 振動ローラ（土工用）〔フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型（ <u>2011年規制</u> ）〕 運転質量11～12t	賃料																																																																
	K3 —																																																																	
労 務	R1 運転手（特殊）																																																																	
	R2 普通作業員																																																																	
	R3 —																																																																	
	R4 —																																																																	
材 料	Z1 軽油 バトロール給油																																																																	
	Z2 —																																																																	
	Z3 —																																																																	
	Z4 —																																																																	
市場単価	S																																																																	
項目	代表機労材規格	備考																																																																
機 械	K1 ブルドーザ〔湿地・排出ガス対策型（ <u>第3次基準値</u> ）〕 16t級	賃料																																																																
	K2 振動ローラ（土工用）〔フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型（ <u>第3次基準値</u> ）〕 運転質量11～12t	賃料																																																																
	K3 —																																																																	
労 務	R1 運転手（特殊）																																																																	
	R2 普通作業員																																																																	
	R3 —																																																																	
	R4 —																																																																	
材 料	Z1 軽油 バトロール給油																																																																	
	Z2 —																																																																	
	Z3 —																																																																	
	Z4 —																																																																	
市場単価	S																																																																	

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																														
<p>3-5 路床盛土</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-24 路床盛土 積算条件区分一覧 (積算単位：m<sup>3</sup>)</p> <table border="1" data-bbox="141 279 1008 434"> <thead> <tr> <th>施工幅員</th> <th>施工数量</th> <th>障害の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.5m以上 4.0m未満</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">4.0m以上</td> <td rowspan="2">20,000 m<sup>3</sup>未満</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>20,000 m<sup>3</sup>以上</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	施工幅員	施工数量	障害の有無	2.5m以上 4.0m未満	—	—	4.0m以上	20,000 m <sup>3</sup> 未満	無し	有り	20,000 m <sup>3</sup> 以上	無し			有り	<p>3-5 路床盛土</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-24 路床盛土 積算条件区分一覧 (積算単位：m<sup>3</sup>)</p> <table border="1" data-bbox="1077 279 1944 434"> <thead> <tr> <th>施工幅員</th> <th>施工数量</th> <th>障害の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.5m以上 4.0m未満</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">4.0m以上</td> <td rowspan="2">10,000 m<sup>3</sup>未満</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>10,000 m<sup>3</sup>以上</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	施工幅員	施工数量	障害の有無	2.5m以上 4.0m未満	—	—	4.0m以上	10,000 m <sup>3</sup> 未満	無し	有り	10,000 m <sup>3</sup> 以上	無し			有り	<p>表内、数値の改正</p>
施工幅員	施工数量	障害の有無																														
2.5m以上 4.0m未満	—	—																														
4.0m以上	20,000 m <sup>3</sup> 未満	無し																														
		有り																														
	20,000 m <sup>3</sup> 以上	無し																														
		有り																														
施工幅員	施工数量	障害の有無																														
2.5m以上 4.0m未満	—	—																														
4.0m以上	10,000 m <sup>3</sup> 未満	無し																														
		有り																														
	10,000 m <sup>3</sup> 以上	無し																														
		有り																														



新 旧 対 照 表

改 正				現 行				備 考																																																																																														
(2) 代表機勞材規格 下表機勞材は、当該施工パッケージで使用されている機勞材の代表的な規格である。 表 3-25 路床盛土 代表機勞材規格一覧				(2) 代表機勞材規格 下表機勞材は、当該施工パッケージで使用されている機勞材の代表的な規格である。 表 3-25 路床盛土 代表機勞材規格一覧				表内・字句・数値の 追加、改正																																																																																														
2.5m以上 4.0m未満	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工幅員</th> <th>施工数量</th> <th>項 目</th> <th>代表機勞材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td rowspan="3">—</td> <td>K1</td> <td>振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4 t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・<u>低騒音型</u>・排出ガス対策型 (2014年規制)] 山積 0.28 m<sup>3</sup> (平積 0.2 m<sup>3</sup>)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td rowspan="4">—</td> <td>R1</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td rowspan="4">—</td> <td>Z1</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>—</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工幅員	施工数量	項 目	代表機勞材規格	備 考		機 械	—	K1	振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4 t	賃料	K2	バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・ <u>低騒音型</u> ・排出ガス対策型 (2014年規制)] 山積 0.28 m <sup>3</sup> (平積 0.2 m <sup>3</sup> )	賃料	K3	—		労 務	—	R1	運転手 (特殊)		R2	普通作業員		R3	—		R4	—		材 料	—	Z1	軽油 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	—	S	—		<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工幅員</th> <th>施工数量</th> <th>項 目</th> <th>代表機勞材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td rowspan="3">—</td> <td>K1</td> <td>振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4 t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・<u>—</u>排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.28 m<sup>3</sup> (平積 0.2 m<sup>3</sup>)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td rowspan="4">—</td> <td>R1</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td rowspan="4">—</td> <td>Z1</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>—</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工幅員	施工数量	項 目	代表機勞材規格	備 考	機 械	—	K1	振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4 t	賃料	K2	バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・ <u>—</u> 排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.28 m <sup>3</sup> (平積 0.2 m <sup>3</sup> )	賃料	K3	—		労 務	—	R1	運転手 (特殊)		R2	普通作業員		R3	—		R4	—		材 料	—	Z1	軽油 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	—	S	—	
施工幅員	施工数量	項 目	代表機勞材規格	備 考																																																																																																		
機 械	—	K1	振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4 t	賃料																																																																																																		
		K2	バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・ <u>低騒音型</u> ・排出ガス対策型 (2014年規制)] 山積 0.28 m <sup>3</sup> (平積 0.2 m <sup>3</sup> )	賃料																																																																																																		
		K3	—																																																																																																			
労 務	—	R1	運転手 (特殊)																																																																																																			
		R2	普通作業員																																																																																																			
		R3	—																																																																																																			
		R4	—																																																																																																			
材 料	—	Z1	軽油 バトロール給油																																																																																																			
		Z2	—																																																																																																			
		Z3	—																																																																																																			
		Z4	—																																																																																																			
市場単価	—	S	—																																																																																																			
施工幅員	施工数量	項 目	代表機勞材規格	備 考																																																																																																		
機 械	—	K1	振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 3~4 t	賃料																																																																																																		
		K2	バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・ <u>—</u> 排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.28 m <sup>3</sup> (平積 0.2 m <sup>3</sup> )	賃料																																																																																																		
		K3	—																																																																																																			
労 務	—	R1	運転手 (特殊)																																																																																																			
		R2	普通作業員																																																																																																			
		R3	—																																																																																																			
		R4	—																																																																																																			
材 料	—	Z1	軽油 バトロール給油																																																																																																			
		Z2	—																																																																																																			
		Z3	—																																																																																																			
		Z4	—																																																																																																			
市場単価	—	S	—																																																																																																			
4.0m以上	20,000 m <sup>3</sup> 未満	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工幅員</th> <th>施工数量</th> <th>項 目</th> <th>代表機勞材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td rowspan="3">—</td> <td>K1</td> <td>ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (2011年規制)] 7 t 級</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 11~12 t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td rowspan="4">—</td> <td>R1</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td rowspan="4">—</td> <td>Z1</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>—</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工幅員	施工数量	項 目	代表機勞材規格	備 考	機 械	—	K1	ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (2011年規制)] 7 t 級	賃料	K2	振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 11~12 t	賃料	K3	—		労 務	—	R1	運転手 (特殊)		R2	普通作業員		R3	—		R4	—		材 料	—	Z1	軽油 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	—	S	—		<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工幅員</th> <th>施工数量</th> <th>項 目</th> <th>代表機勞材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td rowspan="3">—</td> <td>K1</td> <td>ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 7 t 級</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 11~12 t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td rowspan="4">—</td> <td>R1</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td rowspan="4">—</td> <td>Z1</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>—</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工幅員	施工数量	項 目	代表機勞材規格	備 考	機 械	—	K1	ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 7 t 級	賃料	K2	振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 11~12 t	賃料	K3	—		労 務	—	R1	運転手 (特殊)		R2	普通作業員		R3	—		R4	—		材 料	—	Z1	軽油 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	—	S	—		
施工幅員	施工数量	項 目	代表機勞材規格	備 考																																																																																																		
機 械	—	K1	ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (2011年規制)] 7 t 級	賃料																																																																																																		
		K2	振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 11~12 t	賃料																																																																																																		
		K3	—																																																																																																			
労 務	—	R1	運転手 (特殊)																																																																																																			
		R2	普通作業員																																																																																																			
		R3	—																																																																																																			
		R4	—																																																																																																			
材 料	—	Z1	軽油 バトロール給油																																																																																																			
		Z2	—																																																																																																			
		Z3	—																																																																																																			
		Z4	—																																																																																																			
市場単価	—	S	—																																																																																																			
施工幅員	施工数量	項 目	代表機勞材規格	備 考																																																																																																		
機 械	—	K1	ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 7 t 級	賃料																																																																																																		
		K2	振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 11~12 t	賃料																																																																																																		
		K3	—																																																																																																			
労 務	—	R1	運転手 (特殊)																																																																																																			
		R2	普通作業員																																																																																																			
		R3	—																																																																																																			
		R4	—																																																																																																			
材 料	—	Z1	軽油 バトロール給油																																																																																																			
		Z2	—																																																																																																			
		Z3	—																																																																																																			
		Z4	—																																																																																																			
市場単価	—	S	—																																																																																																			
4.0m以上	20,000 m <sup>3</sup> 以上	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工幅員</th> <th>施工数量</th> <th>項 目</th> <th>代表機勞材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td rowspan="3">—</td> <td>K1</td> <td>ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (2011年規制)] 16 t 級</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 11~12 t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td rowspan="4">—</td> <td>R1</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td rowspan="4">—</td> <td>Z1</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>—</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工幅員	施工数量	項 目	代表機勞材規格	備 考	機 械	—	K1	ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (2011年規制)] 16 t 級	賃料	K2	振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 11~12 t	賃料	K3	—		労 務	—	R1	運転手 (特殊)		R2	普通作業員		R3	—		R4	—		材 料	—	Z1	軽油 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	—	S	—		<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工幅員</th> <th>施工数量</th> <th>項 目</th> <th>代表機勞材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td rowspan="3">—</td> <td>K1</td> <td>ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 16 t 級</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 11~12 t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td rowspan="4">—</td> <td>R1</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td rowspan="4">—</td> <td>Z1</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>—</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工幅員	施工数量	項 目	代表機勞材規格	備 考	機 械	—	K1	ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 16 t 級	賃料	K2	振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 11~12 t	賃料	K3	—		労 務	—	R1	運転手 (特殊)		R2	普通作業員		R3	—		R4	—		材 料	—	Z1	軽油 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	—	S	—		
施工幅員	施工数量	項 目	代表機勞材規格	備 考																																																																																																		
機 械	—	K1	ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (2011年規制)] 16 t 級	賃料																																																																																																		
		K2	振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 11~12 t	賃料																																																																																																		
		K3	—																																																																																																			
労 務	—	R1	運転手 (特殊)																																																																																																			
		R2	普通作業員																																																																																																			
		R3	—																																																																																																			
		R4	—																																																																																																			
材 料	—	Z1	軽油 バトロール給油																																																																																																			
		Z2	—																																																																																																			
		Z3	—																																																																																																			
		Z4	—																																																																																																			
市場単価	—	S	—																																																																																																			
施工幅員	施工数量	項 目	代表機勞材規格	備 考																																																																																																		
機 械	—	K1	ブルドーザ [湿地・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 16 t 級	賃料																																																																																																		
		K2	振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 運転質量 11~12 t	賃料																																																																																																		
		K3	—																																																																																																			
労 務	—	R1	運転手 (特殊)																																																																																																			
		R2	普通作業員																																																																																																			
		R3	—																																																																																																			
		R4	—																																																																																																			
材 料	—	Z1	軽油 バトロール給油																																																																																																			
		Z2	—																																																																																																			
		Z3	—																																																																																																			
		Z4	—																																																																																																			
市場単価	—	S	—																																																																																																			

【省略】

【省略】

改 正		現 行		備 考			
B～3010 作業土工（埋戻工）		B～3010 作業土工（埋戻工）					
1 適用範囲 【省略】		1 適用範囲 【省略】					
3 施工パッケージ		3 施工パッケージ					
3-1 埋戻し		3-1 埋戻し					
(1) 条件区分 【省略】		(1) 条件区分 【省略】					
(2) 代表機材規格		(2) 代表機材規格					
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。		下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。					
表 3-2 埋戻し 代表機材規格一覧		表 3-2 埋戻し 代表機材規格一覧					
項 目	代表機材規格	施工方法					備考
		最小埋戻幅 4 m以上	最大埋戻幅 4 m以上	最大埋戻幅 1 m以上 4 m未満	最大埋戻幅 1 m未満	左記以外（小規模）	
機 械	バックホウ（クローラ型）[標準型・ <b>超低騒音型</b> ・ <b>排出ガス対策型（2014年規制）</b> ] 山積 0.8 m <sup>3</sup> （平積 0.6 m <sup>3</sup> ）	○	○	○			賃料
	バックホウ（クローラ型）[ <b>後方超小旋回型</b> ・ <b>超低騒音型</b> ・ <b>排出ガス対策型（2014年規制）</b> ] 山積 0.45 m <sup>3</sup> （平積 0.35 m <sup>3</sup> ）				○		
	バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回型・ <b>排出ガス対策型（第2次基準値）</b> ] 山積 0.28 m <sup>3</sup> （平積 0.2 m <sup>3</sup> ）					○	
	ブルドーザ[普通・ <b>排出ガス対策型（2014年規制）</b> ] 15 t級	○					
	振動ローラ（舗装用）[ハンドガイド式] 運転質量 <b>0.5～0.6 t</b>		○	○			賃料
K3	タンバ及びランマ 質量 60～80 kg		○	○	○		※ 賃料
	ランマ 質量 60～80 kg					○	
【省略】		【省略】					
項 目	代表機材規格	施工方法					備考
		最小埋戻幅 4 m以上	最大埋戻幅 4 m以上	最大埋戻幅 1 m以上 4 m未満	最大埋戻幅 1 m未満	左記以外（小規模）	
機 械	バックホウ（クローラ型）[標準型・ <b>排出ガス対策型（第2次基準値）</b> ] 山積 0.8 m <sup>3</sup> （平積 0.6 m <sup>3</sup> ）	○	○	○			—
	バックホウ（クローラ型）[標準型・ <b>排出ガス対策型（第1次基準値）</b> ] 山積 0.45 m <sup>3</sup> （平積 0.35 m <sup>3</sup> ）				○		
	バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回型・ <b>排出ガス対策型（第2次基準値）</b> ] 山積 0.28 m <sup>3</sup> （平積 0.2 m <sup>3</sup> ）					○	
	ブルドーザ[普通・ <b>排出ガス対策型（第1次基準値）</b> ] 15 t級	○					
	振動ローラ（舗装用）[ハンドガイド式] 運転質量 <b>0.8～1.1 t</b>		○	○			賃料
K3	タンバ及びランマ 質量 60～80 kg		○	○	○		※ 賃料
	ランマ 質量 60～80 kg					○	
【省略】		【省略】					
				表内、字句の削除及び字句・数値の追加、改正			

## C 共通工

土地改良事業等適用施工パッケージ型積算方式の試行  
(平成 29 年 9 月 25 日付け事調第 598 号農政部長通知) の一部改正

### 1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 6 年 12 月 19 日以降	令和 7 年 2 月 20 日以降





新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																																						
<p>C~1300 コンクリートブロック積（張）エ</p> <p>1 適用範囲</p> <p>【省略】</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 間知ブロック積</p> <p>【省略】</p> <p>1-1-7 胴込・裏込材（砕石）</p> <p>(1) コンクリートブロック積（張）工における<u>砕石・再生資材等</u>の胴込・裏込材の投入転圧の場合</p> <p>【省略】</p> <p>1-2-7 胴込・裏込材（砕石）</p> <p>(1) 石積（張）における砕石・<u>再生資材等</u>の等の胴込・裏込材設置の場合</p> <p>【省略】</p> <p>3 施工パッケージ</p> <p>3-1 間知ブロック積</p> <p>【省略】</p> <p>3-2 大型ブロック積</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>【省略】</p> <p>(2) 代表機労材規格</p> <p>下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3-5 大型ブロック積 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ（クローラ型）[標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積 0.8m3（平積 0.6m3）吊能力 2.9t <u>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第3次基準値）] 25 t 吊</u></td> <td>賃料 2,000 kg/個以下の場合 <u>賃料 2,000 kg/個超えの場合</u></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>ブロック工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1</td> <td>大型ブロック 控え 500 mm <u>大型ブロック 控え 2,000 mm</u></td> <td><u>2,000 kg/個以下の場合</u> <u>2,000 kg/個超えの場合</u></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項 目	代表機労材規格	備 考	機 械	K1	バックホウ（クローラ型）[標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積 0.8m3（平積 0.6m3）吊能力 2.9t <u>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第3次基準値）] 25 t 吊</u>	賃料 2,000 kg/個以下の場合 <u>賃料 2,000 kg/個超えの場合</u>	K2	—	—	K3	—	—	労 務	R1	普通作業員		R2	ブロック工		R3	土木一般世話役		R4	特殊作業員		材 料	Z1	大型ブロック 控え 500 mm <u>大型ブロック 控え 2,000 mm</u>	<u>2,000 kg/個以下の場合</u> <u>2,000 kg/個超えの場合</u>	Z2	軽油 バトロール給油		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>C~1300 コンクリートブロック積（張）エ</p> <p>1 適用範囲</p> <p>【省略】</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 間知ブロック積</p> <p>【省略】</p> <p>1-1-7 胴込・裏込材（砕石）</p> <p>(1) コンクリートブロック積（張）工における _____ 胴込・裏込材の投入転圧の場合</p> <p>【省略】</p> <p>1-2-7 胴込・裏込材（砕石）</p> <p>(1) 石積（張）における砕石 _____ 等の胴込・裏込材設置の場合</p> <p>【省略】</p> <p>3 施工パッケージ</p> <p>3-1 間知ブロック積</p> <p>【省略】</p> <p>3-2 大型ブロック積</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>【省略】</p> <p>(2) 代表機労材規格</p> <p>下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3-5 大型ブロック積 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ（クローラ型）[標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積 0.8m3（平積 0.6m3）吊能力 2.9t</td> <td>賃料 2,000 kg/個以下 _____</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td><u>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第3次基準値）] 25 t 吊</u></td> <td><u>賃料 2,000 kg/個超え _____</u></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>ブロック工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1</td> <td>大型ブロック 控え 500 mm</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項 目	代表機労材規格	備 考	機 械	K1	バックホウ（クローラ型）[標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積 0.8m3（平積 0.6m3）吊能力 2.9t	賃料 2,000 kg/個以下 _____	K2	<u>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第3次基準値）] 25 t 吊</u>	<u>賃料 2,000 kg/個超え _____</u>	K3	—	—	労 務	R1	普通作業員		R2	ブロック工		R3	土木一般世話役		R4	特殊作業員		材 料	Z1	大型ブロック 控え 500 mm	_____	Z2	軽油 バトロール給油		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>字句の追加</p> <p>字句の追加</p> <p>表内、字句の追加・削除</p>
項 目	代表機労材規格	備 考																																																																																						
機 械	K1	バックホウ（クローラ型）[標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積 0.8m3（平積 0.6m3）吊能力 2.9t <u>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第3次基準値）] 25 t 吊</u>	賃料 2,000 kg/個以下の場合 <u>賃料 2,000 kg/個超えの場合</u>																																																																																					
	K2	—	—																																																																																					
	K3	—	—																																																																																					
労 務	R1	普通作業員																																																																																						
	R2	ブロック工																																																																																						
	R3	土木一般世話役																																																																																						
	R4	特殊作業員																																																																																						
材 料	Z1	大型ブロック 控え 500 mm <u>大型ブロック 控え 2,000 mm</u>	<u>2,000 kg/個以下の場合</u> <u>2,000 kg/個超えの場合</u>																																																																																					
	Z2	軽油 バトロール給油																																																																																						
	Z3	—																																																																																						
	Z4	—																																																																																						
市場単価	S	—																																																																																						
項 目	代表機労材規格	備 考																																																																																						
機 械	K1	バックホウ（クローラ型）[標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積 0.8m3（平積 0.6m3）吊能力 2.9t	賃料 2,000 kg/個以下 _____																																																																																					
	K2	<u>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第3次基準値）] 25 t 吊</u>	<u>賃料 2,000 kg/個超え _____</u>																																																																																					
	K3	—	—																																																																																					
労 務	R1	普通作業員																																																																																						
	R2	ブロック工																																																																																						
	R3	土木一般世話役																																																																																						
	R4	特殊作業員																																																																																						
材 料	Z1	大型ブロック 控え 500 mm	_____																																																																																					
	Z2	軽油 バトロール給油																																																																																						
	Z3	—																																																																																						
	Z4	—																																																																																						
市場単価	S	—																																																																																						

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																																
<p>3-3 間知ブロック張 (1) 条件区分 【省略】</p> <p>3-3 間知ブロック張 (1) 条件区分</p> <p style="text-align: center;">表 3-7 裏込材規格</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="7" style="text-align: center;">裏込材規格</td><td>切込砂利 80 mm級</td></tr> <tr><td>切込碎石 80 mm級</td></tr> <tr><td>再生骨材 80 mm級</td></tr> <tr><td>切込砂利 40 mm級</td></tr> <tr><td>切込碎石 40 mm級</td></tr> <tr><td>再生骨材 40 mm級</td></tr> <tr><td>碎石 (各種)</td></tr> <tr><td>不要</td></tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p> <p>3-4 平ブロック張 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-13 平ブロック張 積算条件区分一覧 (積算単位：㎡)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>ブロックの質量</th> <th>平ブロック規格</th> <th>裏込材規格</th> <th>裏込材 10㎡当り使用量</th> <th>遮水シート規格</th> <th>吸出し防止材の有無</th> <th>連結金具の有無</th> <th>連結金具 10㎡当り使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">150 kg/個未満</td> <td rowspan="2">平ブロック 控 180 mm</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">表 3-7</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">表 3-14</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">表 3-11</td> <td rowspan="2">有り</td> <td>有り</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">表 3-15</td> </tr> <tr><td>無し</td></tr> <tr> <td rowspan="2">平ブロック 控 120 mm</td> <td rowspan="2">有り</td> <td>有り</td> </tr> <tr><td>無し</td></tr> <tr> <td rowspan="2">平ブロック 各種</td> <td rowspan="2">有り</td> <td>有り</td> </tr> <tr><td>無し</td></tr> <tr> <td rowspan="2">150 kg/個以上</td> <td rowspan="2">平ブロック 各種</td> <td rowspan="2">有り</td> <td>有り</td> </tr> <tr><td>無し</td></tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、平ブロック (勾配1割以上・ブロック質量770 kg/個以下) の設置、連結金具組立 (材料費を含む)、裏込材 (碎石) 投入、調整コンクリートの打設 (材料費を含む)、吸出し防止材、遮水シート張 (ブロック背面、基礎、横帯 (隔壁)、小口止の端部継手)、現場内小運搬 (50mまで) の他、タンバ締固めの損料、目地モルタルを使用した場合の材料費・設置手間等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。 【省略】</p>	積算条件	区 分	裏込材規格	切込砂利 80 mm級	切込碎石 80 mm級	再生骨材 80 mm級	切込砂利 40 mm級	切込碎石 40 mm級	再生骨材 40 mm級	碎石 (各種)	不要	ブロックの質量	平ブロック規格	裏込材規格	裏込材 10㎡当り使用量	遮水シート規格	吸出し防止材の有無	連結金具の有無	連結金具 10㎡当り使用量	150 kg/個未満	平ブロック 控 180 mm	表 3-7	表 3-14	表 3-11	有り	有り	表 3-15	無し	平ブロック 控 120 mm	有り	有り	無し	平ブロック 各種	有り	有り	無し	150 kg/個以上	平ブロック 各種	有り	有り	無し	<p>3-3 間知ブロック張 (1) 条件区分 【省略】</p> <p>3-3 間知ブロック張 (1) 条件区分</p> <p style="text-align: center;">表 3-7 裏込材規格</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="7" style="text-align: center;">裏込材規格</td><td>切込砂利 80 mm級</td></tr> <tr><td>切込碎石 80 mm級</td></tr> <tr><td>切込砂利 40 mm級</td></tr> <tr><td>切込碎石 40 mm級</td></tr> <tr><td>碎石 (各種)</td></tr> <tr><td>不要</td></tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p> <p>3-4 平ブロック張 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-13 平ブロック張 積算条件区分一覧 (積算単位：㎡)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>ブロックの質量</th> <th>平ブロック規格</th> <th>裏込材規格</th> <th>裏込材 10㎡当り使用量</th> <th>遮水シート規格</th> <th>吸出し防止材の有無</th> <th>連結金具の有無</th> <th>連結金具 10㎡当り使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">150 kg/個未満</td> <td rowspan="2">平ブロック 控 180 mm</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">表 3-7</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">表 3-14</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">表 3-11</td> <td rowspan="2">有り</td> <td>有り</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">表 3-15</td> </tr> <tr><td>無し</td></tr> <tr> <td rowspan="2">平ブロック 控 120 mm</td> <td rowspan="2">有り</td> <td>有り</td> </tr> <tr><td>無し</td></tr> <tr> <td rowspan="2">平ブロック 各種</td> <td rowspan="2">有り</td> <td>有り</td> </tr> <tr><td>無し</td></tr> <tr> <td rowspan="2">150 kg/個以上</td> <td rowspan="2">平ブロック 各種</td> <td rowspan="2">有り</td> <td>有り</td> </tr> <tr><td>無し</td></tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、平ブロック (勾配1割以上・ブロック質量770 kg/個以下) の設置、連結金具組立、裏込材 (碎石) 投入、調整コンクリートの打設 (材料費を含む)、吸出し防止材、遮水シート張 (ブロック背面、基礎、横帯 (隔壁)、小口止の端部継手)、現場内小運搬 (50mまで) の他、タンバ締固めの損料、目地モルタルを使用した場合の材料費・設置手間等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。 【省略】</p>	積算条件	区 分	裏込材規格	切込砂利 80 mm級	切込碎石 80 mm級	切込砂利 40 mm級	切込碎石 40 mm級	碎石 (各種)	不要	ブロックの質量	平ブロック規格	裏込材規格	裏込材 10㎡当り使用量	遮水シート規格	吸出し防止材の有無	連結金具の有無	連結金具 10㎡当り使用量	150 kg/個未満	平ブロック 控 180 mm	表 3-7	表 3-14	表 3-11	有り	有り	表 3-15	無し	平ブロック 控 120 mm	有り	有り	無し	平ブロック 各種	有り	有り	無し	150 kg/個以上	平ブロック 各種	有り	有り	無し	<p>表内、字句の追加</p> <p>字句の追加</p>
積算条件	区 分																																																																																	
裏込材規格	切込砂利 80 mm級																																																																																	
	切込碎石 80 mm級																																																																																	
	再生骨材 80 mm級																																																																																	
	切込砂利 40 mm級																																																																																	
	切込碎石 40 mm級																																																																																	
	再生骨材 40 mm級																																																																																	
	碎石 (各種)																																																																																	
不要																																																																																		
ブロックの質量	平ブロック規格	裏込材規格	裏込材 10㎡当り使用量	遮水シート規格	吸出し防止材の有無	連結金具の有無	連結金具 10㎡当り使用量																																																																											
150 kg/個未満	平ブロック 控 180 mm	表 3-7	表 3-14	表 3-11	有り	有り	表 3-15																																																																											
						無し																																																																												
	平ブロック 控 120 mm				有り	有り																																																																												
						無し																																																																												
	平ブロック 各種				有り	有り																																																																												
						無し																																																																												
150 kg/個以上	平ブロック 各種	有り	有り																																																																															
			無し																																																																															
積算条件	区 分																																																																																	
裏込材規格	切込砂利 80 mm級																																																																																	
	切込碎石 80 mm級																																																																																	
	切込砂利 40 mm級																																																																																	
	切込碎石 40 mm級																																																																																	
	碎石 (各種)																																																																																	
	不要																																																																																	
	ブロックの質量	平ブロック規格	裏込材規格	裏込材 10㎡当り使用量	遮水シート規格	吸出し防止材の有無	連結金具の有無	連結金具 10㎡当り使用量																																																																										
150 kg/個未満	平ブロック 控 180 mm	表 3-7	表 3-14	表 3-11	有り	有り	表 3-15																																																																											
						無し																																																																												
	平ブロック 控 120 mm				有り	有り																																																																												
						無し																																																																												
	平ブロック 各種				有り	有り																																																																												
						無し																																																																												
150 kg/個以上	平ブロック 各種	有り	有り																																																																															
			無し																																																																															

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																												
<p>3-10 現場打基礎コンクリート</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-27 現場打基礎コンクリート 積算条件区分一覧 (積算単位：m<sup>3</sup>)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">生コンクリート規格</th> <th style="width: 20%;">基礎碎石の有無</th> <th style="width: 50%;">養生工の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">表 3-28</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生・特殊養生 (練炭)</td> </tr> <tr> <td>養生工無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生・特殊養生 (練炭)</td> </tr> <tr> <td>養生工無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、<u>現場打基礎コンクリートにおけるコンクリート打設、型枠、養生、基礎碎石、はく離剤塗布、ケレン作業、現場内小運搬、目地板の施工の他、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、さん木、洋釘、はく離剤、電気ドリル、電動ノコギリ、コンクリートパイプレータ、コンクリートバケット損料及び電力に関する経費</u>等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料を含む) を含む。</p> <p>【省略】</p> <p>3-11 現場打小口止コンクリート</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-30 現場打小口止コンクリート 積算条件区分一覧 (積算単位：m<sup>3</sup>)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">生コンクリート規格</th> <th style="width: 70%;">養生工の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">表 3-28</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭)</td> </tr> <tr> <td>養生工なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、現場打<u>小口止</u>コンクリート<u>  </u>におけるコンクリート<u>打設、型枠、養生、はく離剤塗布、ケレン作業の施工の他、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、さん木、洋釘、はく離材、電気ドリル、電動ノコギリ、コンクリートパイプレータ、コンクリートバケット</u>損料及び電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料を含む) を含む。</p> <p>(注2) <u>  </u>コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.07)</p> <p>【省略】</p> <p>3-12 現場打横帯 (隔壁) コンクリート</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-32 現場打横帯 (隔壁) コンクリート 積算条件区分一覧 (積算単位：m<sup>3</sup>)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">生コンクリート規格</th> <th style="width: 70%;">養生工の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">表 3-28</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭)</td> </tr> <tr> <td>養生工なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、現場打<u>横帯 (隔壁)</u>コンクリート<u>  </u>におけるコンクリート<u>打設、型枠、養生、はく離剤塗布、ケレン作業の施工の他、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、さん木、洋釘、はく離材、電気ドリル、電動ノコギリ、コンクリートパイプレータ、コンクリートバケット</u>損料及び電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料を含む) を含む。</p> <p>(注2) <u>  </u>コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.07)</p> <p>【省略】</p>	生コンクリート規格	基礎碎石の有無	養生工の種類	表 3-28	有り	一般養生・特殊養生 (練炭)	養生工無し	無し	一般養生・特殊養生 (練炭)	養生工無し	生コンクリート規格	養生工の種類	表 3-28	一般養生	特殊養生 (練炭)	養生工なし	生コンクリート規格	養生工の種類	表 3-28	一般養生	特殊養生 (練炭)	養生工なし	<p>3-10 現場打基礎コンクリート</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-27 現場打基礎コンクリート 積算条件区分一覧 (積算単位：m<sup>3</sup>)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">生コンクリート規格</th> <th style="width: 20%;">基礎碎石の有無</th> <th style="width: 50%;">養生工の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">表 3-28</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生・特殊養生 (練炭)</td> </tr> <tr> <td>養生工無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生・特殊養生 (練炭)</td> </tr> <tr> <td>養生工無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、<u>  </u>コンクリート<u>  </u>、<u>基礎材</u>、<u>  </u>、<u>目地板</u>、<u>  </u>、<u>型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、さん木、洋釘、はく離剤、電気ドリル、電動ノコギリ、コンクリートパイプレータ、コンクリートバケット損料及び電力に関する経費</u>、<u>コンクリート打設、養生</u>等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料を含む) を含む。</p> <p>【省略】</p> <p>3-11 現場打小口止コンクリート</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-30 現場打小口止コンクリート 積算条件区分一覧 (積算単位：m<sup>3</sup>)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">生コンクリート規格</th> <th style="width: 70%;">養生工の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">表 3-28</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭)</td> </tr> <tr> <td>養生工なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、現場打<u>ちによる天端</u>コンクリート<u>設置</u>におけるコンクリート<u>  </u>、<u>型枠(製作・設置・撤去)</u>、<u>雑機械器具(電気ドリル、電気ノコギリ、コンクリート打設機器)</u>の損料及び電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。</p> <p>(注2) <u>生</u>コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.07)</p> <p>【省略】</p> <p>3-12 現場打横帯 (隔壁) コンクリート</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-32 現場打横帯 (隔壁) コンクリート 積算条件区分一覧 (積算単位：m<sup>3</sup>)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">生コンクリート規格</th> <th style="width: 70%;">養生工の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">表 3-28</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭)</td> </tr> <tr> <td>養生工なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 上表は、現場打<u>ちによる天端</u>コンクリート<u>設置</u>におけるコンクリート<u>  </u>、<u>型枠(製作・設置・撤去)</u>、<u>雑機械器具(電気ドリル、電気ノコギリ、コンクリート打設機器)</u>の損料及び電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。</p> <p>(注2) <u>生</u>コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.07)</p> <p>【省略】</p>	生コンクリート規格	基礎碎石の有無	養生工の種類	表 3-28	有り	一般養生・特殊養生 (練炭)	養生工無し	無し	一般養生・特殊養生 (練炭)	養生工無し	生コンクリート規格	養生工の種類	表 3-28	一般養生	特殊養生 (練炭)	養生工なし	生コンクリート規格	養生工の種類	表 3-28	一般養生	特殊養生 (練炭)	養生工なし	<p>字句の追加、改正</p> <p>//</p> <p>字句の削除</p> <p>字句の追加・削除及び改正</p> <p>字句の削除</p> <p>字句の追加・削除及び改正</p> <p>字句の削除</p>
生コンクリート規格	基礎碎石の有無	養生工の種類																																												
表 3-28	有り	一般養生・特殊養生 (練炭)																																												
		養生工無し																																												
	無し	一般養生・特殊養生 (練炭)																																												
		養生工無し																																												
生コンクリート規格	養生工の種類																																													
表 3-28	一般養生																																													
	特殊養生 (練炭)																																													
	養生工なし																																													
生コンクリート規格	養生工の種類																																													
表 3-28	一般養生																																													
	特殊養生 (練炭)																																													
	養生工なし																																													
生コンクリート規格	基礎碎石の有無	養生工の種類																																												
表 3-28	有り	一般養生・特殊養生 (練炭)																																												
		養生工無し																																												
	無し	一般養生・特殊養生 (練炭)																																												
		養生工無し																																												
生コンクリート規格	養生工の種類																																													
表 3-28	一般養生																																													
	特殊養生 (練炭)																																													
	養生工なし																																													
生コンクリート規格	養生工の種類																																													
表 3-28	一般養生																																													
	特殊養生 (練炭)																																													
	養生工なし																																													

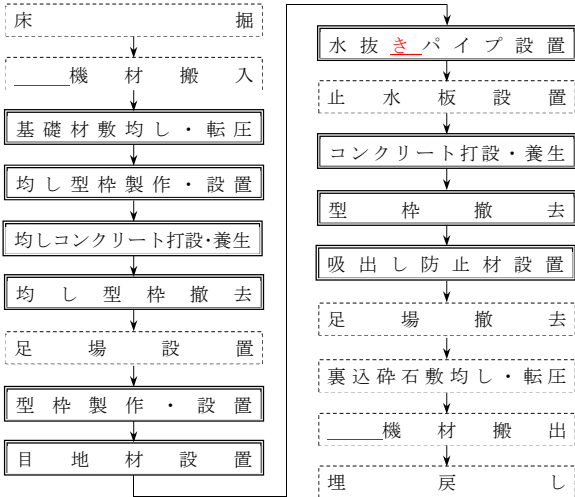
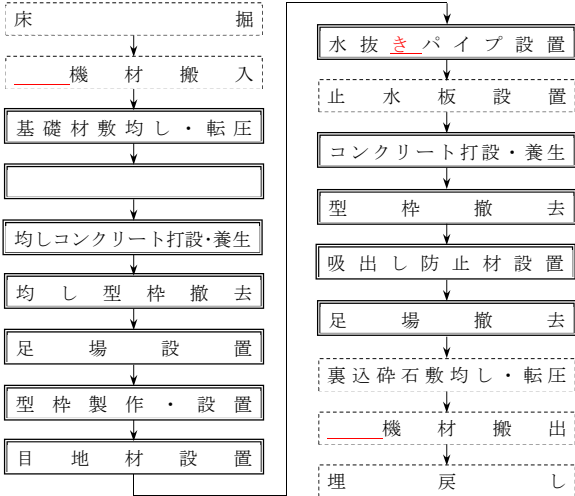
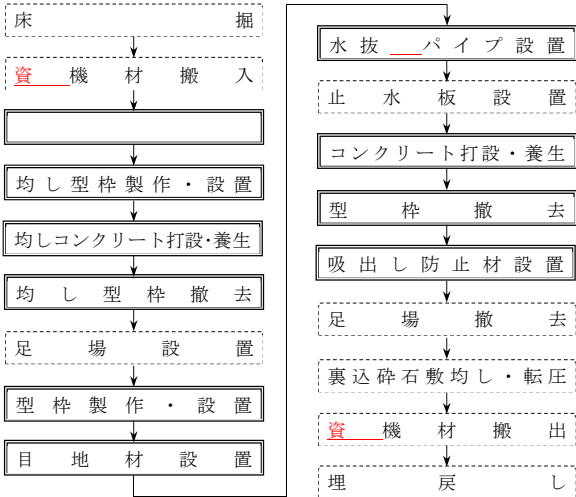
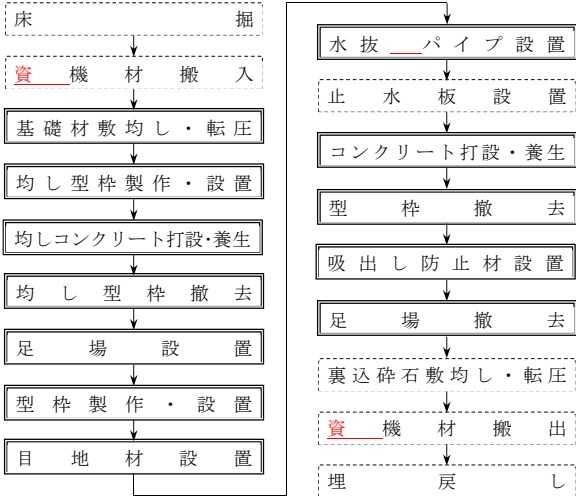






新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>C～2100 場所打擁壁工</p> <p>I 場所打擁壁工 (1)</p> <p>1 適用範囲</p> <p>本資料は、擁壁工における擁壁に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 小型擁壁</p> <p>【省略】</p> <p>1-1-2 重力式擁壁</p> <p>(1) 擁壁平均高さが 1.0m を超え 5.0m 以下の重力式擁壁</p> <p><u>(2) 擁壁平均高さが 1.0m を超え 2.0m 未満、且つコンクリート打設地上高さが施工基面より上の場合、打設地上高さ 0m 以上 2.5m 以下、且つ水平打設距離 4.5m 以下</u></p> <p><u>(3) 擁壁平均高さが 1.0m を超え 2.0m 未満、且つコンクリート打設地上高さが施工基面より下の場合、打設地上高さ-7.0m 以上 0m 未満、且つ水平打設距離 3.5m 以下</u></p> <p>(4) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が 280m 以下の場合</p> <p>(5) 圧送コンクリートのスランプ値が 8～12 cm、粗骨材の最大寸法が 40 mm 以下の場合</p> <p>【省略】</p> <p><u>1-2 適用できない範囲</u></p> <p><u>(1) エポキシ樹脂塗装鉄筋を使用する場合</u></p> <p>また、本項の適用を外れる現場打擁壁工については、II 場所打擁壁工 (2) を適用する。</p>	<p>C～2100 場所打擁壁工</p> <p>I 場所打擁壁工 (1)</p> <p>1 適用範囲</p> <p>本資料は、擁壁工における擁壁に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 小型擁壁</p> <p>【省略】</p> <p>1-1-2 重力式擁壁</p> <p>(1) 擁壁平均高さが 1.0m を超え 5.0m 以下の重力式擁壁</p> <hr/> <p><u>(2) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が 280m 以下の場合</u></p> <p><u>(3) 圧送コンクリートのスランプ値が 8～12 cm、粗骨材の最大寸法が 40 mm 以下の場合</u></p> <p>【省略】</p> <hr/> <p>また、本項の適用を外れる現場打擁壁工については、II 場所打擁壁工 (2) を適用する。</p>	<p>番号・字句の追加</p> <p>番号・字句の追加</p> <p>番号の改正</p> <p>”</p> <p>字句の追加</p> <p>”</p>

改 正	現 行	備 考
<p>2 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>2-1 小型擁壁</p>  <p>【省略】</p> <p>2-2 重力式擁壁、もたれ式擁壁</p>  <p>【省略】</p>	<p>2 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>2-1 小型擁壁</p>  <p>【省略】</p> <p>2-2 重力式擁壁、もたれ式擁壁</p>  <p>【省略】</p>	<p>フロー図内、字句の追加、削除</p> <p>フロー図内、字句の追加、削除</p>

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>2-3 逆T型擁壁、L型擁壁</p> <pre>         graph TD             A[床掘] --&gt; B[機材搬入]             B --&gt; C[基礎材敷均し・転圧]             C --&gt; D[均し型枠製作・設置]             D --&gt; E[均しコンクリート打設・養生]             E --&gt; F[均し型枠撤去]             F --&gt; G[足場設置]             G --&gt; H[鉄筋加工・組立]             H --&gt; I[型枠製作・設置]             I --&gt; J[目地材設置]             J --&gt; K[水抜きパイプ設置]             K --&gt; L[止水板設置]             L --&gt; M[コンクリート打設・養生]             M --&gt; N[型枠撤去]             N --&gt; O[吸出し防止材設置]             O --&gt; P[足場撤去]             P --&gt; Q[裏込砕石敷均し・転圧]             Q --&gt; R[機材搬出]             R --&gt; S[埋戻し]             </pre> <p>【省略】</p>	<p>2-3 逆T型擁壁、L型擁壁</p> <pre>         graph TD             A[床掘] --&gt; B[資機材搬入]             B --&gt; C[基礎材敷均し・転圧]             C --&gt; D[均し型枠製作・設置]             D --&gt; E[均しコンクリート打設・養生]             E --&gt; F[均し型枠撤去]             F --&gt; G[足場設置]             G --&gt; H[鉄筋加工・組立]             H --&gt; I[型枠製作・設置]             I --&gt; J[目地材設置]             J --&gt; K[水抜きパイプ設置]             K --&gt; L[止水板設置]             L --&gt; M[コンクリート打設・養生]             M --&gt; N[型枠撤去]             N --&gt; O[吸出し防止材設置]             O --&gt; P[足場撤去]             P --&gt; Q[裏込砕石敷均し・転圧]             Q --&gt; R[資機材搬出]             R --&gt; S[埋戻し]             </pre> <p>【省略】</p>	<p>フロー図内、字句の追加、削除</p>

改 正		現 行		備 考																																																																																																																																																
<p>3 施工パッケージ</p> <p>3-1 小型擁壁</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-1 小型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：㎡)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>擁壁平均高さ</th> <th>コンクリート規格</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">表 3.2</td> <td rowspan="6">表 3.3</td> <td rowspan="6">無し</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>一般養生・特殊養生 (練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>一般養生・特殊養生 (練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">有り</td> <td rowspan="3">無し</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>一般養生・特殊養生 (練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td rowspan="3">有り</td> <td rowspan="3">有り</td> <td>一般養生・特殊養生 (練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、小型擁壁 (擁壁平均高さ 0.5m以上 1.0m以下) のコンクリート、型枠 (はく離剤塗布及びケレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、目地材 (ひび割れ誘発目地除く)、水抜きパイプ、吸出し防止材 (点在)、養生 (一般養生、特殊養生 (練炭)、特殊養生 (ジェットヒータ))、コンクリートバケットへのコンクリート積込及び玉掛作業を行う機械付補助労務、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具 (コンクリートパイプレタ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、<u>コンクリートバケット</u>) の損料、<u>電力に関する経費</u>等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。ただし、化粧型枠は含まない。</p> <p>【省略】</p> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表 3-4 小型擁壁 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ (クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (2014年規制)] 山積 0.45m<sup>3</sup> (平積 0.35m<sup>3</sup>) 吊能力 2.9t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油</td> <td>・特殊養生 (ジェットヒータ) の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>特殊養生 (ジェットヒータ) の場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	表 3.2	表 3.3	無し	無し	一般養生・特殊養生 (練炭)	特殊養生 (ジェットヒータ)	養生工無	有り	一般養生・特殊養生 (練炭)	特殊養生 (ジェットヒータ)	養生工無	有り	無し	無し	一般養生・特殊養生 (練炭)	特殊養生 (ジェットヒータ)	養生工無	有り	有り	有り	一般養生・特殊養生 (練炭)	特殊養生 (ジェットヒータ)	養生工無	項目	代表機材規格		備考	機 械	K1	バックホウ (クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (2014年規制)] 山積 0.45m <sup>3</sup> (平積 0.35m <sup>3</sup> ) 吊能力 2.9t		K2	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	・特殊養生 (ジェットヒータ) の場合 ・賃料	K3	—		労 務	R1	型わく工		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	運転手 (特殊)		材 料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生 (ジェットヒータ) の場合	Z3	軽油 バトロール給油		Z4	—		市場単価	S	—		<p>3 施工パッケージ</p> <p>3-1 小型擁壁</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-1 小型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：㎡)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>擁壁平均高さ</th> <th>コンクリート規格</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">表 3.2</td> <td rowspan="6">表 3.3</td> <td rowspan="6">無し</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>一般養生・特殊養生 (練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>一般養生・特殊養生 (練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">有り</td> <td rowspan="3">無し</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>一般養生・特殊養生 (練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td rowspan="3">有り</td> <td rowspan="3">有り</td> <td>一般養生・特殊養生 (練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、小型擁壁 (擁壁平均高さ 0.5m以上 1.0m以下) のコンクリート、型枠 (はく離剤塗布及びケレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、目地材 (ひび割れ誘発目地除く)、水抜きパイプ、吸出し防止材 (点在)、養生 (一般養生、特殊養生 (練炭)、特殊養生 (ジェットヒータ))、コンクリートバケットへのコンクリート積込及び玉掛作業を行う機械付補助労務、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具 (コンクリートパイプレタ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、<u>ジェット</u>、<u>ホップ</u>) の損料、<u>電力に関する経費</u>等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。ただし、化粧型枠は含まない。</p> <p>【省略】</p> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表 3-4 小型擁壁 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ (クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積 0.45m<sup>3</sup> (平積 0.35m<sup>3</sup>) 吊能力 2.9t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油</td> <td>・特殊養生 (ジェットヒータ) の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>特殊養生 (ジェットヒータ) の場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	表 3.2	表 3.3	無し	無し	一般養生・特殊養生 (練炭)	特殊養生 (ジェットヒータ)	養生工無	有り	一般養生・特殊養生 (練炭)	特殊養生 (ジェットヒータ)	養生工無	有り	無し	無し	一般養生・特殊養生 (練炭)	特殊養生 (ジェットヒータ)	養生工無	有り	有り	有り	一般養生・特殊養生 (練炭)	特殊養生 (ジェットヒータ)	養生工無	項目	代表機材規格		備考	機 械	K1	バックホウ (クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積 0.45m <sup>3</sup> (平積 0.35m <sup>3</sup> ) 吊能力 2.9t		K2	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	・特殊養生 (ジェットヒータ) の場合 ・賃料	K3	—		労 務	R1	型わく工		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	運転手 (特殊)		材 料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生 (ジェットヒータ) の場合	Z3	軽油 バトロール給油		Z4	—		市場単価	S	—		<p>字句の改正</p> <p>字句の追加</p> <p>表内、字句の改正</p>
擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類																																																																																																																																																
表 3.2	表 3.3	無し	無し	一般養生・特殊養生 (練炭)																																																																																																																																																
				特殊養生 (ジェットヒータ)																																																																																																																																																
				養生工無																																																																																																																																																
			有り	一般養生・特殊養生 (練炭)																																																																																																																																																
				特殊養生 (ジェットヒータ)																																																																																																																																																
				養生工無																																																																																																																																																
	有り	無し	無し	一般養生・特殊養生 (練炭)																																																																																																																																																
				特殊養生 (ジェットヒータ)																																																																																																																																																
				養生工無																																																																																																																																																
		有り	有り	有り	一般養生・特殊養生 (練炭)																																																																																																																																															
					特殊養生 (ジェットヒータ)																																																																																																																																															
					養生工無																																																																																																																																															
項目	代表機材規格		備考																																																																																																																																																	
機 械	K1	バックホウ (クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (2014年規制)] 山積 0.45m <sup>3</sup> (平積 0.35m <sup>3</sup> ) 吊能力 2.9t																																																																																																																																																		
	K2	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	・特殊養生 (ジェットヒータ) の場合 ・賃料																																																																																																																																																	
	K3	—																																																																																																																																																		
労 務	R1	型わく工																																																																																																																																																		
	R2	普通作業員																																																																																																																																																		
	R3	土木一般世話役																																																																																																																																																		
	R4	運転手 (特殊)																																																																																																																																																		
材 料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																																																																																		
	Z2	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生 (ジェットヒータ) の場合																																																																																																																																																	
	Z3	軽油 バトロール給油																																																																																																																																																		
	Z4	—																																																																																																																																																		
市場単価	S	—																																																																																																																																																		
擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類																																																																																																																																																
表 3.2	表 3.3	無し	無し	一般養生・特殊養生 (練炭)																																																																																																																																																
				特殊養生 (ジェットヒータ)																																																																																																																																																
				養生工無																																																																																																																																																
			有り	一般養生・特殊養生 (練炭)																																																																																																																																																
				特殊養生 (ジェットヒータ)																																																																																																																																																
				養生工無																																																																																																																																																
	有り	無し	無し	一般養生・特殊養生 (練炭)																																																																																																																																																
				特殊養生 (ジェットヒータ)																																																																																																																																																
				養生工無																																																																																																																																																
		有り	有り	有り	一般養生・特殊養生 (練炭)																																																																																																																																															
					特殊養生 (ジェットヒータ)																																																																																																																																															
					養生工無																																																																																																																																															
項目	代表機材規格		備考																																																																																																																																																	
機 械	K1	バックホウ (クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積 0.45m <sup>3</sup> (平積 0.35m <sup>3</sup> ) 吊能力 2.9t																																																																																																																																																		
	K2	業務用可搬型ヒータ [ジェットヒータ] [油だき・熱風・直火型] 熱出力 126MJ/h (30, 100kcal/h) 油種 灯油	・特殊養生 (ジェットヒータ) の場合 ・賃料																																																																																																																																																	
	K3	—																																																																																																																																																		
労 務	R1	型わく工																																																																																																																																																		
	R2	普通作業員																																																																																																																																																		
	R3	土木一般世話役																																																																																																																																																		
	R4	運転手 (特殊)																																																																																																																																																		
材 料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																																																																																		
	Z2	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生 (ジェットヒータ) の場合																																																																																																																																																	
	Z3	軽油 バトロール給油																																																																																																																																																		
	Z4	—																																																																																																																																																		
市場単価	S	—																																																																																																																																																		

新 旧 対 照 表

改 正		現 行				備 考
3-2 重力式擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。		3-2 重力式擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。				
表 3-5 重力式擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：㎡)		表 3-5 重力式擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：㎡)				
擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	
1.0mを超え 2.0m未満	表 3-3	無し	無し	一般養生	表 3-6	
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)		
				養生工無		
			有り	一般養生		
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)		
				養生工無		
		有り	無し	一般養生		
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)		
				養生工無		
			有り	一般養生		
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)		
				養生工無		
2.0m以上 5.0m以下	表 3-3	無し	無し	一般養生	表 3-6	
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)		
				仮囲い内ジェットヒータ養生		
			養生工無			
			有り	一般養生		
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)		
		仮囲い内ジェットヒータ養生				
		有り	無し	一般養生		
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)		
				養生工無		
			有り	一般養生		
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)		
仮囲い内ジェットヒータ養生						

(注1) 上表は、重力式擁壁（擁壁平均高さ1.0mを超え5.0m以下）のコンクリート、型枠（はく離剤塗布及びケレン作業含む）、基礎材、均しコンクリート、一般足場（擁壁平均高さが2m未満の場合）、単管傾斜足場（擁壁平均高さが2m以上の場合）、手摺先行型枠組足場（擁壁平均高さが2m以上の場合）、目地材（ひび割れ誘発目地除く）、水抜きパイプ、吸出し防止材（点在）、養生（一般養生、特殊養生（練炭・ジェットヒータ）、仮囲い内ジェットヒータ養生）、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具（コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、コンクリートバケット等）の損料等、電力に関する経費、コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、化粧型枠は含まない。

【省略】

(注1) 上表は、重力式擁壁（擁壁平均高さ1.0mを超え5.0m以下）のコンクリート、型枠（はく離剤塗布及びケレン作業含む）、基礎材、均しコンクリート、一般足場（擁壁平均高さが2m未満の場合）、単管傾斜足場（擁壁平均高さが2m以上の場合）、手摺先行型枠組足場（擁壁平均高さが2m以上の場合）、目地材（ひび割れ誘発目地除く）、水抜きパイプ、吸出し防止材（点在）、養生（一般養生、特殊養生（練炭・ジェットヒータ）、仮囲い内ジェットヒータ養生）、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具（コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等）の損料等、コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、化粧型枠は含まない。

【省略】

字句の改正  
字句の追加

新 旧 対 照 表

改 正				現 行				備 考
(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表3-7 重力式擁壁 代表機材規格一覧				(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表3-7 重力式擁壁 代表機材規格一覧				表内、字句の改正
擁壁平均 高さ	項 目	代表機材規格	備 考	擁壁平均 高さ	項 目	代表機材規格	備 考	
1.0mを超え 2.0m未満	機 械	K1	<u>バックホウ(クローラ型)〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)〕</u> <u>山積0.45m<sup>3</sup>(平積0.35m<sup>3</sup>)吊能力2.9t</u>		機 械	K1	<u>コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕圧送能力90~110m<sup>3</sup>/h</u>	
		K2	—			K2	—	
		K3	—			K3	—	
	労 務	R1	普通作業員		労 務	R1	普通作業員	
		R2	型わく工			R2	型わく工	
		R3	土木一般世話役			R3	土木一般世話役	
		R4	特殊作業員			R4	特殊作業員	
	材 料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		材 料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	
		Z2	軽油 バトロール給油			Z2	軽油 バトロール給油	
		Z3	—			Z3	—	
		Z4	—			Z4	—	
	市場単価	S	—		市場単価	S	—	
	【省略】				【省略】			



新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																						
<p>3-3 もたれ式擁壁</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-8 もたれ式擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：㎡)</p> <table border="1" data-bbox="138 277 1010 735"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>基礎砕石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">表 3-3</td> <td rowspan="7">無し</td> <td rowspan="4">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="14">表 3-6</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">有り</td> <td rowspan="4">無し</td> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、もたれ式擁壁 (擁壁平均高さ 3.0m以上 8.0m以下) のコンクリート、型枠 (はく離剤塗布及びケレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、足場工、目地材 (ひび割れ誘発目地除く)、水抜きパイプ、吸出し防止材 (点在)、養生 (一般養生・特殊養生 (練炭)、特殊養生 (ジェットヒータ)、仮囲い内ジェットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具 (コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、<u>コンクリートバケット</u>等) の損料、<u>電力に関する経費</u>、コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。ただし、化粧型枠は含まない。</p> <p>【省略】</p>	コンクリート規格	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	表 3-3	無し	無し	一般養生	表 3-6	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	養生工無	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	無し	養生工無	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	養生工無	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	<p>3-3 もたれ式擁壁</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-8 もたれ式擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：㎡)</p> <table border="1" data-bbox="1081 277 1953 735"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>基礎砕石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">表 3-3</td> <td rowspan="7">無し</td> <td rowspan="4">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="14">表 3-6</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">有り</td> <td rowspan="4">無し</td> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、もたれ式擁壁 (擁壁平均高さ 3.0m以上 8.0m以下) のコンクリート、型枠 (はく離剤塗布及びケレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、足場工、目地材 (ひび割れ誘発目地除く)、水抜きパイプ、吸出し防止材 (点在)、養生 (一般養生・特殊養生 (練炭)、特殊養生 (ジェットヒータ)、仮囲い内ジェットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具 (コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、<u>シユート</u>、<u>ホッパ</u>等) の損料、<u>コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務等</u>、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。ただし、化粧型枠は含まない。</p> <p>【省略】</p>	コンクリート規格	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	表 3-3	無し	無し	一般養生	表 3-6	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	養生工無	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	無し	養生工無	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	養生工無	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	<p>字句の改正、削除</p>
コンクリート規格	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																				
表 3-3	無し	無し	一般養生	表 3-6																																																				
			特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																					
			仮囲い内ジェットヒータ養生																																																					
			養生工無																																																					
		有り	一般養生																																																					
			特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																					
			仮囲い内ジェットヒータ養生																																																					
	有り	無し	養生工無																																																					
			一般養生																																																					
			特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																					
			仮囲い内ジェットヒータ養生																																																					
		有り	養生工無																																																					
			一般養生																																																					
			特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																					
コンクリート規格	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																				
表 3-3	無し	無し	一般養生	表 3-6																																																				
			特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																					
			仮囲い内ジェットヒータ養生																																																					
			養生工無																																																					
		有り	一般養生																																																					
			特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																					
			仮囲い内ジェットヒータ養生																																																					
	有り	無し	養生工無																																																					
			一般養生																																																					
			特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																					
			仮囲い内ジェットヒータ養生																																																					
		有り	養生工無																																																					
			一般養生																																																					
			特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																					

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																						
<p>3-4 逆T型擁壁</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-10 逆T型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m<sup>3</sup>)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>鉄筋量</th> <th>基礎砕石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">表 3-3</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">表 3-11</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">表 3-6</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、逆T型擁壁 (擁壁平均高さ3.0m以上10.0m以下) のコンクリート、型枠 (はく離剤塗布及びケレン作業含む)、鉄筋、基礎材、均しコンクリート、手摺先行型枠組足場、目地材 (ひび割れ誘発目地除く)、水抜きパイプ、吸出し防止材 (点在)、養生 (一般養生、特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)、仮囲い内ジェットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具 (コンクリートパイプレタ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、<u>コンクリートバケット</u>) 等の損料、<u>電力に関する経費</u>、コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。ただし、化粧型枠は含まない。</p> <p><b>【省略】</b></p>	コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	表 3-3	表 3-11	無し	無し	一般養生	表 3-6	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	無し	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	<p>3-4 逆T型擁壁</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-10 逆T型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m<sup>3</sup>)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>鉄筋量</th> <th>基礎砕石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">表 3-3</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">表 3-11</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">表 3-6</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、逆T型擁壁 (擁壁平均高さ3.0m以上10.0m以下) のコンクリート、型枠 (はく離剤塗布及びケレン作業含む)、鉄筋、基礎材、均しコンクリート、手摺先行型枠組足場、目地材 (ひび割れ誘発目地除く)、水抜きパイプ、吸出し防止材 (点在)、養生 (一般養生、特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)、仮囲い内ジェットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具 (コンクリートパイプレタ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、<u>シュート</u>、<u>ホッパ</u>) 等の損料、<u>コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務等</u>、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。ただし、化粧型枠は含まない。</p> <p><b>【省略】</b></p>	コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	表 3-3	表 3-11	無し	無し	一般養生	表 3-6	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	無し	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	<p>字句の改正 字句の追加</p>
コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																			
表 3-3	表 3-11	無し	無し	一般養生	表 3-6																																																			
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																				
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																				
			有り	一般養生																																																				
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																				
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																				
		有り	無し	一般養生																																																				
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																				
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																				
			有り	一般養生																																																				
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																				
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																				
コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																			
表 3-3	表 3-11	無し	無し	一般養生	表 3-6																																																			
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																				
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																				
			有り	一般養生																																																				
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																				
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																				
		有り	無し	一般養生																																																				
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																				
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																				
			有り	一般養生																																																				
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																				
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																				

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																								
<p>3-5 L型擁壁</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-13 L型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m<sup>3</sup>)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>鉄筋量</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">表 3-3</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">表 3-11</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">表 3-6</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、L型擁壁（擁壁平均高さ3.0m以上7.0m以下）のコンクリート、型枠（はく離剤塗布及びケレン作業含む）、鉄筋、基礎材、均しコンクリート、手摺先行型枠組足場、目地材（ひび割れ誘発目地除く）、水抜きパイプ、吸出し防止材（点在）、養生（一般養生、特殊養生（練炭・ジェットヒータ））、仮囲い内ジェットヒータ養生）、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具（コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、<u>コンクリートバケット</u>等）の損料、<u>電力に関する経費</u>、コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、化粧型枠は含まない。</p> <p>【省略】</p>	コンクリート規格	鉄筋量	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	表 3-3	表 3-11	無し	無し	一般養生	表 3-6	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	無し	無し	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	<p>3-5 L型擁壁</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-13 L型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m<sup>3</sup>)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>鉄筋量</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">表 3-3</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">表 3-11</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">表 3-6</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、L型擁壁（擁壁平均高さ3.0m以上7.0m以下）のコンクリート、型枠（はく離剤塗布及びケレン作業含む）、鉄筋、基礎材、均しコンクリート、手摺先行型枠組足場、目地材（ひび割れ誘発目地除く）、水抜きパイプ、吸出し防止材（点在）、養生（一般養生、特殊養生（練炭・ジェットヒータ））、仮囲い内ジェットヒータ養生）、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具（コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、<u>シユート</u>、<u>ホツパ</u>等）の損料、<u>_____</u>コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、化粧型枠は含まない。</p> <p>【省略】</p>	コンクリート規格	鉄筋量	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	表 3-3	表 3-11	無し	無し	一般養生	表 3-6	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	無し	無し	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	<p>字句の改正、削除</p>
コンクリート規格	鉄筋量	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																					
表 3-3	表 3-11	無し	無し	一般養生	表 3-6																																																					
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																						
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																						
			有り	一般養生																																																						
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																						
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																						
		有り	無し	無し		一般養生																																																				
						特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																				
						仮囲い内ジェットヒータ養生																																																				
				有り		一般養生																																																				
						特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																				
						仮囲い内ジェットヒータ養生																																																				
コンクリート規格	鉄筋量	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																					
表 3-3	表 3-11	無し	無し	一般養生	表 3-6																																																					
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																						
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																						
			有り	一般養生																																																						
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																						
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																						
		有り	無し	無し		一般養生																																																				
						特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																				
						仮囲い内ジェットヒータ養生																																																				
				有り		一般養生																																																				
						特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																																				
						仮囲い内ジェットヒータ養生																																																				

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>C～2110 プレキャスト擁壁工</p> <p>1 適用範囲</p> <p>本資料は、次に示すプレキャスト擁壁の施工に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲（以下のすべての条件に該当する場合）</p> <p>(1) 擁壁の形式：L型、逆T型、側溝付、天端勾配カット、ブロック分割型、嵩上品  ※天端勾配カットとは製品天端を斜めにカットしたタイプ  ※嵩上品とは嵩上コンクリート打継ぎ用に差筋を配したタイプ</p> <p>(2) 擁壁の高さ：0.5m以上5.0m以下  天端勾配カットは中央値、嵩上品はブロック高さ（差筋を含まない。）とする。</p> <p>(3) ブロック単体の長さ：2.0m/個</p> <p><u>ブロック単体の長さとは、一連のプレキャスト擁壁の標準的な1部材の有効長であり、有効長未満の部材及び短尺、片斜切等の特殊加工部材が含まれる場合も適用できる。</u></p> <p>【省略】</p>	<p>C～2110 プレキャスト擁壁工</p> <p>1 適用範囲</p> <p>本資料は、次に示すプレキャスト擁壁の施工に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲（以下のすべての条件に該当する場合）</p> <p>(1) 擁壁の形式：L型、逆T型、側溝付、天端勾配カット、ブロック分割型、嵩上品  ※天端勾配カットとは製品天端を斜めにカットしたタイプ  ※嵩上品とは嵩上コンクリート打継ぎ用に差筋を配したタイプ</p> <p>(2) 擁壁の高さ：0.5m以上5.0m以下  天端勾配カットは中央値、嵩上品はブロック高さ（差筋を含まない。）とする。</p> <p>(3) ブロック単体の長さ：2.0m/個</p> <p>【省略】</p>	<p>字句の追加</p>

新 旧 対 照 表

改 正				現 行				備 考	
<b>3 施工パッケージ</b> 3-1 プレキャスト擁壁設置 (1) 条件区分 <b>【省略】</b> (2) 代表機材材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。				<b>3 施工パッケージ</b> 3-1 プレキャスト擁壁設置 (1) 条件区分 <b>【省略】</b> (2) 代表機材材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。				表内、字句の追加・ 改正	
表 3-2 プレキャスト擁壁設置 代表機材材規格一覧				表 3-2 プレキャスト擁壁設置 代表機材材規格一覧					
プレキャスト 擁壁高さ	項 目	代表機材材規格	備 考	プレキャスト 擁壁高さ	項 目	代表機材材規格	備 考		
0.5m以上 2.0m以下	機 械	K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・ <b>超低騒音型</b> ・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積 0.8 m <sup>3</sup> (平積 0.6 m <sup>3</sup> ) 吊能力 2.9 t	賃料	機 械	K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・ <b>第3次基準値</b> ] クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.8 m <sup>3</sup> (平積 0.6 m <sup>3</sup> ) 吊能力 2.9 t		賃料
		K2	—			K2	—		
		K3	—			K3	—		
	労 務	R1	普通作業員		労 務	R1	普通作業員		
		R2	土木一般世話役			R2	土木一般世話役		
		R3	特殊作業員			R3	特殊作業員		
		R4	運転手(特殊)			R4	運転手(特殊)		
	材 料	Z1	コンクリート擁壁(中地震対応型)宅認(q=10kN/m <sup>2</sup> )1000型(L=2.0m)	プレキャスト擁壁高さ0.5m以上1.0m以下の場合	Z1	コンクリート擁壁(中地震対応型)宅認(q=10kN/m <sup>2</sup> )1000型(L=2.0m)	コンクリート擁壁(中地震対応型)宅認(q=10kN/m <sup>2</sup> )1600型(L=2.0m)	プレキャスト擁壁高さ1.0mを超え2.0m以下の場合	
			コンクリート擁壁(中地震対応型)宅認(q=10kN/m <sup>2</sup> )1600型(L=2.0m)	プレキャスト擁壁高さ1.0mを超え2.0m以下の場合			コンクリート擁壁(中地震対応型)宅認(q=10kN/m <sup>2</sup> )1600型(L=2.0m)	プレキャスト擁壁高さ1.0mを超え2.0m以下の場合	
		Z2	軽油 バトロール給油		Z2	軽油 バトロール給油			
		Z3	—		Z3	—			
		Z4	—		Z4	—			
	市場単価	S	—		市場単価	S	—		
	2.0mを超え 5.0m以下	機 械	K1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(2014年規制)] 25 t 吊	賃料	機 械	K1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 25 t 吊	賃料
K2			—		K2		—		
K3			—		K3		—		
労 務		R1	普通作業員		労 務	R1	普通作業員		
		R2	土木一般世話役			R2	土木一般世話役		
		R3	特殊作業員			R3	特殊作業員		
		R4	—			R4	—		
材 料		Z1	コンクリート擁壁(中地震対応型)宅認(q=10kN/m <sup>2</sup> )2500型(L=2.0m)	プレキャスト擁壁高さ2.0mを超え3.5m以下の場合	Z1	コンクリート擁壁(中地震対応型)宅認(q=10kN/m <sup>2</sup> )2500型(L=2.0m)	コンクリート擁壁(中地震対応型)ハイタッチウォール宅認(q=10kN/m <sup>2</sup> )4250型(L=2.0m)	プレキャスト擁壁高さ3.5mを超え5.0m以下の場合	
			コンクリート擁壁(中地震対応型)ハイタッチウォール宅認(q=10kN/m <sup>2</sup> )4250型(L=2.0m)	プレキャスト擁壁高さ3.5mを超え5.0m以下の場合			コンクリート擁壁(中地震対応型)ハイタッチウォール宅認(q=10kN/m <sup>2</sup> )4250型(L=2.0m)	プレキャスト擁壁高さ3.5mを超え5.0m以下の場合	
		Z2	—		Z2	—			
		Z3	—		Z3	—			
		Z4	—		Z4	—			
市場単価		S	—		市場単価	S	—		
<b>【省略】</b>				<b>【省略】</b>					

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>C～2210 補強盛土工</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>3 施工パッケージ</p> <p>3-1 ジオテキスタイル壁面材組立・設置</p> <p>(1) 条件区分 ジオテキスタイル壁面材組立・設置に積算条件区分はない。 積算単位は、㎡とする。 (注1) ジオテキスタイルを用いた補強土工及び <u>補強盛土工</u>の壁面材の組立・設置、吸出し防止材の設置等、その施工に要するすべての費用を含む。 ただし、ジオテキスタイル壁面材（材料費）及び吸出し防止材の材料費は含まない。</p> <p>【省略】</p> <p>3-3 ジオテキスタイル敷設</p> <p>(1) 条件区分 ジオテキスタイル敷設に積算条件区分はない。 積算単位は、㎡とする。 (注1) ジオテキスタイルを用いた補強土工及び <u>補強盛土工</u>のジオテキスタイルの敷設(ジオテキスタイル巻込み作業含む)の他、ジオテキスタイル敷設に使用する杭、ハンマ、スコップ、パール等、その施工に要するすべての費用を含む。ただし、ジオテキスタイル（材料費）は含まない。</p> <p>【省略】</p> <p>3-4 まき出し・敷均し、締固め</p> <p>(1) 条件区分 まき出し・敷均し、締固めに積算条件区分はない。 積算単位は、㎡とする。 (注1) ジオテキスタイルを用いた補強土工及び <u>補強盛土工</u>のまき出し、敷均し・締固め、水平排水材、層厚管理材の設置の他、振動ローラ（ハンドガイド式）、タンバ及びランマの運転経費等、その施工に要するすべての費用を含む。ただし、水平排水材、層厚管理材及び盛土材の材料費は含まない。 (注2) 水平排水材、層厚管理材は別途計上する。 (注3) ジオテキスタイル工1段当りのまき出し厚さ及び締固め回数に関係なく適用する。 (注4) <u>補強盛土工</u>範囲（図3-1 参考図参照）の盛土材については、必要に応じて別途計上する。</p> <p>【省略】</p>	<p>C～2210 補強盛土工</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>3 施工パッケージ</p> <p>3-1 ジオテキスタイル壁面材組立・設置</p> <p>(1) 条件区分 ジオテキスタイル壁面材組立・設置に積算条件区分はない。 積算単位は、㎡とする。 (注1) ジオテキスタイルを用いた補強土工及び <u>盛土補強</u>工の壁面材の組立・設置、吸出し防止材の設置等、その施工に要するすべての費用を含む。 ただし、ジオテキスタイル壁面材（材料費）及び吸出し防止材の材料費は含まない。</p> <p>【省略】</p> <p>3-3 ジオテキスタイル敷設</p> <p>(1) 条件区分 ジオテキスタイル敷設に積算条件区分はない。 積算単位は、㎡とする。 (注1) ジオテキスタイルを用いた補強土工及び <u>盛土補強</u>工のジオテキスタイルの敷設(ジオテキスタイル巻込み作業含む)の他、ジオテキスタイル敷設に使用する杭、ハンマ、スコップ、パール等、その施工に要するすべての費用を含む。ただし、ジオテキスタイル（材料費）は含まない。</p> <p>【省略】</p> <p>3-4 まき出し・敷均し、締固め</p> <p>(1) 条件区分 まき出し・敷均し、締固めに積算条件区分はない。 積算単位は、㎡とする。 (注1) ジオテキスタイルを用いた補強土工及び <u>盛土補強</u>工のまき出し、敷均し・締固め、水平排水材、層厚管理材の設置の他、振動ローラ（ハンドガイド式）、タンバ及びランマの運転経費等、その施工に要するすべての費用を含む。ただし、水平排水材、層厚管理材及び盛土材の材料費は含まない。 (注2) 水平排水材、層厚管理材は別途計上する。 (注3) ジオテキスタイル工1段当りのまき出し厚さ及び締固め回数に関係なく適用する。 (注4) <u>ジオテキスタイル</u>盛土工範囲（図3-1 参考図参照）の盛土材については、必要に応じて別途計上する。</p> <p>【省略】</p>	<p>字句の追加・削除</p> <p>字句の追加・削除</p> <p>字句の追加・削除</p> <p>字句の改正</p>

改 正	現 行	備 考
<p>C~2300 アンカー工（ロータリーパーカッション式）</p> <p>1 適用範囲 本資料は、ロータリーパーカッション式ボーリングマシンにより <u>二重管による</u> 削孔を行い、アンカー鋼材にて 引張力を地盤に伝達し、長期に供用するグラウンドアンカー工法に適用する。 【省略】</p> <p>2 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>【省略】</p>	<p>C~2300 アンカー工（ロータリーパーカッション式）</p> <p>1 適用範囲 本資料は、ロータリーパーカッション式ボーリングマシンにより _____ 削孔を行い、アンカー鋼材にて 引張力を地盤に伝達し、長期に供用するグラウンドアンカー工法に適用する。 【省略】</p> <p>2 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>【省略】</p>	<p>字句の追加</p> <p>フロー図内、字句の追加</p>

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																																						
<p><b>3 施工パッケージ</b> 3-1 削孔（アンカー） (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-1 削孔（アンカー） 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>足場工の有無</th> <th></th> <th>呼び径</th> <th>土 質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">有 り (スキッド型)</td> <td rowspan="4">—</td> <td>—</td> <td rowspan="4">—</td> </tr> <tr> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>90 mm</td> <td rowspan="4">表 3-2</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>115 mm</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>135 mm</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>146 mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">無 し (クローラ型)</td> <td rowspan="4">—</td> <td>—</td> <td rowspan="4">—</td> </tr> <tr> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>90 mm</td> <td rowspan="4">表 3-2</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>115 mm</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>135 mm</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>146 mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表はアンカー孔の削孔、ドリルパイプの引抜き、ボーリングマシン横移動作業、削孔材料損耗品費の他、削孔水用ポンプ、給水用ポンプ、排水用ポンプ、<u>空気圧縮機</u>、水槽損料、電力に関する経費等、その施工に要するすべての機械・労務・材料費（損料を含む）を含む。</p> <p>(注2) 呼び径とは、ドリルパイプ外径（mm）をいう。</p> <p>(注3) 転石等土質条件が上表区分に適用しないと判断される場合は、別途検討する。</p> <p>(注4) 泥水処理が必要な場合は、別途計上する。</p> <p style="text-align: center; color: red;">[削除]</p> <p style="text-align: center;">表 3-2 土質</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">土 質</td> <td>粘性土・砂質土</td> </tr> <tr> <td>礫質土</td> </tr> <tr> <td>玉石混り土</td> </tr> <tr> <td>軟岩</td> </tr> <tr> <td>硬岩</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 硬岩はコンクリートを含む</p>	足場工の有無		呼び径	土 質	有 り (スキッド型)	—	—	—	—	—	—	—	90 mm	表 3-2	—	115 mm	—	135 mm	—	146 mm	無 し (クローラ型)	—	—	—	—	—	—	—	90 mm	表 3-2	—	115 mm	—	135 mm	—	146 mm	積算条件	区 分	土 質	粘性土・砂質土	礫質土	玉石混り土	軟岩	硬岩	<p><b>3 施工パッケージ</b> 3-1 削孔（アンカー） (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-1 削孔（アンカー） 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>足場工の有無</th> <th>方 式</th> <th>呼び径</th> <th>土 質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">有 り (スキッド型)</td> <td rowspan="3">単管方式</td> <td>90 mm</td> <td rowspan="3">表 3-2</td> </tr> <tr> <td>115 mm</td> </tr> <tr> <td>135 mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">二重管方式</td> <td>90 mm</td> <td rowspan="4">表 3-3</td> </tr> <tr> <td>115 mm</td> </tr> <tr> <td>135 mm</td> </tr> <tr> <td>146 mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">無 し (クローラ型)</td> <td rowspan="3">単管方式</td> <td>90 mm</td> <td rowspan="3">表 3-2</td> </tr> <tr> <td>115 mm</td> </tr> <tr> <td>135 mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">二重管方式</td> <td>90 mm</td> <td rowspan="4">表 3-3</td> </tr> <tr> <td>115 mm</td> </tr> <tr> <td>135 mm</td> </tr> <tr> <td>146 mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表はアンカー孔の削孔、ドリルパイプの引抜き、ボーリングマシン横移動作業、削孔材料損耗品費の他、削孔水用ポンプ、給水用ポンプ、排水用ポンプ、<u>                    </u>水槽損料、電力に関する経費等、その施工に要するすべての機械・労務・材料費（損料を含む）を含む。</p> <p>(注2) 呼び径とは、ドリルパイプ外径（mm）をいう。</p> <p>(注3) 転石等土質条件が上表区分に適用しないと判断される場合は、別途検討する。</p> <p>(注4) 泥水処理が必要な場合は、別途計上する。</p> <p style="text-align: center; color: red;">表 3-2 土質 (単管方式)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">土 質</td> <td>粘性土・砂質土</td> </tr> <tr> <td>礫質土</td> </tr> <tr> <td>玉石混り土</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; color: red;">表 3-3 土質 (二重管方式)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">土 質</td> <td>粘性土・砂質土</td> </tr> <tr> <td>礫質土</td> </tr> <tr> <td>玉石混り土</td> </tr> <tr> <td>軟岩</td> </tr> <tr> <td>硬岩</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 硬岩はコンクリートを含む</p>	足場工の有無	方 式	呼び径	土 質	有 り (スキッド型)	単管方式	90 mm	表 3-2	115 mm	135 mm	二重管方式	90 mm	表 3-3	115 mm	135 mm	146 mm	無 し (クローラ型)	単管方式	90 mm	表 3-2	115 mm	135 mm	二重管方式	90 mm	表 3-3	115 mm	135 mm	146 mm	積算条件	区 分	土 質	粘性土・砂質土	礫質土	玉石混り土	積算条件	区 分	土 質	粘性土・砂質土	礫質土	玉石混り土	軟岩	硬岩	<p>表内、字句の削除、番号の改正</p> <p>字句の追加</p> <p>表の削除</p> <p>番号の改正、字句の削除</p>
足場工の有無		呼び径	土 質																																																																																					
有 り (スキッド型)	—	—	—																																																																																					
		—																																																																																						
		—																																																																																						
		—																																																																																						
	—	90 mm	表 3-2																																																																																					
—	115 mm																																																																																							
—	135 mm																																																																																							
—	146 mm																																																																																							
無 し (クローラ型)	—	—	—																																																																																					
		—																																																																																						
		—																																																																																						
		—																																																																																						
	—	90 mm	表 3-2																																																																																					
—	115 mm																																																																																							
—	135 mm																																																																																							
—	146 mm																																																																																							
積算条件	区 分																																																																																							
土 質	粘性土・砂質土																																																																																							
	礫質土																																																																																							
	玉石混り土																																																																																							
	軟岩																																																																																							
	硬岩																																																																																							
足場工の有無	方 式	呼び径	土 質																																																																																					
有 り (スキッド型)	単管方式	90 mm	表 3-2																																																																																					
		115 mm																																																																																						
		135 mm																																																																																						
	二重管方式	90 mm	表 3-3																																																																																					
		115 mm																																																																																						
135 mm																																																																																								
146 mm																																																																																								
無 し (クローラ型)	単管方式	90 mm	表 3-2																																																																																					
		115 mm																																																																																						
		135 mm																																																																																						
	二重管方式	90 mm	表 3-3																																																																																					
		115 mm																																																																																						
135 mm																																																																																								
146 mm																																																																																								
積算条件	区 分																																																																																							
土 質	粘性土・砂質土																																																																																							
	礫質土																																																																																							
	玉石混り土																																																																																							
積算条件	区 分																																																																																							
土 質	粘性土・砂質土																																																																																							
	礫質土																																																																																							
	玉石混り土																																																																																							
	軟岩																																																																																							
	硬岩																																																																																							





新 旧 対 照 表

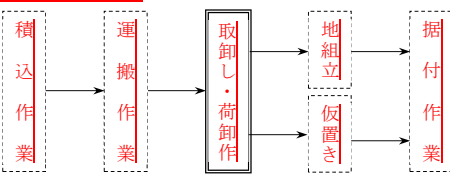
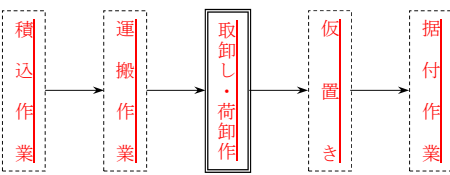
改 正	現 行	備 考																																																																																										
<p>3-2 アンカー鋼材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理（アンカー）</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表 3-4 アンカー鋼材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理（アンカー） 積算条件区分一覧（積算単位：本）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>防食方法</th> <th>アンカー鋼材</th> <th>削孔長</th> <th>設計荷重（f）</th> <th>頭部処理の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">二重防食</td> <td>PC鋼線より線</td> <td>表 3-5</td> <td rowspan="2">表 3-6</td> <td rowspan="8">表 3-7</td> </tr> <tr> <td>PC鋼線より線（工場組立）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>複合PC鋼線より線束</td> <td rowspan="2">表 3-5</td> <td>f &lt; 400kN</td> </tr> <tr> <td>PC鋼棒</td> <td>400 ≤ f &lt; 1,300kN</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">簡易防食</td> <td>PC鋼線より線</td> <td>表 3-5</td> <td>表 3-6</td> </tr> <tr> <td>PC鋼線より線（工場組立）</td> <td>—</td> <td>f &lt; 400kN</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">PC鋼棒</td> <td rowspan="2">表 3-5</td> <td>400 ≤ f &lt; 1,300kN</td> </tr> <tr> <td>f &lt; 400kN</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p> <p style="text-align: center;">表 3-5 削孔長</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>削孔長</td> <td>10m以内</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10mを超える</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表 3-6 設計荷重</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">設計荷重</td> <td>f &lt; 400kN</td> </tr> <tr> <td>400 ≤ f &lt; 1,300kN</td> </tr> <tr> <td>1,300 ≤ f &lt; 2,000kN</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表 3-7 頭部処理の有無</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">頭部処理の有無</td> <td>有 り</td> </tr> <tr> <td>無 し</td> </tr> </tbody> </table>	防食方法	アンカー鋼材	削孔長	設計荷重（f）	頭部処理の有無	二重防食	PC鋼線より線	表 3-5	表 3-6	表 3-7	PC鋼線より線（工場組立）	—	複合PC鋼線より線束	表 3-5	f < 400kN	PC鋼棒	400 ≤ f < 1,300kN	簡易防食	PC鋼線より線	表 3-5	表 3-6	PC鋼線より線（工場組立）	—	f < 400kN	PC鋼棒	表 3-5	400 ≤ f < 1,300kN	f < 400kN	積算条件	区 分	削孔長	10m以内		10mを超える	積算条件	区 分	設計荷重	f < 400kN	400 ≤ f < 1,300kN	1,300 ≤ f < 2,000kN	積算条件	区 分	頭部処理の有無	有 り	無 し	<p>3-2 アンカー鋼材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理（アンカー）</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表 3-5 アンカー鋼材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理（アンカー） 積算条件区分一覧（積算単位：本）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>防食方法</th> <th>アンカー鋼材</th> <th>削孔長</th> <th>設計荷重（f）</th> <th>頭部処理の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">二重防食</td> <td>PC鋼線より線</td> <td>表 3-6</td> <td rowspan="2">表 3-7</td> <td rowspan="8">表 3-8</td> </tr> <tr> <td>PC鋼線より線（工場組立）</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>複合PC鋼線より線束</td> <td rowspan="2">表 3-6</td> <td>f &lt; 400kN</td> </tr> <tr> <td>PC鋼棒</td> <td>400 ≤ f &lt; 1,300kN</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">簡易防食</td> <td>PC鋼線より線</td> <td>表 3-6</td> <td>表 3-7</td> </tr> <tr> <td>PC鋼線より線（工場組立）</td> <td>—</td> <td>f &lt; 400kN</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">PC鋼棒</td> <td rowspan="2">表 3-6</td> <td>400 ≤ f &lt; 1,300kN</td> </tr> <tr> <td>f &lt; 400kN</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p> <p style="text-align: center;">表 3-6 削孔長</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>削孔長</td> <td>10m以内</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10mを超える</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表 3-7 設計荷重</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">設計荷重</td> <td>f &lt; 400kN</td> </tr> <tr> <td>400 ≤ f &lt; 1,300kN</td> </tr> <tr> <td>1,300 ≤ f &lt; 2,000kN</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表 3-8 頭部処理の有無</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">頭部処理の有無</td> <td>有 り</td> </tr> <tr> <td>無 し</td> </tr> </tbody> </table>	防食方法	アンカー鋼材	削孔長	設計荷重（f）	頭部処理の有無	二重防食	PC鋼線より線	表 3-6	表 3-7	表 3-8	PC鋼線より線（工場組立）	—	複合PC鋼線より線束	表 3-6	f < 400kN	PC鋼棒	400 ≤ f < 1,300kN	簡易防食	PC鋼線より線	表 3-6	表 3-7	PC鋼線より線（工場組立）	—	f < 400kN	PC鋼棒	表 3-6	400 ≤ f < 1,300kN	f < 400kN	積算条件	区 分	削孔長	10m以内		10mを超える	積算条件	区 分	設計荷重	f < 400kN	400 ≤ f < 1,300kN	1,300 ≤ f < 2,000kN	積算条件	区 分	頭部処理の有無	有 り	無 し	<p>番号の改正</p> <p>表内、番号の改正</p> <p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p> <p>番号の改正</p>
防食方法	アンカー鋼材	削孔長	設計荷重（f）	頭部処理の有無																																																																																								
二重防食	PC鋼線より線	表 3-5	表 3-6	表 3-7																																																																																								
	PC鋼線より線（工場組立）	—																																																																																										
	複合PC鋼線より線束	表 3-5	f < 400kN																																																																																									
	PC鋼棒		400 ≤ f < 1,300kN																																																																																									
簡易防食	PC鋼線より線	表 3-5	表 3-6																																																																																									
	PC鋼線より線（工場組立）	—	f < 400kN																																																																																									
	PC鋼棒	表 3-5	400 ≤ f < 1,300kN																																																																																									
			f < 400kN																																																																																									
積算条件	区 分																																																																																											
削孔長	10m以内																																																																																											
	10mを超える																																																																																											
積算条件	区 分																																																																																											
設計荷重	f < 400kN																																																																																											
	400 ≤ f < 1,300kN																																																																																											
	1,300 ≤ f < 2,000kN																																																																																											
積算条件	区 分																																																																																											
頭部処理の有無	有 り																																																																																											
	無 し																																																																																											
防食方法	アンカー鋼材	削孔長	設計荷重（f）	頭部処理の有無																																																																																								
二重防食	PC鋼線より線	表 3-6	表 3-7	表 3-8																																																																																								
	PC鋼線より線（工場組立）	—																																																																																										
	複合PC鋼線より線束	表 3-6	f < 400kN																																																																																									
	PC鋼棒		400 ≤ f < 1,300kN																																																																																									
簡易防食	PC鋼線より線	表 3-6	表 3-7																																																																																									
	PC鋼線より線（工場組立）	—	f < 400kN																																																																																									
	PC鋼棒	表 3-6	400 ≤ f < 1,300kN																																																																																									
			f < 400kN																																																																																									
積算条件	区 分																																																																																											
削孔長	10m以内																																																																																											
	10mを超える																																																																																											
積算条件	区 分																																																																																											
設計荷重	f < 400kN																																																																																											
	400 ≤ f < 1,300kN																																																																																											
	1,300 ≤ f < 2,000kN																																																																																											
積算条件	区 分																																																																																											
頭部処理の有無	有 り																																																																																											
	無 し																																																																																											

新 旧 対 照 表

改 正			現 行			備 考																																																																																			
(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表 3-8 アンカー鋼材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理（アンカー） 代表機材規格一覧			(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表 3-9 アンカー鋼材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理（アンカー） 代表機材規格一覧			番号の改正																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項 目	代表機材規格		備 考	機 械		K1	—		K2	—		K3	—		労 務	R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	特殊作業員		R4	—		材 料	Z1	—		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項 目	代表機材規格		備 考	機 械	K1	—		K2	—		K3	—		労 務	R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	特殊作業員		R4	—		材 料	Z1	—		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—
項 目	代表機材規格		備 考																																																																																						
機 械	K1	—																																																																																							
	K2	—																																																																																							
	K3	—																																																																																							
労 務	R1	普通作業員																																																																																							
	R2	土木一般世話役																																																																																							
	R3	特殊作業員																																																																																							
	R4	—																																																																																							
材 料	Z1	—																																																																																							
	Z2	—																																																																																							
	Z3	—																																																																																							
	Z4	—																																																																																							
市場単価	S	—																																																																																							
項 目	代表機材規格		備 考																																																																																						
機 械	K1	—																																																																																							
	K2	—																																																																																							
	K3	—																																																																																							
労 務	R1	普通作業員																																																																																							
	R2	土木一般世話役																																																																																							
	R3	特殊作業員																																																																																							
	R4	—																																																																																							
材 料	Z1	—																																																																																							
	Z2	—																																																																																							
	Z3	—																																																																																							
	Z4	—																																																																																							
市場単価	S	—																																																																																							
【省略】 3-3 グラウト注入（アンカー） (1) 条件区分 【省略】 (2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表 3-9 グラウト注入（アンカー） 代表機材規格一覧			【省略】 3-3 グラウト注入（アンカー） (1) 条件区分 【省略】 (2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表 3-10 グラウト注入（アンカー） 代表機材規格一覧			番号の改正																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1</td> <td>普通ポルトランドセメント 25 kg袋入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項 目	代表機材規格		備 考	機 械		K1	—		K2	—		K3	—		労 務	R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	特殊作業員		R4	—		材 料	Z1	普通ポルトランドセメント 25 kg袋入		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1</td> <td>普通ポルトランドセメント 25 kg袋入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項 目	代表機材規格		備 考	機 械	K1	—		K2	—		K3	—		労 務	R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	特殊作業員		R4	—		材 料	Z1	普通ポルトランドセメント 25 kg袋入		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—
項 目	代表機材規格		備 考																																																																																						
機 械	K1	—																																																																																							
	K2	—																																																																																							
	K3	—																																																																																							
労 務	R1	普通作業員																																																																																							
	R2	土木一般世話役																																																																																							
	R3	特殊作業員																																																																																							
	R4	—																																																																																							
材 料	Z1	普通ポルトランドセメント 25 kg袋入																																																																																							
	Z2	—																																																																																							
	Z3	—																																																																																							
	Z4	—																																																																																							
市場単価	S	—																																																																																							
項 目	代表機材規格		備 考																																																																																						
機 械	K1	—																																																																																							
	K2	—																																																																																							
	K3	—																																																																																							
労 務	R1	普通作業員																																																																																							
	R2	土木一般世話役																																																																																							
	R3	特殊作業員																																																																																							
	R4	—																																																																																							
材 料	Z1	普通ポルトランドセメント 25 kg袋入																																																																																							
	Z2	—																																																																																							
	Z3	—																																																																																							
	Z4	—																																																																																							
市場単価	S	—																																																																																							
【省略】			【省略】																																																																																						

新 旧 対 照 表

改 正		現 行		備 考																																																																																								
<p>3-4 ボーリングマシン移設（アンカー）</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>【省略】</p> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表 3-10 ボーリングマシン移設（アンカー） 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項 目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第 3 次基準値)] 25 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>		項 目		代表機材規格	備 考	機 械	K1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第 3 次基準値)] 25 t 吊	賃料	K2	—		K3	—		労 務	R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	特殊作業員		R4	—		材 料	Z1	—		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>3-4 ボーリングマシン移設（アンカー）</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>【省略】</p> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表 3-11 ボーリングマシン移設（アンカー） 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項 目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値)] 25 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>		項 目		代表機材規格	備 考	機 械	K1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値)] 25 t 吊	賃料	K2	—		K3	—		労 務	R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	特殊作業員		R4	—		材 料	Z1	—		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>番号の改正</p> <p>表内、字句の改正</p>
項 目		代表機材規格	備 考																																																																																									
機 械	K1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第 3 次基準値)] 25 t 吊	賃料																																																																																									
	K2	—																																																																																										
	K3	—																																																																																										
労 務	R1	普通作業員																																																																																										
	R2	土木一般世話役																																																																																										
	R3	特殊作業員																																																																																										
	R4	—																																																																																										
材 料	Z1	—																																																																																										
	Z2	—																																																																																										
	Z3	—																																																																																										
	Z4	—																																																																																										
市場単価	S	—																																																																																										
項 目		代表機材規格	備 考																																																																																									
機 械	K1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値)] 25 t 吊	賃料																																																																																									
	K2	—																																																																																										
	K3	—																																																																																										
労 務	R1	普通作業員																																																																																										
	R2	土木一般世話役																																																																																										
	R3	特殊作業員																																																																																										
	R4	—																																																																																										
材 料	Z1	—																																																																																										
	Z2	—																																																																																										
	Z3	—																																																																																										
	Z4	—																																																																																										
市場単価	S	—																																																																																										
<p>3-5 足場（アンカー）</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>【省略】</p> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表 3-11 足場（アンカー） 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項 目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第 3 次基準値)] 25 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>とび工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>		項 目		代表機材規格	備 考	機 械	K1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第 3 次基準値)] 25 t 吊	賃料	K2	—		K3	—		労 務	R1	とび工		R2	土木一般世話役		R3	普通作業員		R4	—		材 料	Z1	—		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>3-5 足場（アンカー）</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>【省略】</p> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表 3-12 足場（アンカー） 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項 目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値)] 25 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>とび工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>		項 目		代表機材規格	備 考	機 械	K1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値)] 25 t 吊	賃料	K2	—		K3	—		労 務	R1	とび工		R2	土木一般世話役		R3	普通作業員		R4	—		材 料	Z1	—		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>番号の改正</p> <p>表内、字句の改正</p>
項 目		代表機材規格	備 考																																																																																									
機 械	K1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第 3 次基準値)] 25 t 吊	賃料																																																																																									
	K2	—																																																																																										
	K3	—																																																																																										
労 務	R1	とび工																																																																																										
	R2	土木一般世話役																																																																																										
	R3	普通作業員																																																																																										
	R4	—																																																																																										
材 料	Z1	—																																																																																										
	Z2	—																																																																																										
	Z3	—																																																																																										
	Z4	—																																																																																										
市場単価	S	—																																																																																										
項 目		代表機材規格	備 考																																																																																									
機 械	K1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値)] 25 t 吊	賃料																																																																																									
	K2	—																																																																																										
	K3	—																																																																																										
労 務	R1	とび工																																																																																										
	R2	土木一般世話役																																																																																										
	R3	普通作業員																																																																																										
	R4	—																																																																																										
材 料	Z1	—																																																																																										
	Z2	—																																																																																										
	Z3	—																																																																																										
	Z4	—																																																																																										
市場単価	S	—																																																																																										

改 正	現 行	備 考
<p><b>C～3090 現場取卸工</b></p> <p>1 適用範囲 本資料は、鋼桁等（鋼桁、門扉）の現場荷卸し作業で、トレーラから直接架設せずに、地組立や仮置きをするために現場取卸する場合及び鋼管杭の現場荷卸作業に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲 1-1-1 現場取卸（鋼桁） (1) クレーン規格が 200 t 吊以下の場合</p> <hr/> <p>1-1-2 現場取卸（鋼管杭） (1) クレーン規格が 65 t 吊以下の場合</p> <p>1-2 適用できない範囲</p> <hr/> <p>PC桁を現場取卸する場合</p> <p>2 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(1) 現場取卸（鋼桁等）</p>  <p>(2) 現場取卸（鋼管等）</p>  <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p>	<p><b>C～3090 現場取卸費</b></p> <p>1 適用範囲 本資料は、鋼桁等（鋼桁、門扉）、PC桁及び鋼管杭の現場取卸に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲 1-1-1 現場取卸（鋼桁） (1) クレーン規格が 200 t 吊以下の場合</p> <p>1-1-2 現場取卸（PC桁） (1) クレーン規格が 200 t 吊以下の場合</p> <p>1-1-3 現場取卸（鋼管杭） (1) クレーン規格が 20 t 吊の場合</p> <p>1-2 適用できない範囲 1-2-1 現場取卸（PC桁） (1) 直接架設する場合は原則として現場取卸費は計上しない。 ただし、PC桁を仮置きする必要がある場合は必要に応じて現場取卸（PC桁）を計上する。</p> <hr/> <p>[追加]</p> <hr/> <p>[追加]</p> <hr/>	<p>字句の改正</p> <p>字句の追加・改正</p> <p>番号・字句の削除 //</p> <p>番号の改正 字句の追加及び数値の改正</p> <p>字句の削除 // //</p> <p>字句の追加</p> <p>番号・字句の追加 字句及びフロー図の追加</p> <p>番号・字句の追加 字句及びフロー図の追加</p>

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																																																																						
<p><b>3 施工パッケージ</b></p> <p><b>3-1 現場取卸（鋼桁）</b></p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-1 現場取卸（鋼桁） 積算条件区分一覧 (積算単位：t)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2">クレーン規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]</td> <td>16 t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]</td> <td>20 t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]</td> <td>25 t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]</td> <td>35 t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</td> <td>45 t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]</td> <td>50 t 吊</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]</td> <td>100 t 吊</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]</td> <td>120 t 吊</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]</td> <td>160 t 吊</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]</td> <td>200 t 吊</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、鋼桁の現場取卸、玉掛ワイヤー、シャックル、介錯ロープ等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料を含む）を含む。</p> <p>(注2) 規格は最大部材質量等により決定する。</p> <p>(注3) 直接工事費に計上する。</p> <p><u>(注4) 現場条件により上表によりがたい場合は、別途考慮する。</u></p> <p>(2) 代表機劣材規格</p> <p>下表機劣材は、当該施工パッケージで使用されている機劣材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表 3-2 現場取卸（鋼桁） 代表機劣材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>代表機劣材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">機 械</td> <td rowspan="10">K1</td> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 16 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 20 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 35 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 45 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 50 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型] 100 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型] 120 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型] 160 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型] 200 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">労 務</td> <td rowspan="5">R1 R2 R3 R4</td> <td>とび工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	クレーン規格		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]	16 t 吊	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]	20 t 吊	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]	25 t 吊	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]	35 t 吊	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	45 t 吊	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]	50 t 吊	トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	100 t 吊	トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	120 t 吊	トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	160 t 吊	トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	200 t 吊	項 目	代表機劣材規格	備 考	機 械	K1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 16 t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 20 t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25 t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 35 t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 45 t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 50 t 吊	賃料	トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型] 100 t 吊	賃料	トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型] 120 t 吊	賃料	トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型] 160 t 吊	賃料	トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型] 200 t 吊	賃料	労 務	R1 R2 R3 R4	とび工		普通作業員		土木一般世話役		—		—		<p><b>2 施工パッケージ</b></p> <p><b>2-1 現場取卸（鋼桁）</b></p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 2-1 現場取卸（鋼桁） 積算条件区分一覧 (積算単位：t)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2">クレーン規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</td> <td>16 t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</td> <td>20 t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</td> <td>25 t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</td> <td>35 t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</td> <td>45 t 吊</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</td> <td>50 t 吊</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]</td> <td>100 t 吊</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]</td> <td>120 t 吊</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]</td> <td>160 t 吊</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]</td> <td>200 t 吊</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 上表は、鋼桁の現場取卸等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料を含む）を含む。</p> <p>(注2) 規格は最大部材質量等により決定する。</p> <p>(注3) 直接工事費に計上する。</p> <p>(2) 代表機劣材規格</p> <p>下表機劣材は、当該施工パッケージで使用されている機劣材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表 2-2 現場取卸（鋼桁） 代表機劣材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>代表機劣材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">機 械</td> <td rowspan="10">K1</td> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 16 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 20 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 35 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 45 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 50 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型] 100 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型] 120 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型] 160 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型] 200 t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">労 務</td> <td rowspan="5">R1 R2 R3 R4</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	クレーン規格		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	16 t 吊	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	20 t 吊	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	25 t 吊	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	35 t 吊	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	45 t 吊	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	50 t 吊	トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	100 t 吊	トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	120 t 吊	トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	160 t 吊	トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	200 t 吊	項 目	代表機劣材規格	備 考	機 械	K1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 16 t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 20 t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25 t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 35 t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 45 t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 50 t 吊	賃料	トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型] 100 t 吊	賃料	トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型] 120 t 吊	賃料	トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型] 160 t 吊	賃料	トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型] 200 t 吊	賃料	労 務	R1 R2 R3 R4	普通作業員		とび工		—		—		—		<p>番号の改正</p> <p>〃</p> <p>番号の改正</p> <p>表内、字句の改正</p> <p>字句の追加</p> <p>字句の追加</p> <p>番号の改正</p> <p>表内、字句の改正</p>
クレーン規格																																																																																																																								
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]	16 t 吊																																																																																																																							
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]	20 t 吊																																																																																																																							
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]	25 t 吊																																																																																																																							
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]	35 t 吊																																																																																																																							
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	45 t 吊																																																																																																																							
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]	50 t 吊																																																																																																																							
トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	100 t 吊																																																																																																																							
トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	120 t 吊																																																																																																																							
トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	160 t 吊																																																																																																																							
トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	200 t 吊																																																																																																																							
項 目	代表機劣材規格	備 考																																																																																																																						
機 械	K1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 16 t 吊	賃料																																																																																																																					
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 20 t 吊	賃料																																																																																																																					
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25 t 吊	賃料																																																																																																																					
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 35 t 吊	賃料																																																																																																																					
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 45 t 吊	賃料																																																																																																																					
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 50 t 吊	賃料																																																																																																																					
		トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型] 100 t 吊	賃料																																																																																																																					
		トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型] 120 t 吊	賃料																																																																																																																					
		トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型] 160 t 吊	賃料																																																																																																																					
		トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型] 200 t 吊	賃料																																																																																																																					
労 務	R1 R2 R3 R4	とび工																																																																																																																						
		普通作業員																																																																																																																						
		土木一般世話役																																																																																																																						
		—																																																																																																																						
		—																																																																																																																						
クレーン規格																																																																																																																								
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	16 t 吊																																																																																																																							
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	20 t 吊																																																																																																																							
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	25 t 吊																																																																																																																							
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	35 t 吊																																																																																																																							
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	45 t 吊																																																																																																																							
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]	50 t 吊																																																																																																																							
トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	100 t 吊																																																																																																																							
トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	120 t 吊																																																																																																																							
トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	160 t 吊																																																																																																																							
トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]	200 t 吊																																																																																																																							
項 目	代表機劣材規格	備 考																																																																																																																						
機 械	K1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 16 t 吊	賃料																																																																																																																					
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 20 t 吊	賃料																																																																																																																					
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25 t 吊	賃料																																																																																																																					
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 35 t 吊	賃料																																																																																																																					
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 45 t 吊	賃料																																																																																																																					
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 50 t 吊	賃料																																																																																																																					
		トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型] 100 t 吊	賃料																																																																																																																					
		トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型] 120 t 吊	賃料																																																																																																																					
		トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型] 160 t 吊	賃料																																																																																																																					
		トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型] 200 t 吊	賃料																																																																																																																					
労 務	R1 R2 R3 R4	普通作業員																																																																																																																						
		とび工																																																																																																																						
		—																																																																																																																						
		—																																																																																																																						
		—																																																																																																																						

新 旧 対 照 表

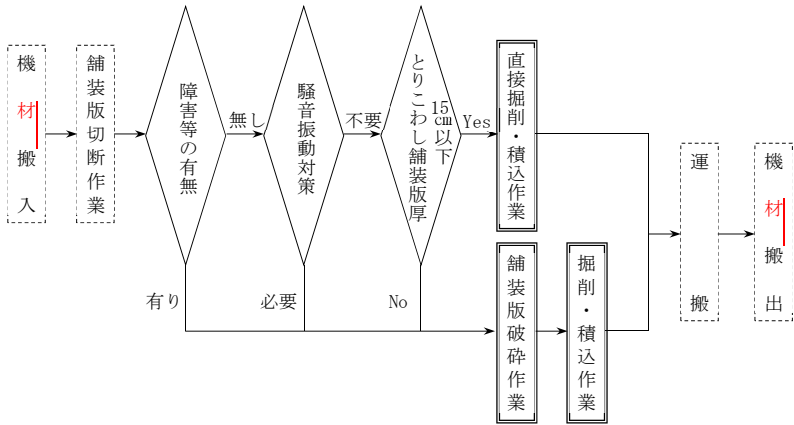
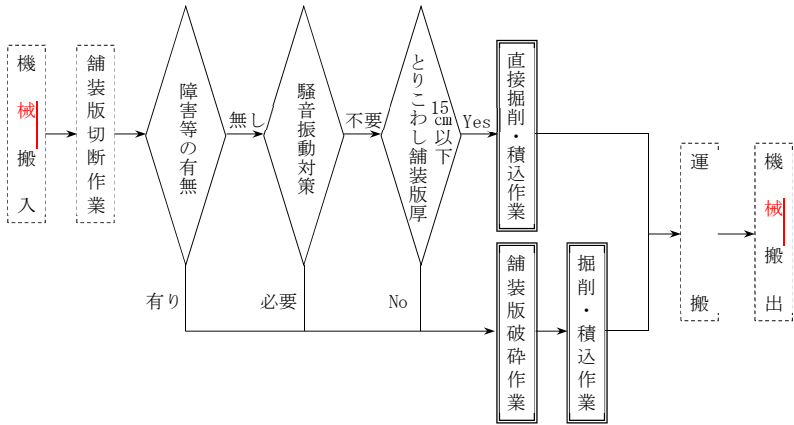
改 正	現 行	備 考																						
<p style="text-align: center;"><u>[削除]</u></p>	<p><u>2-2 現場取卸(PC桁)</u></p> <p><u>(1) 条件区分</u></p> <p><u>条件区分は、次表を標準とする。</u></p> <p style="text-align: center;"><u>表 2-3 現場取卸 (PC桁) 積算条件区分一覧 (積算単位:本)</u></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;"><u>クレーン規格</u></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</u></td> <td><u>16 t 吊</u></td> </tr> <tr> <td><u>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</u></td> <td><u>20 t 吊</u></td> </tr> <tr> <td><u>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</u></td> <td><u>25 t 吊</u></td> </tr> <tr> <td><u>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</u></td> <td><u>35 t 吊</u></td> </tr> <tr> <td><u>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</u></td> <td><u>45 t 吊</u></td> </tr> <tr> <td><u>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</u></td> <td><u>50 t 吊</u></td> </tr> <tr> <td><u>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]</u></td> <td><u>100 t 吊</u></td> </tr> <tr> <td><u>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]</u></td> <td><u>120 t 吊</u></td> </tr> <tr> <td><u>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]</u></td> <td><u>160 t 吊</u></td> </tr> <tr> <td><u>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]</u></td> <td><u>200 t 吊</u></td> </tr> </tbody> </table> <p><u>(注1) 上表は、PC桁の現場取卸等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。</u></p> <p><u>(注2) 規格は最大部材質量等により決定する。</u></p> <p><u>(注3) 直接工事費に計上する。</u></p>	<u>クレーン規格</u>		<u>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</u>	<u>16 t 吊</u>	<u>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</u>	<u>20 t 吊</u>	<u>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</u>	<u>25 t 吊</u>	<u>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</u>	<u>35 t 吊</u>	<u>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</u>	<u>45 t 吊</u>	<u>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</u>	<u>50 t 吊</u>	<u>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]</u>	<u>100 t 吊</u>	<u>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]</u>	<u>120 t 吊</u>	<u>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]</u>	<u>160 t 吊</u>	<u>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]</u>	<u>200 t 吊</u>	<p>番号・字句・表の削除</p>
<u>クレーン規格</u>																								
<u>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</u>	<u>16 t 吊</u>																							
<u>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</u>	<u>20 t 吊</u>																							
<u>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</u>	<u>25 t 吊</u>																							
<u>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</u>	<u>35 t 吊</u>																							
<u>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</u>	<u>45 t 吊</u>																							
<u>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]</u>	<u>50 t 吊</u>																							
<u>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]</u>	<u>100 t 吊</u>																							
<u>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]</u>	<u>120 t 吊</u>																							
<u>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]</u>	<u>160 t 吊</u>																							
<u>トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型]</u>	<u>200 t 吊</u>																							

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																			
<p><u>[削除]</u></p>	<p><u>(2) 代表機材規格</u></p> <p><u>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</u></p> <p style="text-align: center;">表 2-4 現場取卸（PC桁） 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項 目</th> <th style="width: 70%;">代表機材規格</th> <th style="width: 20%;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center; vertical-align: middle;">機 械</td> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型（第1次基準値）〕 16 t 吊</td> <td style="text-align: center;">賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型（第1次基準値）〕 20 t 吊</td> <td style="text-align: center;">賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型（第1次基準値）〕 25 t 吊</td> <td style="text-align: center;">賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型（第1次基準値）〕 35 t 吊</td> <td style="text-align: center;">賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型（第1次基準値）〕 45 t 吊</td> <td style="text-align: center;">賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型（第1次基準値）〕 50 t 吊</td> <td style="text-align: center;">賃料</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 100 t 吊</td> <td style="text-align: center;">賃料</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 120 t 吊</td> <td style="text-align: center;">賃料</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 160 t 吊</td> <td style="text-align: center;">賃料</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 200 t 吊</td> <td style="text-align: center;">賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">労 務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 とび工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">材 料</td> <td>Z1</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	代表機材規格	備 考	機 械	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型（第1次基準値）〕 16 t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型（第1次基準値）〕 20 t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型（第1次基準値）〕 25 t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型（第1次基準値）〕 35 t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型（第1次基準値）〕 45 t 吊	賃料	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型（第1次基準値）〕 50 t 吊	賃料	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 100 t 吊	賃料	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 120 t 吊	賃料	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 160 t 吊	賃料	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 200 t 吊	賃料	K2	—		K3	—		労 務	R1 普通作業員		R2 とび工		R3	—	R4	—	材 料	Z1	—	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<p>番号・字句・表の削除</p>
項 目	代表機材規格	備 考																																																			
機 械	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型（第1次基準値）〕 16 t 吊	賃料																																																			
	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型（第1次基準値）〕 20 t 吊	賃料																																																			
	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型（第1次基準値）〕 25 t 吊	賃料																																																			
	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型（第1次基準値）〕 35 t 吊	賃料																																																			
	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型（第1次基準値）〕 45 t 吊	賃料																																																			
	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型（第1次基準値）〕 50 t 吊	賃料																																																			
	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 100 t 吊	賃料																																																			
	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 120 t 吊	賃料																																																			
	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 160 t 吊	賃料																																																			
	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕 200 t 吊	賃料																																																			
K2	—																																																				
K3	—																																																				
労 務	R1 普通作業員																																																				
	R2 とび工																																																				
	R3	—																																																			
	R4	—																																																			
材 料	Z1	—																																																			
	Z2	—																																																			
	Z3	—																																																			
	Z4	—																																																			
市場単価	S	—																																																			





改 正	現 行	備 考
<p>C～4000 舗装版破碎工</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>【省略】</p>	<p>C～4000 舗装版破碎工</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>【省略】</p>	<p>フロー図内、字句の改正</p>

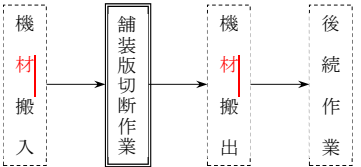
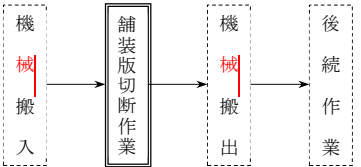
改 正						現 行						備 考				
<b>3 施工パッケージ</b> 3-1 舗装版破碎 (1) 条件区分 舗装版破碎における条件区分は、次表を標準とする。						<b>3 施工パッケージ</b> 3-1 舗装版破碎 (1) 条件区分 舗装版破碎における条件区分は、次表を標準とする。						字句の追加				
表 3-1 舗装版破碎 積算条件区分一覧 (積算単位：㎡)						表 3-1 舗装版破碎 積算条件区分一覧 (積算単位：㎡)										
舗装版種別	障害等の有無	騒音振動対策	舗装版厚	コンクリート+アスファルト(カバー)舗装によるアスファルト舗装版厚	積込作業の有無	舗装版種別	障害等の有無	騒音振動対策	舗装版厚	コンクリート+アスファルト(カバー)舗装によるアスファルト舗装版厚	積込作業の有無					
アスファルト舗装版	無し	不要	15 cm以下	—	有り	アスファルト舗装版	無し	不要	15 cm以下	—	有り					
			15 cmを超え 40 cm以下	—	有り				15 cmを超え 40 cm以下	—	有り					
		必要	15 cm以下	—	有り			必要	15 cm以下	—	有り					
			15 cmを超え 35 cm以下	—	有り				15 cmを超え 35 cm以下	—	有り					
	有り	—	4 cm以下	—	有り		有り	—	4 cm以下	—	有り		—	4 cm以下	—	有り
			4 cmを超え 10 cm以下	—	有り				4 cmを超え 10 cm以下	—	無し			4 cmを超え 10 cm以下	—	有り
			10 cmを超え 15 cm以下	—	無し				10 cmを超え 15 cm以下	—	無し			10 cmを超え 15 cm以下	—	無し
			15 cmを超え 30 cm以下	—	有り				15 cmを超え 30 cm以下	—	無し	15 cmを超え 30 cm以下		—	有り	
コンクリート舗装版	無し	不要	15 cm以下	—	有り	コンクリート舗装版	無し	不要	15 cm以下	—	有り					
			15 cmを超え 35 cm以下	—	有り				15 cmを超え 35 cm以下	—	有り					
		必要	15 cm以下	—	有り			必要	15 cm以下	—	有り					
			15 cmを超え 35 cm以下	—	有り				15 cmを超え 35 cm以下	—	有り					
コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版	無し	不要	15 cm以上 35 cm以下	15 cm以下	有り	コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版	無し	不要	15 cm以上 35 cm以下	15 cm以下	有り					
			15 cmを超え 22.5 cm 以下	有り	15 cmを超え 22.5 cm 以下				有り							
(注1) 上表は、舗装版とりこわし・掘削・積込みの他、大型ブレーカのチゼル損耗費(大型ブレーカによる破碎の場合)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。						(注1) 上表は、舗装版とりこわし・掘削・積込みの他、大型ブレーカのチゼル損耗費(大型ブレーカによる破碎の場合)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。										
(注2) 障害等の有無の「有り」とは、現場状況、作業量、障害物等により表3-2で想定する機械での施工が困難な場合をいう。						(注2) 障害等の有無の「有り」とは、現場状況、作業量、障害物等により表3-2で想定する機械での施工が困難な場合をいう。										
(注3) 破碎対象となるアスファルト舗装版の幅が1m以内の場合、障害等「有り」とする。						(注3) 破碎対象となるアスファルト舗装版の幅が1m以内の場合、障害等「有り」とする。										
(注4) 舗装版切断は、含まない。						(注4) 舗装版切断は、含まない。										
(注5) 殻運搬、殻処分は、含まない。						(注5) 殻運搬、殻処分は、含まない。										
(注6) 「コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版」の舗装版厚はコンクリート舗装部分の厚さをいう。						(注6) 「コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版」の舗装版厚はコンクリート舗装部分の厚さをいう。										
(注7) 「建設工事に伴う騒音、振動対策技術指針」の第2章適用範囲外の地域となった場合においても、施工上騒音振動対策が必要となった場合は、舗装版厚さに関わらず、下記を選択することができる。						(注7) 「建設工事に伴う騒音、振動対策技術指針」の第2章適用範囲外の地域となった場合においても、施工上騒音振動対策が必要となった場合は、舗装版厚さに関わらず、下記を選択することができる。										
・騒音振動対策「必要」(コンクリート圧砕装置による破碎)						・騒音振動対策「必要」(コンクリート圧砕装置による破碎)										
・騒音振動対策「不要」、且つ舗装版厚「15cm以下」(バックホウによる直接掘削・積込)						・騒音振動対策「不要」、且つ舗装版厚「15cm以下」(バックホウによる直接掘削・積込)										

新 旧 対 照 表

改 正						現 行						備 考		
(2) 代表機劣材規格 下表機劣材は、当該施工パッケージで使用されている機劣材の代表的な規格である。 表 3-2 舗装版破碎 代表機劣材規格一覧						(2) 代表機劣材規格 下表機劣材は、当該施工パッケージで使用されている機劣材の代表的な規格である。 表 3-2 舗装版破碎 代表機劣材規格一覧						表内、字句の追加・ 改正		
無し	不要	15 cm以下	機 械	K1	バックホウ（クローラ型） [後方超小回旋型・超低騒音型・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積 0.45 m <sup>3</sup> （平積 0.35 m <sup>3</sup> ）	賃料	無し	不要	15 cm以下	機 械	K1		バックホウ（クローラ型） [標準型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.45 m <sup>3</sup> （平積 0.35 m <sup>3</sup> ）	賃料
				K2	—	—								
				K3	—	—								
			労 務	R1	土木一般世話役					労 務	R1		土木一般世話役	
				R2	運転手（特殊）						R2		運転手（特殊）	
				R3	普通作業員						R3		普通作業員	
				R4	—						R4		—	
			材 料	Z1	軽油 バトロール給油					材 料	Z1		軽油 バトロール給油	
				Z2	—						Z2		—	
				Z3	—						Z3	—		
Z4	—			Z4	—									
市場単価	S	—		市場単価	S	—								
無し	不要	15 cm超	機 械	K1	バックホウ（クローラ型） [後方超小回旋型・超低騒音型・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積 0.45 m <sup>3</sup> （平積 0.35 m <sup>3</sup> ）	賃料	無し	不要	15 cm超	機 械	K1	バックホウ（クローラ型） [標準型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.45 m <sup>3</sup> （平積 0.35 m <sup>3</sup> ）	賃料	
				K2	大型ブレーカ（油圧ブレーカ） バケット容量0.4 m <sup>3</sup> アタッチメントのみ	賃料					K2	大型ブレーカ [油圧式] (ベースマシン含まず) 600～800 kg級	—	
				K3	—						K3	—		
			労 務	R1	運転手（特殊）					労 務	R1	運転手（特殊）		
				R2	普通作業員						R2	普通作業員		
				R3	土木一般世話役						R3	土木一般世話役		
				R4	—						R4	—		
			材 料	Z1	軽油 バトロール給油					材 料	Z1	軽油 バトロール給油		
				Z2	—						Z2	—		
				Z3	—						Z3	—		
Z4	—			Z4	—									
市場単価	S	—		市場単価	S	—								

新 旧 対 照 表

改 正						現 行						備 考									
障害等の有無	騒音振動対策	舗装版厚	項目	代表機劣材規格		備考	障害等の有無	騒音振動対策	舗装版厚	項目	代表機劣材規格		備考								
無し	必要	—	機 械	K1	バックホウ（クローラ型） [後方超小回旋型・超低騒音型・排出ガス対策型(2011年規制)] 山積 0.45 m <sup>3</sup> （平積 0.35 m <sup>3</sup> ）	賃料	無し	必要	—	機 械	K1	バックホウ（クローラ型） [標準型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.45 m <sup>3</sup> （平積 0.35 m <sup>3</sup> ）	賃料	表内、字句の追加・改正							
				K2	バックホウ用アタッチメント [コンクリート圧砕装置（大割機）] 開口幅 735～850 mm 破砕力 550～980kN						K2	バックホウ用アタッチメント [コンクリート圧砕装置（大割機）] 開口幅 735～850 mm 破砕力 550～980kN									
				K3	—						K3	—									
				R1	運転手（特殊）						R1	運転手（特殊）									
			労 務	R2	普通作業員	R2				普通作業員											
				R3	土木一般世話役	R3				土木一般世話役											
				R4	—	R4				—											
				Z1	軽油 パトロール給油	Z1				軽油 パトロール給油											
			材 料	Z2	—	Z2				—											
				Z3	—	Z3				—											
				Z4	—	Z4				—											
				市場単価	S	—				市場単価	S	—									
			有り	—	—	機 械				K1	空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型(超低騒音型)・排出ガス対策型(第3次基準値)] 3.5～3.7 m <sup>3</sup> /min	賃料	有り		—	—	機 械	K1	空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型]・排出ガス対策型(第1次基準値)] 3.5～3.7 m <sup>3</sup> /min	賃料	
										K2	さく岩機 [コンクリートブレーカ] 20 kg級							K2	さく岩機 [コンクリートブレーカ] 20 kg級		
K3	—	K3					—														
R1	特殊作業員	R1					特殊作業員														
労 務	R2	普通作業員				R2	普通作業員														
	R3	—				R3	—														
	R4	—				R4	—														
	Z1	軽油 パトロール給油				Z1	軽油 パトロール給油														
材 料	Z2	—				Z2	—														
	Z3	—				Z3	—														
	Z4	—				Z4	—														
	市場単価	S				—	市場単価	S	—												

改 正	現 行	備 考
<p>C～4020 舗装版切断工</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 施工概要 施工フローは、下記の標準とする。</p>  <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである 【省略】</p>	<p>C～4020 舗装版切断工</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 施工概要 施工フローは、下記の標準とする。</p>  <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである 【省略】</p>	<p>フロー図内、字句の 改正</p>

新 旧 対 照 表

改 正		現 行		備 考	
<b>3 施工パッケージ</b> 3-1 舗装版切断 (1) 条件区分 <b>【省略】</b> (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。		<b>3 施工パッケージ</b> 3-1 舗装版切断 (1) 条件区分 <b>【省略】</b> (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。		表内、字句の追加、 数値の改正	
表 3-2 舗装版切断 代表機労材規格一覧		表 3-2 舗装版切断 代表機労材規格一覧			
舗装版種別	項目	代表機労材規格	備考		
アスファルト 舗装版 コンクリート 舗装版	機 械	K1 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音型 切削深 20 cm級 ブレード径φ56 cm コンクリートカッタ [バキューム式(超低騒音型)・ 湿式] 切削深 30 cm級 ブレード径φ75 cm コンクリートカッタ [バキューム式(超低騒音型)・ 湿式] 切削深 40 cm級 ブレード径φ96 cm	舗装版厚が 15 cm以下 の場合 舗装版厚が 15 cmを超 え 30 cm以下の場合 舗装版厚が 30 cmを超 え 40 cm以下の場合		
		K2	—		
		K3	—		
	労 務	R1	特殊作業員		
		R2	土木一般世話役		
		R3	普通作業員		
		R4	—		
	アスファルト 舗装版 コンクリート 舗装版	Z1	コンクリートカッタ (ブレード) 径 18 インチ コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ コンクリートカッタ (ブレード) 径 38 インチ	舗装版厚が 15 cm以下 の場合 舗装版厚が 15 cmを超 え 30 cm以下の場合 舗装版厚が 30 cmを超 え 40 cm以下の場合	
			Z2	ガソリン レギュラー スタンド コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ	舗装版厚が 15 cm以下 の場合 舗装版厚が 15 cmを超 え 30 cm以下の場合 舗装版厚が 30 cmを超 え 40 cm以下の場合
				Z3	コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ
		Z4			ガソリン レギュラー スタンド コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ
		市場単価	S	—	
舗装版種別		項目	代表機労材規格	備考	
アスファルト 舗装版 コンクリート 舗装版		機 械	K1 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深 20 cm級 ブレード径φ56 cm コンクリートカッタ [バキューム式(超低騒音型)・ 湿式] 切削深 30 cm級 ブレード径φ75 cm コンクリートカッタ [バキューム式(超低騒音型)・ 湿式] 切削深 40 cm級 ブレード径φ96 cm	舗装版厚が 15 cm以下 の場合 舗装版厚が 15 cmを超 え 30 cm以下の場合 舗装版厚が 30 cmを超 え 40 cm以下の場合	
			K2	—	
			K3	—	
		労 務	R1	特殊作業員	
			R2	土木一般世話役	
	R3		普通作業員		
	R4		—		
	アスファルト 舗装版 コンクリート 舗装版	Z1	コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ コンクリートカッタ (ブレード) 径 38 インチ	舗装版厚が 15 cm以下 の場合 舗装版厚が 15 cmを超 え 30 cm以下の場合 舗装版厚が 30 cmを超 え 40 cm以下の場合	
			Z2	ガソリン レギュラー スタンド コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ	舗装版厚が 15 cm以下 の場合 舗装版厚が 15 cmを超 え 30 cm以下の場合 舗装版厚が 30 cmを超 え 40 cm以下の場合
				Z3	コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ
		Z4			ガソリン レギュラー スタンド コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ
		市場単価	S	—	

新 旧 対 照 表

改 正				現 行				備 考	
舗装版種別	項 目	代表機材規格	備 考	舗装版種別	項 目	代表機材規格	備 考		
コンクリート + アスファルト (カバー) 舗装版	機 械	K1	コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] <u>超低騒音型</u> 切削深 20 cm級 ブレード径φ56 cm	全体厚が 15 cm以下の 場合	機 械	K1	コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] <u>超低騒音型</u> 切削深 20 cm級 ブレード径φ56 cm	全体厚が 15 cm以下の 場合	表内、字句の追加、 数値の改正
			コンクリートカッタ [バキューム式(超低騒音型)・ 湿式] 切削深 30 cm級 ブレード径φ75 cm	全体厚が 15 cmを超え 30 cm以下の場合			コンクリートカッタ [バキューム式(超低騒音型)・ 湿式] 切削深 30 cm級 ブレード径φ75 cm	全体厚が 15 cmを超え 30 cm以下の場合	
			コンクリートカッタ [バキューム式(超低騒音型)・ 湿式] 切削深 40 cm級 ブレード径φ96 cm	全体厚が 30 cmを超え 40 cm以下の場合			コンクリートカッタ [バキューム式(超低騒音型)・ 湿式] 切削深 40 cm級 ブレード径φ96 cm	全体厚が 30 cmを超え 40 cm以下の場合	
		K2	—	K2		—			
		K3	—		K3	—			
	労 務	R1	特殊作業員		R1	特殊作業員			
		R2	土木一般世話役		R2	土木一般世話役			
		R3	普通作業員		R3	普通作業員			
		R4	—		R4	—			
	材 料	Z1	コンクリートカッタ (ブレード) 径 <u>18</u> インチ	全体厚が 15 cm以下の 場合	Z1	Z1	コンクリートカッタ (ブレード) 径 <u>22</u> インチ	全体厚が 15 cm以下の 場合	
			コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ	全体厚が 15 cmを超え 30 cm以下の場合			コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ	全体厚が 15 cmを超え 30 cm以下の場合	
			コンクリートカッタ (ブレード) 径 38 インチ	全体厚が 30 cmを超え 40 cm以下の場合			コンクリートカッタ (ブレード) 径 38 インチ	全体厚が 30 cmを超え 40 cm以下の場合	
		Z2	ガソリン レギュラー スタンド	全体厚が 15 cm以下の 場合	Z2	Z2	ガソリン レギュラー スタンド	全体厚が 15 cm以下の 場合	
			コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	全体厚が 15 cmを超え 30 cm以下の場合			コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	全体厚が 15 cmを超え 30 cm以下の場合	
			コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ	全体厚が 30 cmを超え 40 cm以下の場合			コンクリートカッタ (ブレード) 径 30 インチ	全体厚が 30 cmを超え 40 cm以下の場合	
		Z3	コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ	全体厚が 15 cmを超え 30 cm以下の場合	Z3	Z3	コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ	全体厚が 15 cmを超え 30 cm以下の場合	
			コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	全体厚が 30 cmを超え 40 cm以下の場合			コンクリートカッタ (ブレード) 径 22 インチ	全体厚が 30 cmを超え 40 cm以下の場合	
		Z4	ガソリン レギュラー スタンド	全体厚が 15 cmを超え 30 cm以下の場合	Z4	Z4	ガソリン レギュラー スタンド	全体厚が 15 cmを超え 30 cm以下の場合	
			コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ	全体厚が 30 cmを超え 40 cm以下の場合			コンクリートカッタ (ブレード) 径 14 インチ	全体厚が 30 cmを超え 40 cm以下の場合	
		市場単価	S	—		市場単価	S	—	
【省略】				【省略】					



改 正	現 行	備 考																				
<p>C～4200 発泡スチロールを用いた超軽量盛土工</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>3 施工パッケージ</p> <p>3-1 発泡スチロール設置 【省略】</p> <p>3-14 裏込砕石（軽量盛土）</p> <p>(1) 条件区分 【省略】</p> <p style="text-align: center;">表 3-12 砕石の種類</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">積算条件</th> <th style="width: 50%;">区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7" style="text-align: center; vertical-align: middle;">砕 石 の 種 類</td> <td>切込砂利 80 mm級</td> </tr> <tr> <td>切込砕石 80 mm級</td> </tr> <tr> <td style="color: red;">再生骨材 80 mm級</td> </tr> <tr> <td>切込砂利 40 mm級</td> </tr> <tr> <td>切込砕石 40 mm級</td> </tr> <tr> <td style="color: red;">再生骨材 40 mm級</td> </tr> <tr> <td>砕石(各種)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	積算条件	区 分	砕 石 の 種 類	切込砂利 80 mm級	切込砕石 80 mm級	再生骨材 80 mm級	切込砂利 40 mm級	切込砕石 40 mm級	再生骨材 40 mm級	砕石(各種)	<p>C～4200 発泡スチロールを用いた超軽量盛土工</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>3 施工パッケージ</p> <p>3-1 発泡スチロール設置 【省略】</p> <p>3-14 裏込砕石（軽量盛土）</p> <p>(1) 条件区分 【省略】</p> <p style="text-align: center;">表 3-12 砕石の種類</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">積算条件</th> <th style="width: 50%;">区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7" style="text-align: center; vertical-align: middle;">砕 石 の 種 類</td> <td>切込砂利 80 mm級</td> </tr> <tr> <td>切込砕石 80 mm級</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid red;">切込砂利 40 mm級</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid red;">切込砕石 40 mm級</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid red;">砕石(各種)</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid red;">砕石(各種)</td> </tr> <tr> <td>砕石(各種)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	積算条件	区 分	砕 石 の 種 類	切込砂利 80 mm級	切込砕石 80 mm級	切込砂利 40 mm級	切込砕石 40 mm級	砕石(各種)	砕石(各種)	砕石(各種)	<p>表内、字句の追加</p>
積算条件	区 分																					
砕 石 の 種 類	切込砂利 80 mm級																					
	切込砕石 80 mm級																					
	再生骨材 80 mm級																					
	切込砂利 40 mm級																					
	切込砕石 40 mm級																					
	再生骨材 40 mm級																					
	砕石(各種)																					
積算条件	区 分																					
砕 石 の 種 類	切込砂利 80 mm級																					
	切込砕石 80 mm級																					
	切込砂利 40 mm級																					
	切込砕石 40 mm級																					
	砕石(各種)																					
	砕石(各種)																					
	砕石(各種)																					

# D コンクリート工

土地改良事業等適用施工パッケージ型積算方式の試行  
(平成 29 年 9 月 25 日付け事調第 598 号農政部長通知) の一部改正

## 1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 6 年 12 月 19 日以降	令和 7 年 2 月 20 日以降



改 正	現 行	備 考																																																																																								
<p><b>D コンクリート工</b></p> <p><b>D～2030 コンクリート削孔工</b></p> <p><b>1 適用範囲</b> 本資料は、コンクリート構造物の削孔（用心鉄筋（さし筋）、あと施工アンカー、防護柵類、排水穴等）作業に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲 【省略】</p> <p>3-2 コンクリート削孔（さく岩機） (1) 条件区分 【省略】 (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表 3-4 コンクリート削孔（さく岩機） 代表機労材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th colspan="2">代表機労材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・(低騒音型)・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 3.5～3.7 m<sup>3</sup>/min</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>さく岩機 [ハンドドリル (空圧式)] 質量 15 kg級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	項 目	代表機労材規格		備 考	機 械	K1	空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・(低騒音型)・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 3.5～3.7 m <sup>3</sup> /min	賃料	K2	さく岩機 [ハンドドリル (空圧式)] 質量 15 kg級		K3	—		労 務	R1	特殊作業員		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	—		材 料	Z1	軽油 パトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p><b>D コンクリート工</b></p> <p><b>D～2030 コンクリート削孔工</b></p> <p><b>1 適用範囲</b> 本資料は、コンクリート構造物の削孔（用心鉄筋（さし筋）、あと施工アンカー、防護柵類、排水穴等）作業に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲 【省略】</p> <p>3-2 コンクリート削孔（さく岩機） (1) 条件区分 【省略】 (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表 3-4 コンクリート削孔（さく岩機） 代表機労材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th colspan="2">代表機労材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・(低騒音型)・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 3.5～3.7 m<sup>3</sup>/min</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>さく岩機 [ハンドドリル (空圧式)] 質量 15 kg級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 パトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	項 目	代表機労材規格		備 考	機 械	K1	空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・(低騒音型)・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 3.5～3.7 m <sup>3</sup> /min	賃料	K2	さく岩機 [ハンドドリル (空圧式)] 質量 15 kg級		K3	—		労 務	R1	特殊作業員		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	—		材 料	Z1	軽油 パトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>表内、字句の改正</p>
項 目	代表機労材規格		備 考																																																																																							
機 械	K1	空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・(低騒音型)・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 3.5～3.7 m <sup>3</sup> /min	賃料																																																																																							
	K2	さく岩機 [ハンドドリル (空圧式)] 質量 15 kg級																																																																																								
	K3	—																																																																																								
労 務	R1	特殊作業員																																																																																								
	R2	普通作業員																																																																																								
	R3	土木一般世話役																																																																																								
	R4	—																																																																																								
材 料	Z1	軽油 パトロール給油																																																																																								
	Z2	—																																																																																								
	Z3	—																																																																																								
	Z4	—																																																																																								
市場単価	S	—																																																																																								
項 目	代表機労材規格		備 考																																																																																							
機 械	K1	空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・(低騒音型)・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 3.5～3.7 m <sup>3</sup> /min	賃料																																																																																							
	K2	さく岩機 [ハンドドリル (空圧式)] 質量 15 kg級																																																																																								
	K3	—																																																																																								
労 務	R1	特殊作業員																																																																																								
	R2	普通作業員																																																																																								
	R3	土木一般世話役																																																																																								
	R4	—																																																																																								
材 料	Z1	軽油 パトロール給油																																																																																								
	Z2	—																																																																																								
	Z3	—																																																																																								
	Z4	—																																																																																								
市場単価	S	—																																																																																								

# E 管渠工

土地改良事業等適用施工パッケージ型積算方式の試行  
(平成 29 年 9 月 25 日付け事調第 598 号農政部長通知) の一部改正

## 1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 6 年 12 月 19 日以降	令和 7 年 2 月 20 日以降



改 正	現 行	備 考																				
<p style="text-align: center;">E 管渠工</p> <p>E～2010 排水構造物工（鉄筋コンクリート台付管）</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>4 プレキャスト基礎板設置</p> <p>4-1 適用範囲 本資料は、プレキャスト基礎板（高圧管用・台付管用）の据付作業に適用する。</p> <p>4-2 機種を選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4-1 機種を選定（プレキャスト基礎板）</p> <table border="1" data-bbox="189 753 1344 921"> <thead> <tr> <th rowspan="2">規格区分</th> <th rowspan="2">据付方法</th> <th colspan="2">使用機械</th> </tr> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内径φ300～1,200mm</td> <td>機械</td> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型 クレーン機能付 排出ガス対策型（第1次基準値） 山積 0.45 m<sup>3</sup>（平積 0.35 m<sup>3</sup>）吊能力 2.9 t</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 現場条件により、上表により難しい場合は別途考慮する。 (注2) バックホウ（クレーン仕様）は「クレーン等安全規則」、「移動式クレーン構造規格」に準拠する機械である。 <u>(注3) バックホウは損料とする。</u></p> <p>【省略】</p>	規格区分	据付方法	使用機械		機械名	規格	内径φ300～1,200mm	機械	バックホウ (クローラ型)	標準型 クレーン機能付 排出ガス対策型（第1次基準値） 山積 0.45 m <sup>3</sup> （平積 0.35 m <sup>3</sup> ）吊能力 2.9 t	<p style="text-align: center;">E 管渠工</p> <p>E～2010 排水構造物工（鉄筋コンクリート台付管）</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>4 プレキャスト基礎板設置</p> <p>4-1 適用範囲 本資料は、プレキャスト基礎板（高圧管用・台付管用）の据付作業に適用する。</p> <p>4-2 機種を選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4-1 機種を選定（プレキャスト基礎板）</p> <table border="1" data-bbox="1433 753 2588 921"> <thead> <tr> <th rowspan="2">規格区分</th> <th rowspan="2">据付方法</th> <th colspan="2">使用機械</th> </tr> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内径φ300～1,200mm</td> <td>機械</td> <td>バックホウ (クローラ型)</td> <td>標準型 クレーン機能付 排出ガス対策型（第1次基準値） 山積 0.45 m<sup>3</sup>（平積 0.35 m<sup>3</sup>）吊能力 2.9 t</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 現場条件により、上表により難しい場合は別途考慮する。 (注2) バックホウ（クレーン仕様）は「クレーン等安全規則」、「移動式クレーン構造規格」に準拠する機械である。</p> <p>【省略】</p>	規格区分	据付方法	使用機械		機械名	規格	内径φ300～1,200mm	機械	バックホウ (クローラ型)	標準型 クレーン機能付 排出ガス対策型（第1次基準値） 山積 0.45 m <sup>3</sup> （平積 0.35 m <sup>3</sup> ）吊能力 2.9 t	<p>番号及び字句の追加</p>
規格区分			据付方法	使用機械																		
	機械名	規格																				
内径φ300～1,200mm	機械	バックホウ (クローラ型)	標準型 クレーン機能付 排出ガス対策型（第1次基準値） 山積 0.45 m <sup>3</sup> （平積 0.35 m <sup>3</sup> ）吊能力 2.9 t																			
規格区分	据付方法	使用機械																				
		機械名	規格																			
内径φ300～1,200mm	機械	バックホウ (クローラ型)	標準型 クレーン機能付 排出ガス対策型（第1次基準値） 山積 0.45 m <sup>3</sup> （平積 0.35 m <sup>3</sup> ）吊能力 2.9 t																			

# F 水路工

土地改良事業等適用施工パッケージ型積算方式の試行  
(平成 29 年 9 月 25 日付け事調第 598 号農政部長通知) の一部改正

## 1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 6 年 12 月 20 日以降	令和 7 年 2 月 20 日以降





改 正	現 行	備 考																								
F 水路工	F 水路工																									
F～1400 排水構造物工（ボックスカルバート）	F～1400 排水構造物工（ボックスカルバート）																									
1 適用範囲	1 適用範囲																									
【省略】	【省略】																									
3 施工パッケージ	3 施工パッケージ																									
3-1 ボックスカルバート	3-1 ボックスカルバート																									
(1) 条件区分	(1) 条件区分																									
【省略】	【省略】																									
(2) 代表機材規格	(2) 代表機材規格																									
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。	下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。																									
表 3-4 ボックスカルバート 代表機材規格一覧	表 3-4 ボックスカルバート 代表機材規格一覧																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・ 低騒音型排出ガス対策型(2011年規制)] 25 t 吊</td> <td>・賃料 ・内空高 2.5m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・ 低騒音型排出ガス対策型(第 1 次基準値)] 50 t 吊</td> <td>・賃料 ・内空高 2.5m 超の場合</td> </tr> <tr> <td>K2 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 —</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項 目	代表機材規格	備 考	機 械	K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・ 低騒音型排出ガス対策型(2011年規制)] 25 t 吊	・賃料 ・内空高 2.5m 以下の場合	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・ 低騒音型排出ガス対策型(第 1 次基準値)] 50 t 吊	・賃料 ・内空高 2.5m 超の場合	K2 —		K3 —		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・ 低騒音型排出ガス対策型(第 2 次基準値)] 25 t 吊</td> <td>・賃料 ・内空高 2.5m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・ 低騒音型排出ガス対策型(第 1 次基準値)] 50 t 吊</td> <td>・賃料 ・内空高 2.5m 超の場合</td> </tr> <tr> <td>K2 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 —</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項 目	代表機材規格	備 考	機 械	K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・ 低騒音型排出ガス対策型(第 2 次基準値)] 25 t 吊	・賃料 ・内空高 2.5m 以下の場合	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・ 低騒音型排出ガス対策型(第 1 次基準値)] 50 t 吊	・賃料 ・内空高 2.5m 超の場合	K2 —		K3 —		表内、字句の改正
項 目	代表機材規格	備 考																								
機 械	K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・ 低騒音型排出ガス対策型(2011年規制)] 25 t 吊	・賃料 ・内空高 2.5m 以下の場合																								
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・ 低騒音型排出ガス対策型(第 1 次基準値)] 50 t 吊	・賃料 ・内空高 2.5m 超の場合																								
	K2 —																									
K3 —																										
項 目	代表機材規格	備 考																								
機 械	K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・ 低騒音型排出ガス対策型(第 2 次基準値)] 25 t 吊	・賃料 ・内空高 2.5m 以下の場合																								
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・ 低騒音型排出ガス対策型(第 1 次基準値)] 50 t 吊	・賃料 ・内空高 2.5m 超の場合																								
	K2 —																									
K3 —																										
【省略】	【省略】																									

改 正	現 行	備 考
<p>F～1510 目地・止水板設置工</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>【省略】</p>	<p>F～1510 目地・止水板設置工</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>【省略】</p>	<p>フロー図内、字句の 削除及び改正</p>

改 正	現 行	備 考																																																																																								
<p>F～3100 かごマット工（スロープ型）</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注1) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 (注2) 吸出し防止材設置の有無にかかわらず本施工パッケージを適用できる。</p> <p>3 施工パッケージ 3-1 かごマット設置（スロープ型） (1) 条件区分 【省略】 (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表 3-2 かごマット設置（スロープ型） 代表機労材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積 0.8 m<sup>3</sup> (平積 0.6 m<sup>3</sup>)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材 料</td> <td>Z1</td> <td>かごマット(スロープ型) t=30 cm メッキ鉄線 かごマット(スロープ型) t=50 cm メッキ鉄線</td> <td>かご厚さが t=30 cm の場合 かご厚さが t=50 cm の場合</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>割栗石 径 50～150 mm 割栗石 径 150～200 mm</td> <td>かご厚さが t=30 cm の場合 かご厚さが t=50 cm の場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	項目	代表機労材規格		備考	機 械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積 0.8 m <sup>3</sup> (平積 0.6 m <sup>3</sup> )		K2	—		K3	—		労 務	R1	普通作業員		R2	特殊作業員		R3	運転手 (特殊)		R4	土木一般世話役		材 料	Z1	かごマット(スロープ型) t=30 cm メッキ鉄線 かごマット(スロープ型) t=50 cm メッキ鉄線	かご厚さが t=30 cm の場合 かご厚さが t=50 cm の場合	Z2	割栗石 径 50～150 mm 割栗石 径 150～200 mm	かご厚さが t=30 cm の場合 かご厚さが t=50 cm の場合	Z3	軽油 バトロール給油		Z4	—		市場単価	S	—		<p>F～3100 かごマット工（スロープ型）</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注1) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 (注2) 吸出し防止材設置の有無にかかわらず本施工パッケージを適用できる。</p> <p>3 施工パッケージ 3-1 かごマット設置（スロープ型） (1) 条件区分 【省略】 (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表 3-2 かごマット設置（スロープ型） 代表機労材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.8 m<sup>3</sup> (平積 0.6 m<sup>3</sup>)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材 料</td> <td>Z1</td> <td>かごマット(スロープ型) t=30 cm メッキ鉄線 かごマット(スロープ型) t=50 cm メッキ鉄線</td> <td>かご厚さが t=30 cm の場合 かご厚さが t=50 cm の場合</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>割栗石 径 50～150 mm 割栗石 径 150～200 mm</td> <td>かご厚さが t=30 cm の場合 かご厚さが t=50 cm の場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	項目	代表機労材規格		備考	機 械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.8 m <sup>3</sup> (平積 0.6 m <sup>3</sup> )		K2	—		K3	—		労 務	R1	普通作業員		R2	特殊作業員		R3	運転手 (特殊)		R4	土木一般世話役		材 料	Z1	かごマット(スロープ型) t=30 cm メッキ鉄線 かごマット(スロープ型) t=50 cm メッキ鉄線	かご厚さが t=30 cm の場合 かご厚さが t=50 cm の場合	Z2	割栗石 径 50～150 mm 割栗石 径 150～200 mm	かご厚さが t=30 cm の場合 かご厚さが t=50 cm の場合	Z3	軽油 バトロール給油		Z4	—		市場単価	S	—		<p>フロー図内、字句の改正</p> <p>表内、字句の改正</p>
項目	代表機労材規格		備考																																																																																							
機 械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 山積 0.8 m <sup>3</sup> (平積 0.6 m <sup>3</sup> )																																																																																								
	K2	—																																																																																								
	K3	—																																																																																								
労 務	R1	普通作業員																																																																																								
	R2	特殊作業員																																																																																								
	R3	運転手 (特殊)																																																																																								
	R4	土木一般世話役																																																																																								
材 料	Z1	かごマット(スロープ型) t=30 cm メッキ鉄線 かごマット(スロープ型) t=50 cm メッキ鉄線	かご厚さが t=30 cm の場合 かご厚さが t=50 cm の場合																																																																																							
	Z2	割栗石 径 50～150 mm 割栗石 径 150～200 mm	かご厚さが t=30 cm の場合 かご厚さが t=50 cm の場合																																																																																							
	Z3	軽油 バトロール給油																																																																																								
	Z4	—																																																																																								
	市場単価	S	—																																																																																							
項目	代表機労材規格		備考																																																																																							
機 械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.8 m <sup>3</sup> (平積 0.6 m <sup>3</sup> )																																																																																								
	K2	—																																																																																								
	K3	—																																																																																								
労 務	R1	普通作業員																																																																																								
	R2	特殊作業員																																																																																								
	R3	運転手 (特殊)																																																																																								
	R4	土木一般世話役																																																																																								
材 料	Z1	かごマット(スロープ型) t=30 cm メッキ鉄線 かごマット(スロープ型) t=50 cm メッキ鉄線	かご厚さが t=30 cm の場合 かご厚さが t=50 cm の場合																																																																																							
	Z2	割栗石 径 50～150 mm 割栗石 径 150～200 mm	かご厚さが t=30 cm の場合 かご厚さが t=50 cm の場合																																																																																							
	Z3	軽油 バトロール給油																																																																																								
	Z4	—																																																																																								
	市場単価	S	—																																																																																							

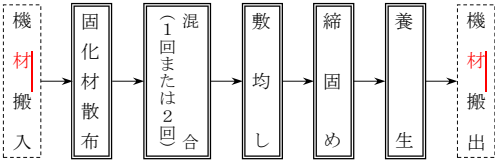
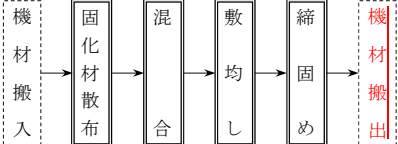
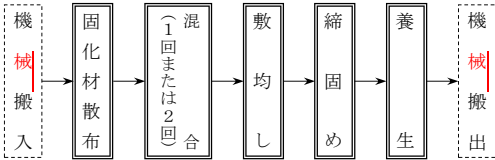
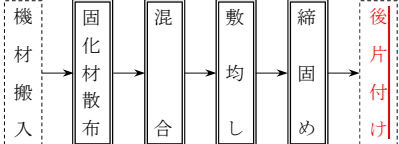
# I 道路工

土地改良事業等適用施工パッケージ型積算方式の試行  
(平成 29 年 9 月 25 日付け事調第 598 号農政部長通知) の一部改正

## 1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 6 年 12 月 19 日以降	令和 7 年 2 月 20 日以降



改 正	現 行	備 考
<p style="text-align: center;">I 道 路 工</p> <p>I ~2300 安定処理工</p> <p>1 適用範囲</p> <p>【省略】</p> <p>2 施工概要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(1) スタビライザ混合</p>  <p>(注1) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p>(注2) 養生中の飛散防止等の有無にかかわらず本施工パッケージを適用できる。</p> <p>(2) バックホウ混合</p>  <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p>	<p style="text-align: center;">I 道 路 工</p> <p>I ~2300 安定処理工</p> <p>1 適用範囲</p> <p>【省略】</p> <p>2 施工概要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(1) スタビライザ混合</p>  <p>(注1) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p>(注2) 養生中の飛散防止等の有無にかかわらず本施工パッケージを適用できる。</p> <p>(2) バックホウ混合</p>  <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p>	<p>フロー図内、字句の 改正</p> <p>フロー図内、字句の 改正</p>

新 旧 対 照 表

改 正					現 行					備 考	
<b>3 施工パッケージ</b> 3-1 安定処理 (1) 条件区分 <b>【省略】</b>  (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。					<b>3 施工パッケージ</b> 3-1 安定処理 (1) 条件区分 <b>【省略】</b>  (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。					表内、字句の改正	
表 3.2 安定処理 代表機労材規格一覧					表 3.2 安定処理 代表機労材規格一覧						
使用機種	施工箇所	項目	代表機労材規格	備考	使用機種	施工箇所	項目	代表機労材規格	備考		
スタビライザ	—	機 械	K1	スタビライザ〔路床改良用・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 処理深さ0.6m×幅2.0m	混合深さ0.6m以下の場合	スタビライザ	—	機 械	K1	スタビライザ〔路床改良用・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 処理深さ0.6m×幅2.0m	混合深さ0.6m以下の場合
			K2	スタビライザ〔路床改良用・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 処理深さ1.2m×幅2.0m	混合深さ0.6mを超え1m以下の場合				K2	スタビライザ〔路床改良用・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 処理深さ1.2m×幅2.0m	混合深さ0.6mを超え1m以下の場合
			K3	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 山積0.45m <sup>3</sup> （平積0.35m <sup>3</sup> ）吊能力2.9t	賃料				K3	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 山積0.45m <sup>3</sup> （平積0.35m <sup>3</sup> ）吊能力2.9t	賃料
		労 務	R1	ブルドーザ湿地〔低騒音型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕7t級	賃料	R1		ブルドーザ湿地〔低騒音型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕7t級	賃料		
			R2	運転手（特殊）		R2		運転手（特殊）			
			R3	普通作業員		R3		普通作業員			
			R4	土木一般世話役		R4		土木一般世話役			
		材 料	Z1	セメント系固化材 <b>特殊</b> 土用 ・フレコン・1トンバック		Z1		セメント系固化材 <b>一般軟弱</b> 土用 ・フレコン・1トンバック			
			Z2	軽油 バトロール給油		Z2		軽油 バトロール給油			
	Z3		—		Z3	—					
	Z4		—		Z4	—					
	市場単価	S	—		市場単価	S	—				



新 旧 対 照 表

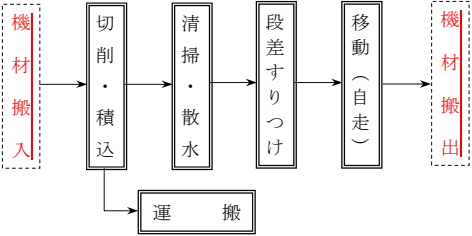
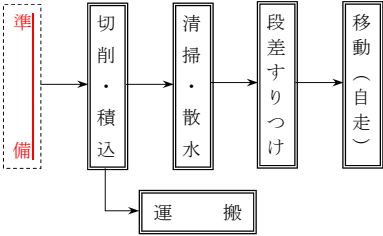
改 正					現 行					備 考				
使用機種	施工箇所	項目	代表機劣材規格		備考	使用機種	施工箇所	項目	代表機劣材規格		備考			
バックホウ	路床	機 械	K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・クレーン機能付]排出ガス対策型(2011年規制)山積0.5m <sup>3</sup> (平積0.4m <sup>3</sup> )2.9t吊	賃料	バックホウ	路床	機 械	K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・クレーン機能付]排出ガス対策型(2011年規制)山積0.5m <sup>3</sup> (平積0.4m <sup>3</sup> )2.9t吊	賃料	表内、字句の追加及び改正		
			K2	タイヤローラ[普通型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)]運転質量8~20t	賃料				K2	タイヤローラ[普通型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)]運転質量8~20t	賃料			
			K3	振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバインド式・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)]運転質量3~4t	賃料				K3	振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバインド式・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)]運転質量3~4t	賃料			
		労 務	R1	運転手(特殊)		R1	運転手(特殊)							
			R2	普通作業員		R2	普通作業員							
			R3	土木一般世話役		R3	土木一般世話役							
			R4	—		R4	—							
		材 料	Z1	セメント系固化材 <b>特殊</b> 土用 ・フレコン・1トンバック		Z1	セメント系固化材 <b>一般軟弱</b> 土用 ・フレコン・1トンバック							
			Z2	軽油 パトロール給油		Z2	軽油 パトロール給油							
			Z3	—		Z3	—							
			Z4	—		Z4	—							
		市場単価	S	—		市場単価	S	—						
		バックホウ	構造物基礎	機 械	K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・クレーン機能付]排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )2.9t吊	賃料	バックホウ	構造物基礎	機 械	K1		バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・クレーン機能付]排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )2.9t吊	賃料
					K2	振動ローラ(舗装用)[ハンドガイド式・ <b>低騒音型</b> ]質量 <b>0.6~0.7</b> t	賃料				K2		振動ローラ(舗装用)[ハンドガイド式_____] ]質量 <b>0.8~1.1</b> t	賃料
K3	—					K3	—							
労 務	R1			土木一般世話役		R1	土木一般世話役							
	R2			運転手(特殊)		R2	運転手(特殊)							
	R3			特殊作業員		R3	特殊作業員							
	R4			普通作業員		R4	普通作業員							
材 料	Z1			セメント系固化材 <b>特殊</b> 土用 ・フレコン・1トンバック		Z1	セメント系固化材 <b>一般軟弱</b> 土用 ・フレコン・1トンバック							
	Z2			軽油 パトロール給油		Z2	軽油 パトロール給油							
	Z3			—		Z3	—							
	Z4			—		Z4	—							
市場単価	S			—		市場単価	S	—						

(注) バックホウ及び振動ローラは、賃料とする。

【省略】

(注) バックホウ及び振動ローラは、賃料とする。

【省略】

改 正	現 行	備 考
<p>I ～4000 路面切削工</p> <p>1 適用範囲</p> <p>【省略】</p> <p>2 施工概要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注1) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p>【省略】</p>	<p>I ～4000 路面切削工</p> <p>1 適用範囲</p> <p>【省略】</p> <p>2 施工概要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注1) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p>【省略】</p>	<p>フロー図内、字句の 改正</p>

# J 道路附帯工

土地改良事業等適用施工パッケージ型積算方式の試行  
(平成 29 年 9 月 25 日付け事調第 598 号農政部長通知) の一部改正

## 1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 6 年 12 月 19 日以降	令和 7 年 2 月 20 日以降



改 正	現 行	備 考
<p style="text-align: center;">J 道路附帯工</p> <p>J～1500 路側工（据付け）</p> <p>1 適用範囲</p> <p>本資料は、プレキャスト製品による歩車道境界ブロック及び地先境界ブロックの据付作業に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 歩車道境界ブロック 製品長 2m以下の場合</p> <p>1-1-2 地先境界ブロック 製品長 2m以下の場合</p> <p>1-2 適用できない範囲</p> <p>1-2-1 歩車道境界ブロック</p> <p>(1) 製品長が 2mを超える場合</p> <p>(2) <u>ブロック規格が「600 mm以下、50 kg以上 100 kg未満」または「600 mm超え 1,000 mm以下、50 kg以上 150 kg未満」、かつ作業半径 3mを超える場合</u></p> <p>(3) <u>ブロック規格が「600 mm超え 1,000 mm以下、50 kg以上 150 kg未満」、かつ作業半径 5mを超える場合</u></p> <p>1-2-2 地先境界ブロック</p> <p>(1) 製品長が 2mを超える場合</p> <p>(2) <u>ブロック規格が「600 mm以下、50 kg以上 100 kg未満」または「600 mm超え 1,000 mm以下、50 kg以上 150 kg未満」、かつ作業半径 3mを超える場合</u></p> <p>(3) <u>ブロック規格が「600 mm超 1,000 mm以下、50 kg以上 150 kg未満」、かつ作業半径 5mを超える場合</u></p> <p>2 施工概要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>【省略】</p>	<p style="text-align: center;">J 道路附帯工</p> <p>J～1500 路側工（据付け）</p> <p>1 適用範囲</p> <p>本資料は、プレキャスト製品による歩車道境界ブロック及び地先境界ブロックの据付作業に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 歩車道境界ブロック 製品長 2m以下の場合</p> <p>1-1-2 地先境界ブロック 製品長 2m以下の場合</p> <p>1-2 適用できない範囲</p> <p>1-2-1 歩車道境界ブロック 製品長が 2mを超える場合</p> <p>1-2-2 地先境界ブロック 製品長が 2mを超える場合</p> <p>2 施工概要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>【省略】</p>	<p>番号の追加 字句、番号の追加</p> <p>字句、番号の追加</p> <p>番号の追加 字句、番号の追加</p> <p>字句、番号の追加</p> <p>フロー図内、字句の追加及び改正</p>

新 旧 対 照 表

改 正		現 行		備 考																																
<b>3 施工パッケージ</b> 3-1 歩車道境界ブロック (1) 条件区分 <b>【省略】</b> (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。		<b>3 施工パッケージ</b> 3-1 歩車道境界ブロック (1) 条件区分 <b>【省略】</b> (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。		表内、字句の改正																																
表 3-5 歩車道境界ブロック 代表機労材規格一覧		表 3-5 歩車道境界ブロック 代表機労材規格一覧																																		
機 械	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">K1</td> <td>小型バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第3次基準値）〕山積 0.09 m<sup>3</sup>（平積 0.07 m<sup>3</sup>）吊能力 0.9 t</td> <td>・賃料 ・ブロック規格②③⑤⑥の場合</td> </tr> <tr> <td>バックホウ（クローラ型）〔超小旋回型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2014年規制）〕山積 0.28 m<sup>3</sup>（平積 0.2 m<sup>3</sup>）吊能力 1.7 t</td> <td>・賃料 ・ブロック規格⑦の場合</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014年規制）〕山積 0.8 m<sup>3</sup>（平積 0.6 m<sup>3</sup>）</td> <td>・賃料 ・基礎砕石有りの場合</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	代表機労材規格	備 考	K1	小型バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第3次基準値）〕山積 0.09 m <sup>3</sup> （平積 0.07 m <sup>3</sup> ）吊能力 0.9 t	・賃料 ・ブロック規格②③⑤⑥の場合	バックホウ（クローラ型）〔超小旋回型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2014年規制）〕山積 0.28 m <sup>3</sup> （平積 0.2 m <sup>3</sup> ）吊能力 1.7 t	・賃料 ・ブロック規格⑦の場合	K2	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014年規制）〕山積 0.8 m <sup>3</sup> （平積 0.6 m <sup>3</sup> ）	・賃料 ・基礎砕石有りの場合	K3	—	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">K1</td> <td>小型バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第3次基準値）〕山積 0.09 m<sup>3</sup>（平積 0.07 m<sup>3</sup>）吊能力 0.9 t</td> <td>・賃料 ・ブロック規格②③⑤⑥の場合</td> </tr> <tr> <td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第2次基準値）〕山積 0.45 m<sup>3</sup>（平積 0.35 m<sup>3</sup>）吊能力 2.9 t</td> <td>・賃料 ・ブロック規格⑦の場合</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014年規制）〕山積 0.8 m<sup>3</sup>（平積 0.6 m<sup>3</sup>）</td> <td>・賃料 ・基礎砕石有りの場合</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	代表機労材規格	備 考	K1	小型バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第3次基準値）〕山積 0.09 m <sup>3</sup> （平積 0.07 m <sup>3</sup> ）吊能力 0.9 t	・賃料 ・ブロック規格②③⑤⑥の場合	バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第2次基準値）〕山積 0.45 m <sup>3</sup> （平積 0.35 m <sup>3</sup> ）吊能力 2.9 t	・賃料 ・ブロック規格⑦の場合	K2	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014年規制）〕山積 0.8 m <sup>3</sup> （平積 0.6 m <sup>3</sup> ）	・賃料 ・基礎砕石有りの場合	K3	—	—						
項 目	代表機労材規格	備 考																																		
K1	小型バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第3次基準値）〕山積 0.09 m <sup>3</sup> （平積 0.07 m <sup>3</sup> ）吊能力 0.9 t	・賃料 ・ブロック規格②③⑤⑥の場合																																		
	バックホウ（クローラ型）〔超小旋回型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2014年規制）〕山積 0.28 m <sup>3</sup> （平積 0.2 m <sup>3</sup> ）吊能力 1.7 t	・賃料 ・ブロック規格⑦の場合																																		
	K2	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014年規制）〕山積 0.8 m <sup>3</sup> （平積 0.6 m <sup>3</sup> ）	・賃料 ・基礎砕石有りの場合																																	
K3	—	—																																		
項 目	代表機労材規格	備 考																																		
K1	小型バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第3次基準値）〕山積 0.09 m <sup>3</sup> （平積 0.07 m <sup>3</sup> ）吊能力 0.9 t	・賃料 ・ブロック規格②③⑤⑥の場合																																		
	バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第2次基準値）〕山積 0.45 m <sup>3</sup> （平積 0.35 m <sup>3</sup> ）吊能力 2.9 t	・賃料 ・ブロック規格⑦の場合																																		
	K2	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014年規制）〕山積 0.8 m <sup>3</sup> （平積 0.6 m <sup>3</sup> ）	・賃料 ・基礎砕石有りの場合																																	
K3	—	—																																		
労 務	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R4</td> <td>型わく工</td> <td>均し基礎コンクリート有りの場合</td> </tr> <tr> <td>運転手（特殊）</td> <td>・基礎砕石有り、かつ均し基礎コンクリート無しの場合 ・ブロック規格⑦で、基礎砕石無し、かつ均し基礎コンクリート無しの場合</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	代表機労材規格	備 考	R1	普通作業員		R2	特殊作業員		R3	土木一般世話役		R4	型わく工	均し基礎コンクリート有りの場合	運転手（特殊）	・基礎砕石有り、かつ均し基礎コンクリート無しの場合 ・ブロック規格⑦で、基礎砕石無し、かつ均し基礎コンクリート無しの場合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R4</td> <td>型わく工</td> <td>均し基礎コンクリート有りの場合</td> </tr> <tr> <td>運転手（特殊）</td> <td>・基礎砕石有り、かつ均し基礎コンクリート無しの場合 ・ブロック規格⑦で、基礎砕石無し、かつ均し基礎コンクリート無しの場合</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	代表機労材規格	備 考	R1	普通作業員		R2	特殊作業員		R3	土木一般世話役		R4	型わく工	均し基礎コンクリート有りの場合	運転手（特殊）	・基礎砕石有り、かつ均し基礎コンクリート無しの場合 ・ブロック規格⑦で、基礎砕石無し、かつ均し基礎コンクリート無しの場合
項 目	代表機労材規格	備 考																																		
R1	普通作業員																																			
R2	特殊作業員																																			
R3	土木一般世話役																																			
R4	型わく工	均し基礎コンクリート有りの場合																																		
	運転手（特殊）	・基礎砕石有り、かつ均し基礎コンクリート無しの場合 ・ブロック規格⑦で、基礎砕石無し、かつ均し基礎コンクリート無しの場合																																		
項 目	代表機労材規格	備 考																																		
R1	普通作業員																																			
R2	特殊作業員																																			
R3	土木一般世話役																																			
R4	型わく工	均し基礎コンクリート有りの場合																																		
	運転手（特殊）	・基礎砕石有り、かつ均し基礎コンクリート無しの場合 ・ブロック規格⑦で、基礎砕石無し、かつ均し基礎コンクリート無しの場合																																		
材 料	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">Z1</td> <td>歩車道境界ブロック A種 (150/170×200×600)</td> <td rowspan="3">設置の場合</td> </tr> <tr> <td>歩車道境界ブロック B種 (180/205×250×600)</td> </tr> <tr> <td>歩車道境界ブロック C種 (180/210×300×600)</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td>均し基礎コンクリート有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>再生クラッシュラン RC-40</td> <td>基礎砕石有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>軽油 パトロール給油</td> <td>ブロック規格①④、かつ基礎砕石無しの場合を除く</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	代表機労材規格	備 考	Z1	歩車道境界ブロック A種 (150/170×200×600)	設置の場合	歩車道境界ブロック B種 (180/205×250×600)	歩車道境界ブロック C種 (180/210×300×600)	Z2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	均し基礎コンクリート有りの場合	Z3	再生クラッシュラン RC-40	基礎砕石有りの場合	Z4	軽油 パトロール給油	ブロック規格①④、かつ基礎砕石無しの場合を除く	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">Z1</td> <td>歩車道境界ブロック A種 (150/170×200×600)</td> <td rowspan="3">設置の場合</td> </tr> <tr> <td>歩車道境界ブロック B種 (180/205×250×600)</td> </tr> <tr> <td>歩車道境界ブロック C種 (180/210×300×600)</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td>均し基礎コンクリート有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>再生クラッシュラン RC-40</td> <td>基礎砕石有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>軽油 パトロール給油</td> <td>ブロック規格①④、かつ基礎砕石無しの場合を除く</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	代表機労材規格	備 考	Z1	歩車道境界ブロック A種 (150/170×200×600)	設置の場合	歩車道境界ブロック B種 (180/205×250×600)	歩車道境界ブロック C種 (180/210×300×600)	Z2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	均し基礎コンクリート有りの場合	Z3	再生クラッシュラン RC-40	基礎砕石有りの場合	Z4	軽油 パトロール給油	ブロック規格①④、かつ基礎砕石無しの場合を除く
項 目	代表機労材規格	備 考																																		
Z1	歩車道境界ブロック A種 (150/170×200×600)	設置の場合																																		
	歩車道境界ブロック B種 (180/205×250×600)																																			
	歩車道境界ブロック C種 (180/210×300×600)																																			
Z2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	均し基礎コンクリート有りの場合																																		
Z3	再生クラッシュラン RC-40	基礎砕石有りの場合																																		
Z4	軽油 パトロール給油	ブロック規格①④、かつ基礎砕石無しの場合を除く																																		
項 目	代表機労材規格	備 考																																		
Z1	歩車道境界ブロック A種 (150/170×200×600)	設置の場合																																		
	歩車道境界ブロック B種 (180/205×250×600)																																			
	歩車道境界ブロック C種 (180/210×300×600)																																			
Z2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	均し基礎コンクリート有りの場合																																		
Z3	再生クラッシュラン RC-40	基礎砕石有りの場合																																		
Z4	軽油 パトロール給油	ブロック規格①④、かつ基礎砕石無しの場合を除く																																		
市場単価	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	代表機労材規格	備 考	S	—	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	代表機労材規格	備 考	S	—	—																						
項 目	代表機労材規格	備 考																																		
S	—	—																																		
項 目	代表機労材規格	備 考																																		
S	—	—																																		
<b>【省略】</b>		<b>【省略】</b>																																		

新 旧 対 照 表

改 正		現 行		備 考																											
3-2 地先境界ブロック		3-2 地先境界ブロック		表内、字句の改正																											
(1) 条件区分		(1) 条件区分																													
【省略】		【省略】																													
(2) 代表機材規格		(2) 代表機材規格																													
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。		下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。																													
表 3-8 地先境界ブロック 代表機材規格一覧		表 3-8 地先境界ブロック 代表機材規格一覧																													
機 械	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">K1</td> <td>小型バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第3次基準値）〕山積 0.09 m<sup>3</sup>（平積 0.07 m<sup>3</sup>）吊能力 0.9t</td> <td>・賃料 ・ブロック規格⑤⑥の場合</td> </tr> <tr> <td>バックホウ（クローラ型）〔超小旋回型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2014年規制）〕山積 0.28 m<sup>3</sup>（平積 0.2 m<sup>3</sup>）吊能力 1.7 t</td> <td>・賃料 ・ブロック規格⑦の場合</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014年規制）〕山積 0.8 m<sup>3</sup>（平積 0.6 m<sup>3</sup>）</td> <td>・賃料 ・基礎砕石有りの場合</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	代表機材規格		備 考	K1	小型バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第3次基準値）〕山積 0.09 m <sup>3</sup> （平積 0.07 m <sup>3</sup> ）吊能力 0.9t	・賃料 ・ブロック規格⑤⑥の場合	バックホウ（クローラ型）〔超小旋回型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2014年規制）〕山積 0.28 m <sup>3</sup> （平積 0.2 m <sup>3</sup> ）吊能力 1.7 t	・賃料 ・ブロック規格⑦の場合	K2	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014年規制）〕山積 0.8 m <sup>3</sup> （平積 0.6 m <sup>3</sup> ）	・賃料 ・基礎砕石有りの場合	K3	—	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">K1</td> <td>小型バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第3次基準値）〕山積 0.09 m<sup>3</sup>（平積 0.07 m<sup>3</sup>）吊能力 0.9t</td> <td>・賃料 ・ブロック規格⑤⑥の場合</td> </tr> <tr> <td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第2次基準値）〕山積 0.45 m<sup>3</sup>（平積 0.35 m<sup>3</sup>）吊能力 2.9 t</td> <td>・賃料 ・ブロック規格⑦の場合</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014年規制）〕山積 0.8 m<sup>3</sup>（平積 0.6 m<sup>3</sup>）</td> <td>・賃料 ・基礎砕石有りの場合</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	代表機材規格	備 考	K1	小型バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第3次基準値）〕山積 0.09 m <sup>3</sup> （平積 0.07 m <sup>3</sup> ）吊能力 0.9t	・賃料 ・ブロック規格⑤⑥の場合	バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第2次基準値）〕山積 0.45 m <sup>3</sup> （平積 0.35 m <sup>3</sup> ）吊能力 2.9 t	・賃料 ・ブロック規格⑦の場合	K2	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014年規制）〕山積 0.8 m <sup>3</sup> （平積 0.6 m <sup>3</sup> ）	・賃料 ・基礎砕石有りの場合	K3	—	—
項 目	代表機材規格	備 考																													
K1	小型バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第3次基準値）〕山積 0.09 m <sup>3</sup> （平積 0.07 m <sup>3</sup> ）吊能力 0.9t	・賃料 ・ブロック規格⑤⑥の場合																													
	バックホウ（クローラ型）〔超小旋回型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2014年規制）〕山積 0.28 m <sup>3</sup> （平積 0.2 m <sup>3</sup> ）吊能力 1.7 t	・賃料 ・ブロック規格⑦の場合																													
	K2	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014年規制）〕山積 0.8 m <sup>3</sup> （平積 0.6 m <sup>3</sup> ）	・賃料 ・基礎砕石有りの場合																												
K3	—	—																													
項 目	代表機材規格	備 考																													
K1	小型バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第3次基準値）〕山積 0.09 m <sup>3</sup> （平積 0.07 m <sup>3</sup> ）吊能力 0.9t	・賃料 ・ブロック規格⑤⑥の場合																													
	バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第2次基準値）〕山積 0.45 m <sup>3</sup> （平積 0.35 m <sup>3</sup> ）吊能力 2.9 t	・賃料 ・ブロック規格⑦の場合																													
	K2	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014年規制）〕山積 0.8 m <sup>3</sup> （平積 0.6 m <sup>3</sup> ）	・賃料 ・基礎砕石有りの場合																												
K3	—	—																													
労 務	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R4</td> <td>型わく工</td> <td>均し基礎コンクリート有りの場合</td> </tr> <tr> <td>運転手（特殊）</td> <td>・基礎砕石有り、かつ均し基礎コンクリート無しの場合 ・ブロック規格⑦で、基礎砕石無し、かつ均し基礎コンクリート無しの場合</td> </tr> </tbody> </table>	R1	普通作業員		R2	特殊作業員		R3	土木一般世話役		R4	型わく工	均し基礎コンクリート有りの場合	運転手（特殊）	・基礎砕石有り、かつ均し基礎コンクリート無しの場合 ・ブロック規格⑦で、基礎砕石無し、かつ均し基礎コンクリート無しの場合	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R4</td> <td>型わく工</td> <td>均し基礎コンクリート有りの場合</td> </tr> <tr> <td>運転手（特殊）</td> <td>・基礎砕石有り、かつ均し基礎コンクリート無しの場合 ・ブロック規格⑦で、基礎砕石無し、かつ均し基礎コンクリート無しの場合</td> </tr> </tbody> </table>	R1	普通作業員		R2	特殊作業員		R3	土木一般世話役		R4	型わく工	均し基礎コンクリート有りの場合	運転手（特殊）	・基礎砕石有り、かつ均し基礎コンクリート無しの場合 ・ブロック規格⑦で、基礎砕石無し、かつ均し基礎コンクリート無しの場合	
R1	普通作業員																														
R2	特殊作業員																														
R3	土木一般世話役																														
R4	型わく工	均し基礎コンクリート有りの場合																													
	運転手（特殊）	・基礎砕石有り、かつ均し基礎コンクリート無しの場合 ・ブロック規格⑦で、基礎砕石無し、かつ均し基礎コンクリート無しの場合																													
R1	普通作業員																														
R2	特殊作業員																														
R3	土木一般世話役																														
R4	型わく工	均し基礎コンクリート有りの場合																													
	運転手（特殊）	・基礎砕石有り、かつ均し基礎コンクリート無しの場合 ・ブロック規格⑦で、基礎砕石無し、かつ均し基礎コンクリート無しの場合																													
材 料	<table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="4">Z1</td> <td>地先境界ブロック A種(120×120×600)</td> <td rowspan="3">設置の場合</td> </tr> <tr> <td>地先境界ブロック B種(150×120×600)</td> </tr> <tr> <td>地先境界ブロック C種(150×150×600)</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td>均し基礎コンクリート有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>再生クラッシュラン RC-40</td> <td>基礎砕石有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>軽油 パトロール給油</td> <td>ブロック規格①②③④、かつ基礎砕石無しの場合を除く</td> </tr> </tbody> </table>	Z1	地先境界ブロック A種(120×120×600)	設置の場合	地先境界ブロック B種(150×120×600)	地先境界ブロック C種(150×150×600)	Z2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	均し基礎コンクリート有りの場合	Z3	再生クラッシュラン RC-40	基礎砕石有りの場合	Z4	軽油 パトロール給油	ブロック規格①②③④、かつ基礎砕石無しの場合を除く	<table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="4">Z1</td> <td>地先境界ブロック A種(120×120×600)</td> <td rowspan="3">設置の場合</td> </tr> <tr> <td>地先境界ブロック B種(150×120×600)</td> </tr> <tr> <td>地先境界ブロック C種(150×150×600)</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td>均し基礎コンクリート有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>再生クラッシュラン RC-40</td> <td>基礎砕石有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>軽油 パトロール給油</td> <td>ブロック規格①②③④、かつ基礎砕石無しの場合を除く</td> </tr> </tbody> </table>	Z1	地先境界ブロック A種(120×120×600)	設置の場合	地先境界ブロック B種(150×120×600)	地先境界ブロック C種(150×150×600)	Z2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	均し基礎コンクリート有りの場合	Z3	再生クラッシュラン RC-40	基礎砕石有りの場合	Z4	軽油 パトロール給油	ブロック規格①②③④、かつ基礎砕石無しの場合を除く	
Z1	地先境界ブロック A種(120×120×600)		設置の場合																												
	地先境界ブロック B種(150×120×600)																														
	地先境界ブロック C種(150×150×600)																														
	Z2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	均し基礎コンクリート有りの場合																												
Z3	再生クラッシュラン RC-40	基礎砕石有りの場合																													
Z4	軽油 パトロール給油	ブロック規格①②③④、かつ基礎砕石無しの場合を除く																													
Z1	地先境界ブロック A種(120×120×600)	設置の場合																													
	地先境界ブロック B種(150×120×600)																														
	地先境界ブロック C種(150×150×600)																														
	Z2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	均し基礎コンクリート有りの場合																												
Z3	再生クラッシュラン RC-40	基礎砕石有りの場合																													
Z4	軽油 パトロール給油	ブロック規格①②③④、かつ基礎砕石無しの場合を除く																													
市場単価	S —	市場単価	S —																												
【省略】		【省略】																													

改 正	現 行	備 考						
<p>J～1510 路側工（取外し）</p> <p>1 適用範囲</p> <p>【省略】</p> <p>2 施工概要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>【省略】</p> <p>3 施工パッケージ</p> <p>3-1 歩車道境界ブロック撤去、地先境界ブロック撤去</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表 3-1 歩車道境界ブロック撤去、地先境界ブロック撤去 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" data-bbox="134 1002 1003 1082"> <tr><td>再利用区分</td></tr> <tr><td>処 分</td></tr> <tr><td>再利用</td></tr> </table> <p>(注1) 上表は、プレキャスト製品による歩車道境界ブロックまたは地先境界ブロックの撤去、敷モルタル・目地モルタルの取外し、集積、現場内小運搬<u>ダンプトラック 4t 積、パール、スコップ、一輪車、電動ハンマドリル、電力に関する経費</u>等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p>(注2) 施工数量は直線部、曲線部及び片面用、両面用、乗入れ、すりつけ用ブロックを含んだ施工延長である。</p> <p>(注3) 基礎コンクリートの取壊しは、別途計上する。</p> <p>【省略】</p>	再利用区分	処 分	再利用	<p>J～1510 路側工（取外し）</p> <p>1 適用範囲</p> <p>【省略】</p> <p>2 施工概要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>【省略】</p> <p>3 施工パッケージ</p> <p>3-1 歩車道境界ブロック撤去、地先境界ブロック撤去</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表 3-1 歩車道境界ブロック撤去、地先境界ブロック撤去 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" data-bbox="1081 1002 1951 1082"> <tr><td>再利用区分</td></tr> <tr><td>処 分</td></tr> <tr><td>再利用</td></tr> </table> <p>(注1) 上表は、プレキャスト製品による歩車道境界ブロックまたは地先境界ブロックの撤去、敷モルタル・目地モルタルの取外し、集積、現場内小運搬<u>ダンプトラック 4t 積、パール、スコップ、一輪車、電動ハンマドリル、電力に関する経費</u>等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p>(注2) 施工数量は直線部、曲線部及び片面用、両面用、乗入れ、すりつけ用ブロックを含んだ施工延長である。</p> <p>(注3) 基礎コンクリートの取壊しは、別途計上する。</p> <p>【省略】</p>	再利用区分	処 分	再利用	<p>フロー図内、字句の改正</p> <p>字句の追加</p>
再利用区分								
処 分								
再利用								
再利用区分								
処 分								
再利用								



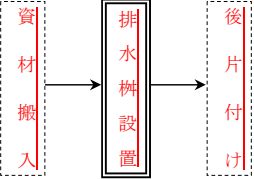
# K 橋梁工

土地改良事業等適用施工パッケージ型積算方式の試行  
(平成 29 年 9 月 25 日付け事調第 598 号農政部長通知) の一部改正

## 1. 適用年月日

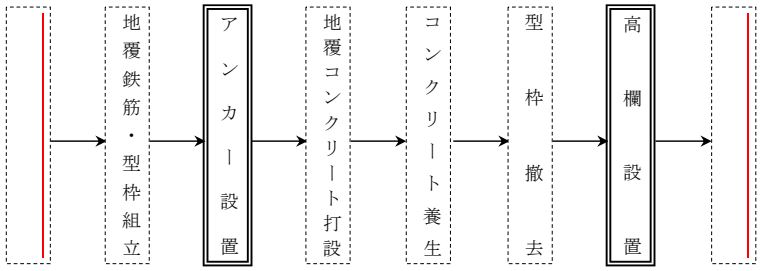
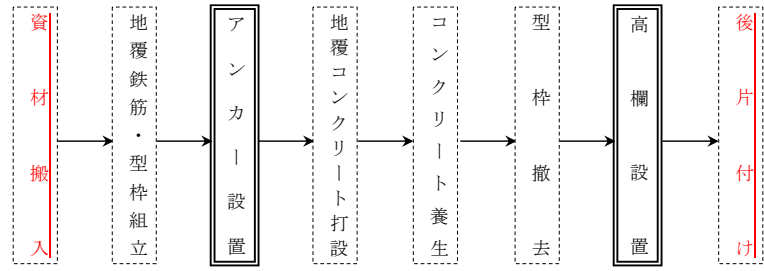
	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 6 年 12 月 19 日以降	令和 7 年 2 月 20 日以降

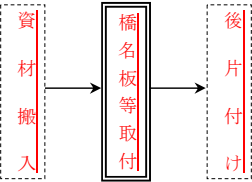


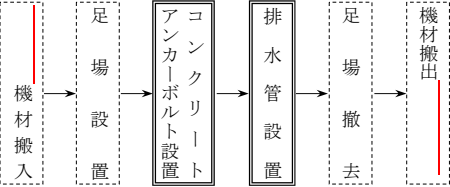
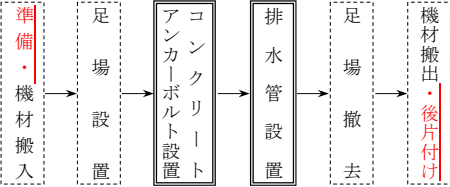
改 正	現 行	備 考								
<p style="text-align: center;">K 橋梁工</p> <p>K～5000 橋梁付属施設設置工（排水樹）</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p style="text-align: center;"><u>[削除]</u></p> <p>2 施工パッケージ 2-1 排水樹 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 2-1 排水樹 積算条件区分一覧 (積算単位：箇所)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">排水樹の種類</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">排水樹A</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">排水樹B 20 kg／個未満</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">排水樹B 20 kg／個以上 110 kg／個以下</td></tr> </table> <p>【省略】</p>	排水樹の種類	排水樹A	排水樹B 20 kg／個未満	排水樹B 20 kg／個以上 110 kg／個以下	<p style="text-align: center;">K 橋梁工</p> <p>K～5000 橋梁付属施設設置工（排水樹）</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 施工概要 <u>施工フローは、下記を標準とする。</u> 排水樹</p> <div style="text-align: center;">  <pre> graph LR     A[資材搬入] --&gt; B[排水樹設置]     B --&gt; C[後片付け]             </pre> </div> <p style="text-align: center;"><u>(注1) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</u></p> <p>3 施工パッケージ 3-1 排水樹 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3-1 排水樹 積算条件区分一覧 (積算単位：箇所)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">排水樹の種類</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">排水樹A</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">排水樹B 20 kg／個未満</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">排水樹B 20 kg／個以上 110 kg／個以下</td></tr> </table> <p>【省略】</p>	排水樹の種類	排水樹A	排水樹B 20 kg／個未満	排水樹B 20 kg／個以上 110 kg／個以下	<p>番号及びフロー図・字句の削除</p> <p>番号の改正 ”</p> <p>番号の改正</p>
排水樹の種類										
排水樹A										
排水樹B 20 kg／個未満										
排水樹B 20 kg／個以上 110 kg／個以下										
排水樹の種類										
排水樹A										
排水樹B 20 kg／個未満										
排水樹B 20 kg／個以上 110 kg／個以下										

新 旧 対 照 表

改 正			現 行			備 考																																																																																												
2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表 2-2 排水樹 代表機材規格一覧			(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表 3-2 排水樹 代表機材規格一覧			番号の改正																																																																																												
表 2-2 排水樹 代表機材規格一覧 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材 料</td> <td rowspan="2">Z1</td> <td>橋梁用排水樹 鋼桁用Aタイプ 首下 265 FC250 本体 13.6 kg/個</td> <td>排水樹 B20 kg/個未満 の場合</td> </tr> <tr> <td>橋梁用排水樹 鋼桁用Aタイプ 首下 265 FC250 本体 82.2 kg/個</td> <td>排水樹 B20 kg/個以上 110 kg/個以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			項 目	代表機材規格			備 考	機 械	K1	—		K2	—		K3	—		労 務	R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	—		R4	—		材 料	Z1	橋梁用排水樹 鋼桁用Aタイプ 首下 265 FC250 本体 13.6 kg/個	排水樹 B20 kg/個未満 の場合	橋梁用排水樹 鋼桁用Aタイプ 首下 265 FC250 本体 82.2 kg/個	排水樹 B20 kg/個以上 110 kg/個以下の場合	Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		表 3-2 排水樹 代表機材規格一覧 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材 料</td> <td rowspan="2">Z1</td> <td>橋梁用排水樹 鋼桁用Aタイプ 首下 265 FC250 本体 13.6 kg/個</td> <td>排水樹 B20 kg/個未満 の場合</td> </tr> <tr> <td>橋梁用排水樹 鋼桁用Aタイプ 首下 265 FC250 本体 82.2 kg/個</td> <td>排水樹 B20 kg/個以上 110 kg/個以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			項 目	代表機材規格		備 考	機 械	K1	—		K2	—		K3	—		労 務	R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	—		R4	—		材 料	Z1	橋梁用排水樹 鋼桁用Aタイプ 首下 265 FC250 本体 13.6 kg/個	排水樹 B20 kg/個未満 の場合	橋梁用排水樹 鋼桁用Aタイプ 首下 265 FC250 本体 82.2 kg/個	排水樹 B20 kg/個以上 110 kg/個以下の場合	Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—	
項 目	代表機材規格		備 考																																																																																															
機 械	K1	—																																																																																																
	K2	—																																																																																																
	K3	—																																																																																																
労 務	R1	普通作業員																																																																																																
	R2	土木一般世話役																																																																																																
	R3	—																																																																																																
	R4	—																																																																																																
材 料	Z1	橋梁用排水樹 鋼桁用Aタイプ 首下 265 FC250 本体 13.6 kg/個	排水樹 B20 kg/個未満 の場合																																																																																															
		橋梁用排水樹 鋼桁用Aタイプ 首下 265 FC250 本体 82.2 kg/個	排水樹 B20 kg/個以上 110 kg/個以下の場合																																																																																															
	Z2	—																																																																																																
	Z3	—																																																																																																
	Z4	—																																																																																																
市場単価	S	—																																																																																																
項 目	代表機材規格		備 考																																																																																															
機 械	K1	—																																																																																																
	K2	—																																																																																																
	K3	—																																																																																																
労 務	R1	普通作業員																																																																																																
	R2	土木一般世話役																																																																																																
	R3	—																																																																																																
	R4	—																																																																																																
材 料	Z1	橋梁用排水樹 鋼桁用Aタイプ 首下 265 FC250 本体 13.6 kg/個	排水樹 B20 kg/個未満 の場合																																																																																															
		橋梁用排水樹 鋼桁用Aタイプ 首下 265 FC250 本体 82.2 kg/個	排水樹 B20 kg/個以上 110 kg/個以下の場合																																																																																															
	Z2	—																																																																																																
	Z3	—																																																																																																
	Z4	—																																																																																																
市場単価	S	—																																																																																																
2-2 排水樹A (材料費) 【省略】			3-2 排水樹A (材料費) 【省略】			番号の改正																																																																																												

改 正	現 行	備 考
<p>K～5010 橋梁付属施設設置工（橋梁用高欄）</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。 橋梁用高欄</p>  <p>【省略】</p>	<p>K～5010 橋梁付属施設設置工（橋梁用高欄）</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。 橋梁用高欄</p>  <p>【省略】</p>	<p>フロー図内、字句の 削除</p>

改 正	現 行	備 考																																																																																								
<p>K～5020 橋梁付属施設設置工（橋名板等取付）</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p style="text-align: center;"><u>[削除]</u></p> <p>2 施工パッケージ 2-1 橋名板等取付 (1) 条件区分 【省略】 (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表 2-1 橋名板取付 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th colspan="2">代表機労材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1</td> <td>銘板 300×200×13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項 目	代表機労材規格		備 考	機 械	K1	—		K2	—		K3	—		労 務	R1	普通作業員		R2	—		R3	—		R4	—		材 料	Z1	銘板 300×200×13		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>K～5020 橋梁付属施設設置工（橋名板等取付）</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 施工概要 <u>施工フローは、下記を標準とする。</u> <u>橋名板等取付</u></p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;"><u>(注1) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</u></p> <p>3 施工パッケージ 3-1 橋名板等取付 (1) 条件区分 【省略】 (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表 3-1 橋名板取付 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th colspan="2">代表機労材規格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z1</td> <td>銘板 300×200×13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項 目	代表機労材規格		備 考	機 械	K1	—		K2	—		K3	—		労 務	R1	普通作業員		R2	—		R3	—		R4	—		材 料	Z1	銘板 300×200×13		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>番号及びフロー図・字句の削除</p> <p>番号の改正 ”</p> <p>番号の改正</p>
項 目	代表機労材規格		備 考																																																																																							
機 械	K1	—																																																																																								
	K2	—																																																																																								
	K3	—																																																																																								
労 務	R1	普通作業員																																																																																								
	R2	—																																																																																								
	R3	—																																																																																								
	R4	—																																																																																								
材 料	Z1	銘板 300×200×13																																																																																								
	Z2	—																																																																																								
	Z3	—																																																																																								
	Z4	—																																																																																								
市場単価	S	—																																																																																								
項 目	代表機労材規格		備 考																																																																																							
機 械	K1	—																																																																																								
	K2	—																																																																																								
	K3	—																																																																																								
労 務	R1	普通作業員																																																																																								
	R2	—																																																																																								
	R3	—																																																																																								
	R4	—																																																																																								
材 料	Z1	銘板 300×200×13																																																																																								
	Z2	—																																																																																								
	Z3	—																																																																																								
	Z4	—																																																																																								
市場単価	S	—																																																																																								

改 正	現 行	備 考
<p>K～5040 橋梁排水管設置工</p> <p>1 適用範囲 【削除】</p> <p>2 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>【省略】</p>	<p>K～5040 橋梁排水管設置工</p> <p>1 適用範囲 【削除】</p> <p>2 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>【省略】</p>	<p>フロー図内、字句の削除</p>

# Q 海岸保全

土地改良事業等適用施工パッケージ型積算方式の試行  
(平成 29 年 9 月 25 日付け事調第 598 号農政部長通知) の一部改正

## 1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 6 年 12 月 19 日以降	令和 7 年 2 月 20 日以降





改 正	現 行	備 考
<p style="text-align: center;">Q 海岸保全</p> <p>Q～2200 捨石工</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <pre> graph LR     A[機材搬入] --&gt; B[床掘基礎・床拵え]     B --&gt; C[捨石投入]     C --&gt; D[表面均し]     D --&gt; E[機材搬出]     </pre> <p>【省略】</p>	<p style="text-align: center;">Q 海岸保全</p> <p>Q～2200 捨石工</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <pre> graph LR     A[準備] --&gt; B[床掘基礎・床拵え]     B --&gt; C[捨石投入]     C --&gt; D[表面均し]     D --&gt; E[後片付け]     </pre> <p>【省略】</p>	<p>フロー図内、字句の 改正</p>